

2024年春のチャリキャンプひとり旅(その一)

野田 俊

ロングツアーを始めて5年目になる2024年春の旅は、信州飛騨北陸地方を巡るGWグループランから始まり、その後、金沢から愛知県まで南下し、渥美半島と伊勢を走る本州OBランに参加してから、北海道に向けて北上する。そして、今回最大のミッションは、厳しいアップダウンが多いと云われている佐渡ヶ島一周だ。5年前、初めて佐渡ヶ島へ行った時は、金山など中央部を齧(かじ)っただけなので、一度きちんと廻ってみたいのだ。その後は、秋田、青森、そして函館へ渡り、7月中旬に道南の瀬棚で開催される北海道OBランに参加する。そして7月下旬から8月上旬にかけては、パリオリンピックが開催されるので、神戸へ一時帰宅して、日本の試合を中心にテレビ観戦したのち、北海道へ戻り、会社同期のM本氏と一緒に帯広から襟裳岬を廻って千歳まで走るといふ、約4ヶ月に渡る壮大な旅が今年も始まる。

●2024年4月27日(土) 1日目 曇り 南西1m

【走行距離0.4km 獲得標高12m】

神戸北町↓車↓新神戸駅↓JR↓奈良井駅↓奈良井宿

元々の計画では、4月22日の月曜日に自宅を出て、豊橋からキャンプしながら、天竜川沿いに北上して中山道の奈良井宿までの200キロを五日かけて走るつもりだったが、天候不順のため、足慣らしは断念して、GW初日に新神戸駅から長野県の奈良井駅まで一気に輪行することになった。昨秋、宮古島から帰還してから五か月間、全く自転車に乗



っておらず、ハードなGWランがぶっつけ本番になるので、プチ心配である…。自転車とバツ

グ3個を車に積み込み、新神戸駅まで移動し、12時過ぎの新幹線で名古屋へ。特大荷物がある最後尾の席を確保していたが、2列シートの方だったので、自転車を立てることを覚悟していたところ、3列シートのおじさんが「ここに置いていいよ」と云ってくれたので、横にした状態で置くことができる。そして、幸いにも新大阪、京都から3列シートに座る人が来ず、無事、名古屋に到着し、そこから「特急しなの」に、木曽福島からは普通に乗り換えて、16時、奈良井駅にやっと着くと、塩尻から走ってきて、既に先着していたサークルOBの4人が出迎えてくれた上に、荷物運びも手伝ってくれ、プ



チ感謝。中山道の宿場町の一つである奈良井宿は、「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されており、今日、お世話になるお宿「民宿かう」さんも、純日本式家屋である。なので、建物は古いが、お風呂、洗





面所、トイレは最新式で、部屋も掃除が行き届いていて、気持ちがいい。女将さんに聞くと、コロナ禍の時に、リフォームしたらしい。ドジャースはブルージェイズに11-2で大勝するも、大谷は4-0に終わる…。阪神は、前日の試合で三つもエラーした木浪に代えて先発した小幡の攻守に渡る活躍で、ヤクルトに5-4で何とか勝つ。

【走行時間0:02 平均速度12.0km/h】

【本日の会計】¥25,950（交通費¥13,930、宿代¥12,000含む）
●2024年4月28日（日） 2日目 晴れ曇り 南西2m
 【走行距離55km 獲得標高1000m】
奈良井↓鳥居トンネル↓木曾福島↓三岳↓開田高原↓日和田高原



今日が実質の初日だが、いきなり600mぐらいアップしなければならぬコースなので、朝から気が重い…。近年は自分がGWランのコースや宿を決めていたが、今回は、峠大好き

したので、仕方ないけど…。そして、今日は、G計画では、国内最高所の温泉地で、**標高1800m地点にある濁河（にごり）温泉**まで行くのだが、筆者には到底無理なので、自分だけ、標高1300m地点にある宿に泊まることにしたのだが、それでも、しんどそうだ。早めの6時に朝食を頂き、7時に宿を出て、トンネルがあるのに、旧道の鳥居峠へ向けて、いきなりの急坂を登っていく本隊を見送り、筆者は、奈良井宿にある「鎮神社」



で、旅の安全祈願をしてから、自転車も通れる鳥居トンネルを抜けて、木





曽福島までの下りを
楽しむ。木曽福島ま
では、一年前、逆に
上ってきた道なの
で、木曽駒高原、木
曽義仲と巴御前の碑
など懐かしい場所を

通りながら、9時半、木曽福島の町に着き、
ランチ用の弁当を買ってから、**標高750m**か
ら**1350m**まで**600m**アップのルートに入る。知らなかったが、こ

の県道20号は、御嶽山に繋がる道で、道の駅三岳（みたけ）に寄る
と、10年前に起きた、あの**水蒸気噴火による噴石被害**がわかる御嶽
ビジターセンターがある。中に入ると、山頂にある「**御岳神社頂上奥**



社祈祷所」の壁が展示してあるも、噴石が当
たって穴だらけに
なっている…。他
にも、山頂近くの
登山道の手すりが
曲がり、千切れて
いる写真もあり、
大きな石が大量に
飛んできたことが
よくわかる。丁



度、多くの登山客
が山頂にいるラン
チタイムの時間帯
で、しかも大きな
爆発音はなく、突
然、噴石が飛んで
きたので、避難す

る余裕がほとんどなく、63名の方が

犠牲になったのは、ついていない、としか言いようのない自然災害だ
…。三岳村のマンホールには、**ライチョウ**が描かれており、御嶽にもラ
イチョウが生息しているようだが、あの噴火では大丈夫だったのだろ
うか、気にしてしまう…。県道20号に入って1時間、取り敢えずの
目標である開田高原まで19キロの標識があり、その下には、**しだれ**
桜が満開になっている。そして、道端にはか



わいい黄色い花が咲い
ていて、調べると、「**や
まぶき**」のようだ。1
3時、丁度、600m
アップの中間地点に当
たる標高1040mの
御岳ロープウェイへの
分岐まで来ると、**残雪**
を纏った御嶽山が見え





てくるも、1リットル
あった水もなくなり、
暑さと疲れでフラフラ
…。このままではまず
いので、近くにあった
リゾート風の「ホテル木
曽温泉」に入り、ロビー
にいたおねえさんに、
「水を分けてくださ
い」と、しんどそうに



お願いすると、快くボトルに水を入れてくれて、プチ感謝。しかし、
このあと、太ももが攣り始め、痛みをこらえながら、ペダルをこぐ
も、5分おきに小休止しないと走れなくなる…。14時過ぎ、開田高
原に何とか着き、勾配は緩くなるも、最後に、150mアップの長峰
峠がある。でも、もう、こぐ力が残っていない



いので、人生初めて
普通の峠道を、自転
車を下りて全押しす
ることに…。痛い右
足を引きずりながら
登っていると、道端
に、少し大きくなっ
た「ふきのとう」



が！疲れ切った筆者を慰めてくれているようだ。木曽福島から登り始
めてランチもせず、5時間半後の15時半、やっと長峰峠に着き、岐
阜県高山市に入る。少し下り、今日の宿「スポーツインオラ」に着き、
外のバルコニーで、とりから&じゃこ弁当を出して、缶ビールをお友
に遅めのランチを済まし、お風呂に入るも、脚が攣って洗っていただ
けない…。阪神は、ヤクルトに負けそうだったが、サンタナが大山の平
凡なレフトフライをキャッチできず、4-3のまさかの逆転勝ち！超
しんどい一日だったが、終わり良ければ全てよし。

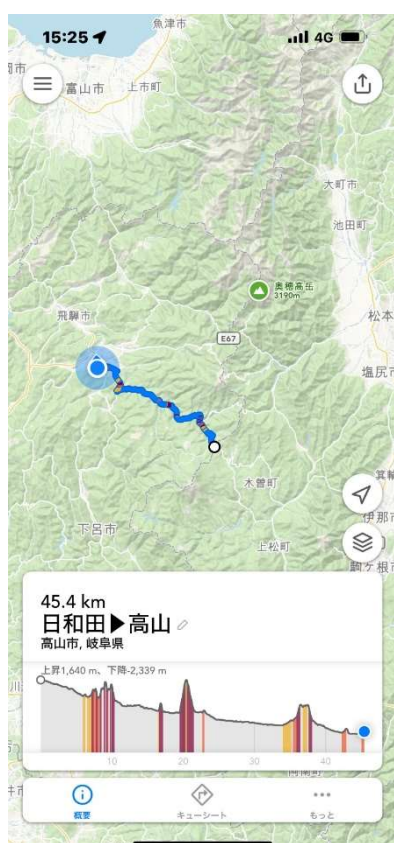
【走行時間4:59 平均速度11.1km/h】

【本日の会計】¥10535(宿代¥8800含む)

●2024年4月29日(月) 3日目 晴れ曇り 南西5m

【走行距離50km 獲得標高2833m】

日和田高原→朝日村→高山

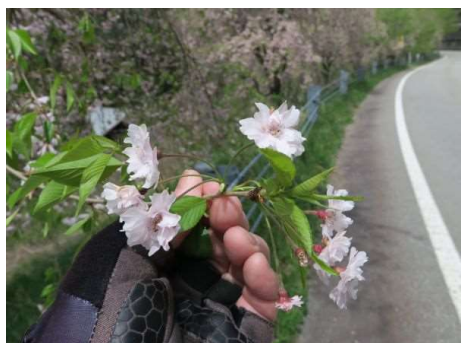




今日は、北西に進み、高山まで約50キロの旅だが、基本、ずっと下りなので、気分はいい。6時半に起きて8時から朝食なので、食堂へ行くと。昨夜もそうだったが、**長距離ランナー**はいアツ



リカ系の人が二人。あとで、宿のおねーさんに聞くと、「ケニアの人で、実業団のランナーとして、ここで合宿生活をしている」とのこと。すぐ近くには、陸上競技場があり、標高1300mもあるのです。高所トレーニングに適しているらしく、今日から、関東の大学陸上チームが合宿に来る、とのこと。9時に出発ジャンプを決めて、その競技場へ行くと、立派なブルーの400mトラックがあり、走る準備をしている学生さんが何人もいます。15キロほど下ると、



「青氷の滝」の看板があるも、近くを探しても滝は見えず、看板をよく見ると、「地下水が染み出て凍ってできる滝なので、真冬にしか見られない」とあり、プチ残念…。更に下っていると、道に沿って桜がまだ咲いており、手に取ると、ソメイヨシノより花びらの数が多いので、調べると「サトザクラ」という種類らしい。高山の南東にある朝日村に入り、生活道路を走っていると、いろんなお花が道端に咲いている。まずは、スズラン、かと思ったが、よく見ると、葉っぱがスズランより細く、可愛い花も先端が緑色なので、調べると「スノーフレイク(別名:鈴蘭水仙)」と云うらしい。そして、春の定番「チューリップ」も丁度満開だ。最後



がスズランより細く、可愛い花も先端が緑色なので、調べると「スノーフレイク(別名:鈴蘭水仙)」と云うらしい。そして、春の定番「チューリップ」も丁度満開だ。最後





時半には部屋に入れてくれて、お風呂も16時かららしいが、14時半に入れて、プチャッキー。若いご主人は、愛想は悪いが、いい人かもしれない。15時半頃、二人が到着するも、あとの二人



は、芝桜だが、紫色は珍しい気がする。「美々峠」と書いた標識があるも、よく見ると、「女」の文字と右矢印だけが、なぜか消えてしまっている…。故意なのか、自然に色あせてしまったのか、わからないが、早く修復すべき



だ、と思う。その美女峠をショートカットできるトンネルへ向かっていると、「美女街道」の石碑があり、その向こうには、標高3000m級の乗鞍岳連峰が望める。昨日のダメージが大きく、全然回復していないが、下りに助けられて、何とか、高山に着くも、今日のお宿「民宿長五郎」は、激坂の上にあり、最後に苦しみられる…。13時に着いてしまったので、お宿の玄関前で総菜ランチを食べていると、13

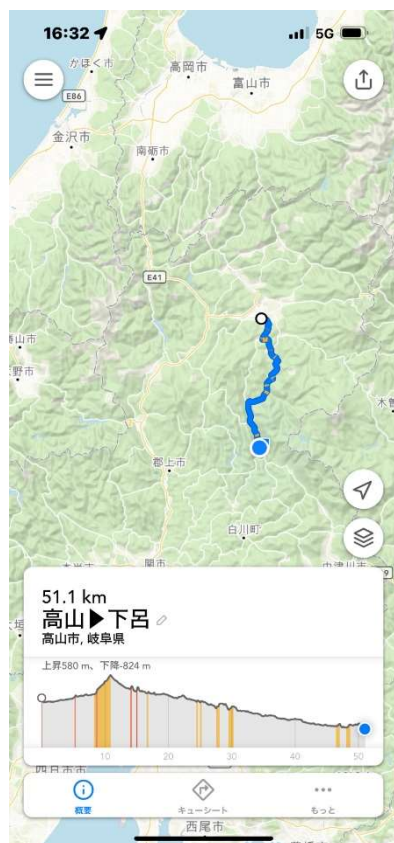
は、今日から合流するM村先輩と一緒に、高山の北にある千光寺へ寄っていて、夕食の18時ギリギリに到着。M村さんの神社寺院好きは相変わらずで、宿に直行する筆者とは気合が違う。飛騨牛やホタルイカなどポリウムたっぷり夕食を頂きながら、みんなの話を聞いていると、「美女峠辺りに群生している水芭蕉を見るために、楽なトンネルを通らず、わざときつい200mアップ



の峠道へ行った」とか、「円空仏がいっぱいある千光寺は激坂の200mアップの先にある、きつかった」とか、言っているが、みんな楽しそうである。雰囲気の良い囲炉裏や暖炉があるくつろぎ部屋があり、大型テレビもあるのだ、深夜の2時半から、パリ五輪サッカーのアジア予選準決勝イラク戦を最後まで観戦する。負けるかな、と思っていたが、意外に、危なげなく2-0で完勝して、パリ行きが決定する。よかったよかった。

【走行時間2:44 平均速度182km/h】
【本日の会計】¥17,192 (宿代¥8,900含む)

●2024年4月30日(火) 4日目 曇り一時小雨 無風
 [走行距離57km 獲得標高441m]
 高山↓飛騨一宮↓久々野(くぐの)↓飛騨小坂↓下呂



今日は、ひたすら50キロ南下して温泉で有名な下呂までの旅だが、天候が怪しい…。雨なら、JR高山本線で下呂まで輸送することも考えたが、何とか持ちそうなので、取り敢えずスタートして、もし雨が降ってきたら輸送することに。朝食に、飛騨名物の「味噌の朴葉(ほうば)焼き」があり、香ばしい味噌より朴葉の大きな葉っぱの方が、懐かしい。と云うのは、昔、飛騨の山道を行っていた時、この大きな葉っぱ



はが一杯落ちていて、これを持って帰れば、朴葉焼きができる、と思ったが、パリパリなので、この状態のまま保持するのは無理と見てやめたことがあり、この朴葉もきつと秋に山奥へ行って拾ってきたものだろう、と思う。



宿の道端に、さほど高地じゃないのに水芭蕉が咲いていて、美女峠に行かずとも水芭蕉の写真が撮れて、プチ満足。8時にお宿のお母さんと一緒に出発ジャンプを決めて、10キロ先の飛騨一宮にある「水無神社」へ。神社マニアM村氏のお薦め神社は、鳥居も本殿も立派で、ちゃんと御朱印も貰えるので、安全祈願後、社務所へ寄り、御朱印帳を出すも、全部埋まっている…。仕方ないので、御朱印帳を買おうと思ったら、社務所のにーちゃんが「最後のページが空いてますよ」と云うので、そのまま渡すも、「20000円の御朱印帳を買って、5000円の記入代は無料」と書いてある。なので、新しい御朱印帳と合わせて20000円を払うと、「それはできない」と云われ、25000円払うことになる。メチャ損



した気分なので、新しい方にも書いてもらい、同じ御朱印が二つになる…。飛騨一宮駅の近くに「臥龍（がりゅう）桜」と云う名所があるらしいので寄ると、桜はもう終わって



いたものの、どこに龍がいるのかわからない…。どうも右側の幹が龍の頭、左の幹が尻尾で、龍が地面に臥しているように見えるらしいが、想像力に欠けている筆者には見えない…。ここに、宮川と臥龍桜と水無神社の神体山である位（くら）い山が描かれているカラーメンホールがあり、こっちの方が写真映える。因みに、水無神社の由縁は、昔、高山の町を流れている宮川が神社のところで枯れ川になっていたかららしい。ここから計500mもアップして位



山峠にある水芭蕉を見に行く本隊と別れるも、最近できた宮峠トンネルは軽車両通行禁止なので、「なんでやねん!」と思いながら、ひとり、100mアップの宮峠へ。この辺りから、ポツポツと小雨が降り始めるも、濡れるほどではないので、そのまま走り続け、12時前、滝、温泉、やまめ、位山、紅葉など見どころ満載マンホールの飛騨小阪（おさか）に着き、



一時（いっとき）、雨が強まりそうなので、国道41号沿いのレストラン「ひのきや」に入って、3500円のような丼を注文する。頭から尻尾まで丸ごと一匹入っているも、厚みがなくペラペラ、タレも濃すぎで、イマイチ…。隣の会社員が食べている、



1200円の鉄板ジュージューけいちゃん焼き定食の方が旨そうなので、プチ後悔…。川で遊ぶ子供が描かれている飛騨萩原のマンホールを見ながら、14時、下呂温泉のお宿「ラムネ屋」に着き、河原の露天風呂が見える下呂大橋へ行くと、足湯だけになっている！14年前、OCCメンバーで来た時は、簡易脱衣所で裸になり、タオル一枚で、



露天風呂に入ることができたのに…プチ残念。橋上から丸見えのため、どうも、観光客からクレームがあり、行政が露天風呂廃止に動いたようだ。県道98号を通過して位山峠の水芭蕉を見に行った本



隊は、県道が工事で通行止めになっていたらしく、同じ頃に宿へ着く。夕食が付いてないので、温泉街の居酒屋「むとう」へ行くと、愛想が全くないにーちゃんに、居酒屋なのに「定食しかない」と云われ、みんなで「けいちゃん焼き定食」を食べるも、イマイチで、お昼のお店にあった鉄板ジューシューの方を食べたかったわ…。因みに、けいちゃんとは鶏の「けい」であり、味噌や醤油で漬け込んだ鶏肉を野菜と一緒に炒めた飛騨地方の名物料理である。北海道の郷土料理「鮭のちゃんちゃん焼き」と味付けも名前も似ている。阪神は、村上の好投とノイジ、坂本の活躍で、広島の前田を打ち崩して、7-1の快勝となり、これで貯金が6つ。

【走行時間3:29 平均速度16.3km/h】

【今日の会計】219,842(宿泊費6700含む)

●2024年5月1日(水) 5日目 曇り一時小雨 北3m

【走行距離16km 獲得標高211m】

下呂駅→JR→美濃太田駅→長良川鉄道→郡上八幡(相生駅)→板取



今日は、下呂から西へ向かい、郡上八幡の西にある板取と云う小さな町まで約80キロの予定であったが、山越えを回避できる新しそうなトンネル二本が、いずれも自動車専用道であることがわかり、



山越えするか、川沿いに遠回りするしかないので、輪行することに決める。宿のお風呂は、源泉掛け流しで、朝もはいれるので、まずまず。朝食は付いていて、まあまあ献立だが、生卵がないので、マイ玉子を出してTKGにする。8時にラムネ屋を出て、三つの峠を越える

ハードなルートを行くみんなを見送り、ひとり、下呂駅へ向かい、自転車を袋に詰め、列車が来るまで待っている。ポッケットに宿のカギが！幸いにも、宿は駅から近く、徒歩で返しにいったの





で、事なきを得たが、一年前にも、返し忘れてゆーパックで送り返したことがあり、ホンマ注意しなくては、と反省する。駅へ戻る途中、土産店に寄ると、飛騨の名物土産と云えば、これしかないカラフルな「さるぼぼ」ちゃんが、これでもか、と云うほどいっぱい並んでいる。因みに、ウチにも、なぜだか、嫁さんが実家から持ってきた赤い大きめの「さるぼぼ」ちゃんが、昔からいる。特急ひだ号に乗るつもりだったが、

が、美濃太田駅での乗り換え時間が短く、心配なので、特急の前に来る普通列車に変更し、改札前のホームから乗車する。100分で美濃太田駅に着き、意外に近かった長良川鉄道のホームに荷物を置き、発車まで1時間ほどあるので、駅前にあったカフェ「花笑み」でナポリタンを注文するも、少な目で塩分も高くてしょっぱい

…。大谷の試合を観ようとアベマを開けると、**蜂が球場のバックネットに巣を作ろう**としていて、その駆除作業が映っている。ミツバチには申し訳ないが、やむを得ない…。13時、意外に乗客が多い一両編成の気動車に乗り、いざ郡上八幡へ。…のつもりだったが、ちょっと行き過ぎるし、階段があると嫌なので、ひとつ手前の無人駅「相生駅」で下車し、組み立てていると、珍しい「リカンベント車」が！背もたれに寝そべった状態で前



方のペダルをこぐスタイルで、空気抵抗が少ない反面、上りでは体重をかけてこげないので、峠越えには向いていない。見た目、同年代のおじさんで、豊橋在住、**キャンプしながら全国の鉄道駅を撮影する旅**をしていて、今回は、長良川鉄道の駅を全て動画に収めてユーチューブにアップする、とのこと。筆者と違って、基本、キャンプ場には泊まらず、公園や道の駅でテントを張って野宿しているが、一度も注意されたことはないらしい。お互いに、自転車を撮り合い、なぜか名刺もくれて、リカンベントおじさんは颯爽と次の駅へ向かって行った。**板取のお宿「千家」**までは、450mアップのタラガ峠があるが、川沿いに150mアップするだけで、自転車も通れるトンネルがあり、心配していた雨も止んだので、快調に走る。タラガトンネルは長さが5キロ弱もあり、広い歩道もないので、車道を走るしかないが、後ろから抜かれたのは2台だけで、しかも5キロ中4キロは下りなので、気持ちよく走れる。16時、宿へ着くと、本隊はもう到着しており、聞くと、タラガトンネルも通らず、わざわざ古い旧道の峠を登ったとのこと、プチ呆れる。この辺りは、山女魚（やまめ）が名物らしく、夕食は、**山女魚の塩焼き、鮎の甘露煮、岩魚の唐揚げのまさしく川魚三昧**で、全て美味しく頂く。阪神は、広島と2-2の引き分け…加治屋投手が出した二つの四球が痛かった。

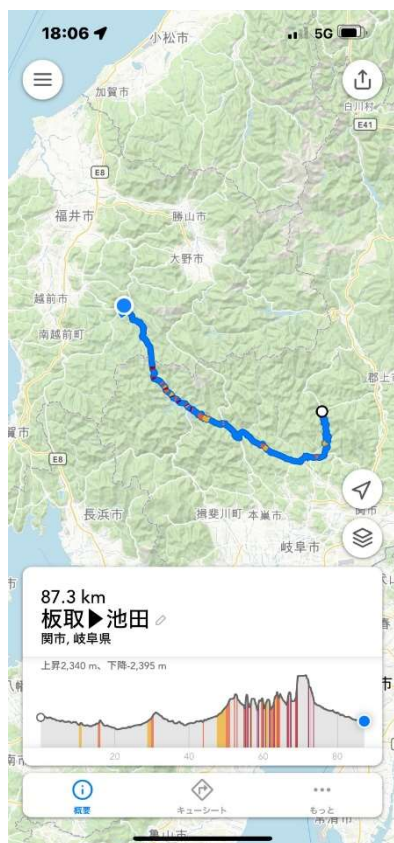
【走行時間3:29 平均速度16.3km/h】

【本日の会計】¥16,842（宿代¥6,700 含む）

2024年春のチャリキャンブひとり旅(その二)

野田 俊

●2024年5月2日(木) 6日目 晴れ曇り 北2m
板取↓洞戸↓根尾↓徳山湖↓冠山トンネル↓池田町



今日は、昨年、開通したばかりの岐阜県北部から福井県に抜けるトンネルを通り池田町まで約90キロの旅。長い上にしんどそうな山越えが三つもあるので、輪行したいが、鉄道がないので、走るしかない。一方、天候は、昨日までの雨模様から良くなり、晴れそうだが、風向きは北からの向かい風なので、きつい一日になりそうだ。8時に本隊と一緒に出発し、川沿いの下りを最後尾から走っていると、昨日から加わった後輩のサカナこと



S田氏が見どころの場所です。待つてくれるも、先を急ぐべく、スルー。しかし、人がやたら見えるので、寄ってみると、小さな池の周りに人がいっぱいいる！なんでも、画家のクロード・モネの



名画にあまりにも似ていると、「モネの池」としてSNSで拡散したらしいが、元々は湧き水でできた自然の「名もなき池」で、地元の人がスイレンを植えたり、錦鯉を放ったら、バズってしまったようだ。自転車はタダだが、車は、「環境整備協力金」として、500円も取られるのに、それでも映えたいのだろう。一応、写真だけ撮って本隊より先に出るも、すぐに抜かれてしまう。でも、「道の駅ラステン洞戸(ほらど)」で休憩している本隊を追い越して、また先行するが、洞戸からは上りになり、またすぐに抜かれるわ、と思っていたが、全然来ず、結局1時間ほど経って峠道に入ってから、ついに抜かれる。どうも、道を間違えたようで、全然違う方向へ進んでいたらしい。一緒じゃなくて良かった、と思う。また最後尾となり、ひとり、のんびり走って



いると、「やまぼうし街道」の看板があり、この花を探しながら進むも、結局見当たらず…。10時半、最初の峠、標高30mの尾並坂峠に着き、休憩している本隊をまた抜いて、日本三大桜がある根尾の町まで下る。「根尾谷薄墨(うすずみ)桜」というしだれ桜は、高台にあるし、桜はもう散っているだろうから、筆者はスルーして先を急ぐ。因みに、日本三大桜は、樹齢1500年のこの薄墨桜、樹齢2000年の山梨県にある「神代(じんたい)桜」、そして樹齢1000年の福島県にある「三春滝(みはるたき)桜」である。いずれも見ることがないので、いずれは、桜の時期に行ってみたいものだ。根尾のマンホールには当然、薄墨桜が描かれていて、ランチをするべく、道の駅なのに、道から外れた高台にある「うすずみ桜の里」へ登るも、食堂は廃業、弁当類も全くない…この先、コ



も全くない…この先、コ



ンビも食堂もなさそうなので、普段は買わない鬼まんじゅうを買う。本隊は、桜と根尾谷断層を見てから、ここで昼食を摂るつもりなので、LINEで、根尾の町にあるスーパーで買い出しするよう伝えて、二つ目の峠、標高550mの馬坂峠へ向かう。ここから300mほどのアップだが、峠道に入ると、思っていた以上に勾配がきつくと、思い切りペダルを踏んだ際、右ひざに、これまで経験したことのない痛みが走る…初日から酷使していた膝がついに悲鳴をあげたのだが、その後は特に痛みがないので、13時、何とか峠のトンネルまで登り切り、真っ暗な怖そうなトンネルを抜けた辺りで、さつまいもだけでできた鬼饅頭だけのランチタイム。サイクルメーターを見ると、56キロも走



っていて、既に脚は限界に近く、まだ30キロ以上もあると思うと、気が重い…。揖斐川の最上流にある徳山湖まで下り、湖岸沿いの道は、長めのトンネルばかり



冠山峠道路第2号トンネル工事
 自) 平成29年11月18日
 至) 令和 4年 2月28日
 国土交通省 近畿地方整備局 福井河川国道事務所
 道路トンネル技術基準 (構造編) (平成27年12月) 日本道路協会
 設計便覧 (案) (平成24年4月) 近畿地方整備局
 トンネル延長 4,830m 幅 7.0m 高さ 4.5m
 コンクリート配合: 設計基準強度 21N/mm² 水セメント比 58%
 最大骨材寸法 20mm 高炉セメントB種

りだが、平坦なので、何とか走れるも、福井県に抜ける冠山峠にあるトンネルまでの登りに苦しめられる。そして、15時、やっとトンネルに着き、5キロもある長い冠山トンネルを抜けると、宿のある池田町までは下りなので、素直に嬉しい。できたばかりのトンネルなので、完成プレートを見ると、コンクリート配



合に高炉セメントが使用されていることがわかり、高炉関係者として、プチ嬉しくなる。下っていると、観光かずら橋の看板があり、道路から木製の橋が見えるも、通行料金300円と書いてある！渡るだけで…と思ったが、男女のグループが楽しそうに渡っているの、まあいいか、と思う。

16時、本隊に抜かれることなく、池田の「ベにや旅館」に着くも、その15分後ぐらいに本隊が着き、危ないところであった…。今日もメチャ疲れたが、お風呂に入り、豪華な夕食を完食して、20時には寝る。

【走行距離91km 獲得標高1049m】
 【走行時間5:48 平均速度15.6km/h】



【本日の会計】¥13,338 (宿代¥12,000)
 ●2024年5月3日(金) 7日目 晴れ 北西2m
 池田↓越前大野↓勝山↓越前大野



今日は、ここから40キロ先にある勝山の実家まで行き、ひとり暮らしの母と金沢から帰省中の妹に会ったあと、越前大野の宿まで戻る約50キロの旅。本隊は、朝倉遺跡がある一乗谷と永平寺を見学してから、九頭竜川沿いに遡上して勝山を通って来るらしい。そして今日、初日から参加してくれたO澤氏が抜けて、代わりに、T葉氏とD夫妻が合流し、福井在住のテンタことT木氏も大野にやって来る。朝食のメインは、若狭ガレイの一夜干しで、M村氏曰く、「脂っぽくなくさっぱりする」も、魚肉の甘味がしっかり口中に広がります。





味」とのこと。8時半に出発ジャンプを決めて、本隊を見送り、ひとり、足羽（あすわ）川を北上し、東へ向きを変えて、岐阜に繋がる国道158、通称「美濃街道」を150mアップして越前大野の町に入ると、**緑の麦畑とピンクの芝桜**が美



しい。九頭竜川沿いの道を通り、昔は京福電鉄だった「えちぜん鉄道」の勝山駅まで来ると、**大阪特殊合金の工場と綺麗な事務所**が見える。勝山には幼稚園から高校卒業まで住んでいて、当時は活い電炉工場であったが、今や、その面影は全くない。輸入銑を扱う同社は、銑鉄営業時代、競合相手だったが、いろんな意味でお世話になり、この工場でも実験をさせてもらったことがある。そして勝山は、今や、何と云っても、**恐竜の町**となり、勝山大橋を渡ると、



と、2000年に新種の恐竜として認められた全長4mほどの「フクイラプトル」がいる。40年ほど前。北谷（きただに）と云う白山に近い山奥の集落で、恐竜の化石が発掘され、2000年に、**卵型の恐竜博物館**が勝山にできてから、一気に注目されるようになり、更に、北陸新幹線の延伸にともない、博物館もリニューアルされて、ますます観光地として賑やかになると思う



と、プチ嬉しい。そして、西日本最大の**東急リゾート系スキージャム勝山**もここにある。そのおかげだろうか、昔は絶対なかった洒落た**イタリアンレストラン「厨ぼうず」**が実家の近くにあり、そこで、親子3人でランチタイムを過ごす。母の日が近いので、筆者が全部支払い、プチ親孝行をしてから、10キロほど戻り、15時半、大野城が望めるお宿「**弥生旅館**」に入る。宿泊料金はGWというのもあるが、なんと一万四千四百円：高過ぎるが、他の宿も満室なので、やむを得ない。今回、部屋で夕食前にみんなが集まって呑むことは全くなかったが、今日は**大酒呑みのテンタ**がいるので、頼んだ瓶ビールがどんどん空いていく。旅の宿は、やっぱりこうじゃなくては、と思う。北大サークルOGでもある妹の潤子も勝山から車で来たので、今



回最多の11名が集まり、夕食、そして2次会も大いに盛り上がる。阪神は、初先発の門別が3回6失点の乱調でチャンスにまた梅野が凡退を繰り返し、巨人に4-8の完敗…。



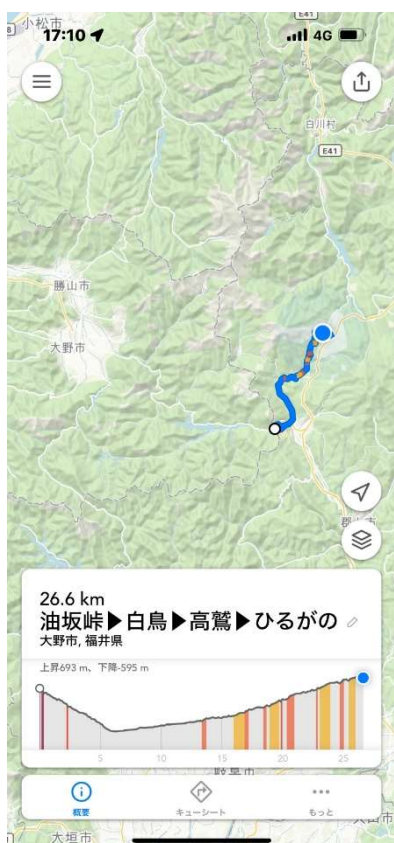
【走行距離52km 獲得標高1049m】

【走行時間2:57 平均速度17.6km/h】

【本日の会計】¥20,500(宿代¥14,400、ランチ代¥5,000含む)

●2024年5月4日(土) 8日目 晴れ 南2m

越前大野↓車↓油坂峠↓美濃白鳥↓高鷲(たかす)↓ひるがの高原



今日は、九頭竜川沿いに油坂峠まで600mアップし、一旦、美濃白鳥まで下ったあと、今度は長良川沿いに500mアップし、ひるがの高原まで約80キロの旅。自分にとっては、超ハードなコースであり、二日前に痛



めた右ひざが悪化するとまずいので、考えた末、潤子の車で油坂峠まで送ってもらう作戦を立て、昨日のうちに、潤子に伝える。峠好きの本隊にとっても長い一日になるので、宿の女将に早めの6時半に朝食をお願いし、7時半には出発ジャンプを決めて、本隊は走って、筆者は潤子号で油坂へ向かう。50分ほどで、旧道の峠トンネルに着き、バッグをセットして、9時前にトンネルを越えて白鳥へ。あとで知るが、本隊は12時半にここへ着いたので、3時間半の貯金ができる。白鳥のスーパーで買い出しを済まし、国道156、通称「白川街道」を走っていると、**ポイ捨てを注意する面白いプレートが!**自転車に乗っていると、道路脇に捨てられたペットボトルや缶やゴミが目につきやすく、いつも「おいっ!こら捨てんなよ!!」と云いたくなるので、プチスッキ



りである。三日前にお世話になった「**長良川鉄道**」の終点「**北濃駅**」に寄ると、食堂が併設しており、味噌カツ丼が旨そうだが、まだ開いていない。駅舎に入ると、「**手回り品**」のことが書いてあり、「手荷物は2個まで、総重量は30キロ以下、自転車は10キロ以内」とある。筆者の手荷物は、サ

持ち込めるもの

無料

列車の状況により運輸上支障が生じるおそれがないと認められる場合に限り、携帯できる荷物で、最小の立方形の長さ、幅及び高さの合計が250cm以内のもので、個数は2個。ただし、その総重量が30kgをこえないもの。

※ 身の回り品として携帯する傘、つえ、ハンドバックなどは、留数制限にかかわらず車内に持ち込むことができます。

● 自転車は、解体もしくは折り畳んで専用の袋に収納できるもので、その重量が10kg以内のもの1個。ただし、弊社の指定するサイクリング列車及びその他



た長良川らしいマンホールを見ながら、実感30℃を超える暑さの中、徐々にきつくなる坂を登っていると、「**ダイナランドスキー場**」の入口



理！。12時半、油坂から3時間半で、宿のある「**ひるがの高原**」に着き、**長良川と日本の富山湾に注ぐ庄川との分水嶺公園**へ寄ると、いかにもわかりやすい小川が二つに分かれているので、つい撮ってしまったが、ホンマに自然にできたものなのか、疑わしい限りだ。ソフトクリームが名物の「**たかすファーマーズ**」と云うお店の外のベンチで、缶ビールを飲みながら、**ミンチカツ焼きそば弁当**を頂く。



に着く。キャンプ場がスキ場にあるらしいが、3キロで240mアップなので自転車では無



く。15時にお宿「**レストホテルほづみ**」に入り、部屋でのんびりしていると、長滝白山神社や夫婦滝など寄り道をしながら走ってきた本隊が、筆者から4時間あとの16時半に到着。阪神は、梅野を外し、西・坂本バッテリーで臨むも、1-2で巨人に10回サヨナラ負けを喫す。坂本はナイスリードだったが、糸原のエラーで流れが悪くなり、逆転を許す。夕食は、飛騨地方の名物料理「**けいちゃ**



「ん焼き」が大きな鉄板で出てきて、みんなで突く。食事前の話だが、お風呂から上がったあと、痛めた右ひざが熱を持っており、炎症を起こしているようで、いつもはバッグに入れている湿布がないので、ダメ元で宿のおねーさんに聞くと、開封済みだが、ロ



キソニン湿布が2枚残っている袋をくれて、プチラッキー。

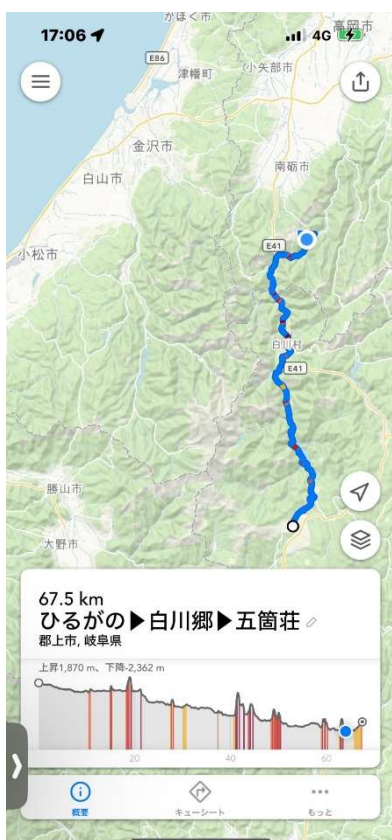
【走行距離29km 獲得標高622m】

【走行時間2:24 平均速度12.0km/h】

【本日の会計】¥11,443(宿代¥9,400含む)

●2024年5月5日(日) 9日目 晴れ 南5m

ひるがの高原→御母衣ダム→白川郷→五箇山



の入口辺りに、黒っぽい「ジラ紀の化石」が嚴重なケースに入っており、御母衣ダムによって、貴重な化石群が水底に没してしまっただ、とある。ダム湖の斜面を見ると、確かに所々に黒光りの岩盤が見える。そして、桜が描かれた庄川（しょうかわ）村のマンホールがあり、ダ



今日は、ルート図のように、北へ向かって庄川沿いに下り、合掌造りの五箇山まで約70キロの旅。距離は長い、高低図の



つと下りなので、何とか走れそう。宿に、ジャー牛のポスターがあり、「タイパってなんですか」と書いてある。最近まで知らなかったが、タイパとはタイムパフォーマンスの略語であり、残業を好まない若者が使う言葉らしいが、

タイパなど気にせず、のんびりしよう、と牛が云っている…。快晴の中、8時に合宿所みたいなお宿を出発し、少し下ると、御母衣ダム湖



△建設によって、植え替えを余儀なくされた**奇跡の庄川桜**である。

M村氏のコメントによると、桜は「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」と言われるほど、枝を切るとそこから腐りやすくなるのだが、そんな

手入れに弱い樹齢約500年の桜を、人知を尽

くして湖底に沈む場所から湖の上へ植え替えたのである。そんな弊害を無視して、1961年に完成した**御母衣ダム**は、18個もある庄川水系ダムの最上流に位置する日本三大ダムのひとつで、コンクリートではなく岩を積み上げてできた珍しいロックフィル式である。因みに、あとの二つは、黒部ダ



ムと奥只見ダムで、特に、福島県と新潟県の県境にある奥只見ダム湖の湖畔沿いは、9年前に走ったことがあるも、アップダウンの激しいことで有名な酷道で、死にそうなくらい大変だった記憶がある。それに比べ



ると、ここは楽勝で、ダムを過ぎると、**上高地**みたいな風景もあり、快適に進む。白川郷に入ると、「**三連合掌**」と云う撮影ポイントがあり、

自動車は通行止めだが、自転車は通れるので、丁度いい写真が撮れる。メインの荻町集

落は、観光客が一杯で、人が写るだけなので、**三連合掌のマンホール**だけ撮って抜けると、駐車場へ向けて車がずつと繋がっていて、プチびっくり。結局、白川郷インターチェンジを下りた車が2キロ以上数**珠つなぎ**になっていて、自転車の優越感に浸りながら走る。五箇山が



近づく、**クマが食べられる珍しいお店「高千代」**があり、丁度、お店を出てきたおじさんがいたので、聞くと、



「クマは食べていない」とのこと。
「クマのお店に入ってクマを注文しないとは思じられない」と思った





が、クマ鍋の2300円はチト高いか。五箇山は富山県だが、ここへ来るまで、県境を行ったり来たりするトンネルと橋ばかりの道があり、それは別にいいのだが、風が強く、トンネルを抜けて橋



に入ったところで、強風に煽(あお)られて、転倒しそうになる…。後続の本隊に、その事をLINEで伝え、五箇山の合掌造りのお宿「民宿なかや」へ。12時半に着き、暑いので、駐車場の日陰に座り、ひるげんのスーパで買っておいだ助六寿司とソース焼きそばのランチタイム。今日も暑かったので、ビールがメチャ旨い。14時に部屋へ入れてくれて、お風呂に入り、阪神の試合を観ながら、またビールを飲む。阪神は、才木の好投、近本の2ランなど、巨人に4-2で何とか勝利したが、終盤の8回に、梅野が送りバントを決められず、木浪の打球が併殺打になってしまい、危ないところであった。宿に砺波チューリップフェアのポスターがあり、GWは明日までの、フェアは5月5日の今日までで、明日



からは撤去作業のため公園は閉鎖されるらしい。明日、行こうと思っていたのに…ブチシヨック。GW最終日は入場者が減るからだろうが、GW最終日も観光したい客を無視し



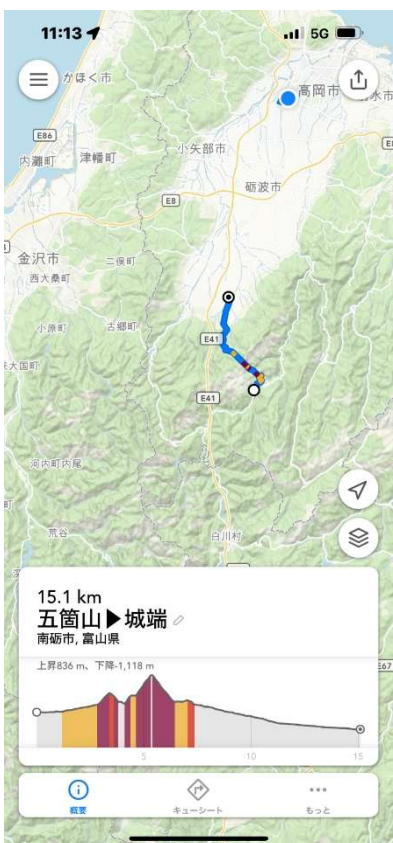
たひどい話である。本隊は、白川郷や五箇山の合掌造り家屋巡りに時間を要し、遅めの17時半に着き、18時半から始まった夕食は、囲炉裏を囲むように並べられたテーブル席に座り、1時間以上、囲炉裏に置かれた炭火の輻射熱でじつくりと焼かれた岩魚や、鯉こくの刺身、山菜のこごみなど、美味しく頂く。
【走行距離69km 獲得標高582m】
【走行時間3:24 平均速度20.4km/h】
【本日の会計】¥13,980(宿代¥13,000)
【追記: M村氏のレポから抜粋】
白川郷と五箇山について、どうも家の感じが違った。なぜか調べた。合掌造りの基本なつくりに関し、ほぼ屋根は東&西向き。理由は

北&南向きだと冬に一方だけ雪が残り、家の重量バランスが崩れるからとのこと。南&北は窓が多い壁面で「つま」と呼ばれる。違いだが、基本、白川は屋根に茅（かや）を横向きに配置する。結果、両「つま」に茅の切口が出て屋根端がシャープに見えるとのこと。五箇山は屋根に茅の切口を下向けに配置する。結果、両「つま」が茅の茎になり、屋根端が丸まって見えるとのこと。もう一つ、出入口について、基本、白川は屋根側にあり「平入り」という。五箇山は「つま」側にあり「つま入り」という。宿泊した合掌民宿「なかや」さんも「つま入り」だった。

2024年春のチャリキャンフひとり旅(その三)

野田 俊

●2024年5月6日(月) 10日目 曇り 南5m
五箇山↓城端(じょうはな)駅↓JR↓野々市駅↓車↓潤子宅



今日は、高岡まで自走して、妹の潤子宅がある野々市市までJR輪行

するつもりだった

が、10時頃から雨予報なので、最寄りの駅から輪行することにする。BS放送が入るので、5時に起きて、ドジャースの生中継を観ていると、なんと4打数4



安打2ホームラン
3打点の大活躍！
打率も.364に跳ね上がり、プチスツクリ。バナナ、ヨーグルト、ふりかけ、目玉焼きなどに加えて、マイ生卵の朝食を頂き、8時、築35



0年なのに、水回りガリニユールされて綺麗なお宿を出発するも、いきなり200mアップの山を越えなければならない。本隊に遅れながらも、何とか長いトンネルも越えて、一緒に城端(じょうはな)駅まで下り、みんなとお別れる。JRローカルの城端線で高岡まで、

そこからは、北陸新

幹線開通にともない、JRじゃなくなった「あいの風とやま鉄道」と「IRいしかわ鉄道」を乗り継ぎ、金沢駅で下りて、構内にあった「不室屋」と云う加



賀麩で有名なお店に入り、6種類の麩料理とすだれ麩の治部(じぶ)煮などが入った「加賀麩とりどり膳」を注文。2400円はチト高いが、加賀料理を満喫できるので、お薦めである。そして、食へ終わって、お皿を見ると、なんと、色彩豊かな加賀の伝統工芸である丸谷焼で、プチびっくり。そして、15時、金沢から近い野々市駅まで更に輪行して、迎えに来てくれた潤子宅に泊めてもらう。

【走行距離16km 獲得標高313m】

【走行時間0:53 平均速度17.8km/h】

【本日の会計】¥9640(交通費¥1600、夕食代¥4500含む)

●2024年5月7日(火) 11日目 雨

野々市駅→R→金沢駅→JR→新神戸駅→バス→神戸北町

渥美半島と伊勢を走る本州OBランが2週後の週末にあるが、集合地である三河の田原までは一週間もあれば着いてしまうので、一旦、神戸へ戻り、時間調整することにする。なので、今日は、自転車やバッグを妹宅に置いて、敦賀まで延伸された北



陸新幹線を利用しながら、神戸の自宅まで帰る電車旅。十日間の自転車旅を終えたら、今朝から本降りの



雨で、またしても晴れ男ぶりを発揮！会社へ行く潤の車で野々市駅まで送ってもらい、一旦、金沢駅まで戻ってから、各駅停車の「つるぎ号」で敦賀へ。45分で敦賀駅に着き、特急サンダーバードに乗り換え、新大阪駅で、また新幹線に乗り換えて、新神戸駅経由自宅へ帰るも、結局、ドアツードアで5時間もかかる…。敦賀延伸で、東京からは便利になったのだろうが、金沢→敦賀間のサンダーバードが消滅したので、関西→北陸間のアクセスは不便になり、しかも料金も高くなってしまったので、関西人から見れば、デメリットしかない…。

【本日の会計】¥1847(交通費¥2180、みやげ代¥697含む)

●2024年5月16日(木) 12日目 曇り

神戸北町→バス→新神戸駅→JR→野々市駅→バス→潤子宅

一時帰宅中、献血、ゴルフ2回、草むしり、窓ふきなど、社会貢献と家庭貢献を果たし、本日、九日前の逆ルートで、野々市へ戻ることにする。11時に自宅を出て、新神戸駅で、サンダーバードの自由席を



買おうとするも、全指定になっいて、プチびっくり。そのサンダーバードに乗りながら、いかなこのき煮が入った筆者お気に入りの淡路屋「六甲山縦走弁当」820円を食べ



検札に來たので、聞くと、「新幹線の延伸にともない、全席指定になり、JR西日本では、「くろしお」や「やくも」も同様で、自由席をなくするのが世の流れ、代わりに指定席をネット購入すれば安く買える」とのこと。ということは、新幹線が全指定になるのも、時間の問題なのかもしれない…。敦賀でつるぎ号に、小松でーRに乗り換え、野々市駅からは、地元のコミュニティバスを利用して、16時半、やっと潤宅に着き、まずは、すり減っていた前輪のタイヤを、アマゾンで送っておいだ新しいタイヤに替えるが、後日、その交換が原因で、トラブルになるとは…。阪神は、タイムリーエラーをしたテルが二軍に落ち、打撃不振の大山と木浪が先発を外れる中、原口の3ランなどで、中日を9-4で破り、チヨ-気持ちいい。

【本日の会計】¥13,820(交通費¥10,870含む)

●2024年5月17日(金) 13日目 晴れ 西6m
野々市駅→R→石動(いするぎ)駅→砺波→八尾→猿倉山



今日は、電車で、県境の俱利伽羅(くりから)峠を越えて富山県の西端にある小矢部市の石動(いするぎ)駅からスタートして、東へ向かい、イタイイタイ病の神通川流域にあるキャンプ場まで約50キロの旅。6時に起きて、7時に野々市駅まで送ってもらい、電車で石



「火牛」と呼んだらしい。小矢部の東側には、砺波(となみ)市があり、あのチューリップ公園があるので、寄ってみるが、チューリップは全部根こそぎ抜かれていて、土が見えるだけ…。



動駅まで移動し、晴天の中、9時半、なぜか駅舎に図書館がある近代的な駅を出発する。小矢部市のカラーマンホールには、角が燃えている牛が描かれており、調べると、木曾義仲と平家軍が戦った「俱利伽羅峠の戦い」で、義仲公が牛の角に松明を付けて平家軍を断崖絶壁に追い込み撃退したことから、その牛のことを



取られるので、売店にあった、「キュンとする花束のような香り」「記念日にどうぞ」と書いてある**フレグランスミスト**、要は香水らしいか、嫁さんへの結婚記念日プレゼントとして買う。公園の外にも、**チューリッ畑**がたくさんあるも、茎と葉っぱだけで、花びらは枯れて落ちてしまったのだろうか、プチ残念…。超フォローの風を受けながら、山並みをひとつ越えて、富山平野に出ると、**まだ雪が残っている立山連峰**が見えてきて、雄大さを感じる。このあと、進路を南に変えて、キャンプ場のある「**猿倉山森林公園**」に着き、入り口にあった案内図を見ると、キャンプ場は山の途中に、管理棟は更にその上…。地図アプリで確認すると、キャンプ場まで70mアップ、管理



代わりに、パンジーだらうか、黄色や赤や紫のお花が近くに咲いている。一年中、チューリップが咲いていると云う「**チューリップ四季彩館**」へ行くも、入るだけで310円



の棒に乗せて、外へ逃がしてあげる。一日一善。シャケ入りクリームシチューを作り、テントへ入るも、プチ暑い。そのせいなのか、寝ている時、脚がまた變る



がら、ランチタイム。そして、自転車からバッグを外して、管理棟まで登り、受付を済ます。山を下りると、近くに日帰り温泉があるものの、あの激坂を登れば、また大汗を掻くので、明朝、出発後に入ることにする。トイレの手洗い場の床に水が溜まっており、そこに**大ムカデ**が、ずっというるので、可哀そうになり、木の



棟まで更に50mもある。少し進むと、勾配が10%以上もある激坂になり、漕げないので、重たい自転車を押しながら、14時、何とか、キャンプ場に着き、腹ペコなので、まずは、缶ビールを飲みながら、



…。阪神は、青柳がヤクルトの村上に3ランを打たれて、2-4で負ける…。青柳は相変わらずコントロールが悪く、今年も駄目かもしれない…。

【走行距離46km 獲得標高629m】

【走行時間3:10 平均速度14.6km/h】

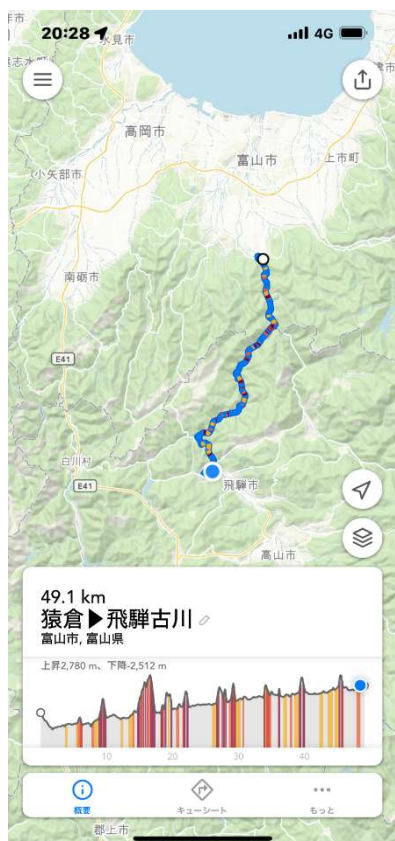
【今日の会計】¥122（交通費¥20含む）

【猿倉山森林公園キャンプ場評価…3.2点】

芝生のフラットなサイト面、2000円の利用料金は魅力ありだが、自転車にとって、とにかくアクセスが悪すぎる。管理棟が更に上にあるのも問題なので、ここにはもう来ないだろう。

●2024年5月18日（土） 14日目 晴れ 北2m

猿倉山↓神通峡↓河合↓飛騨古川



今日は、神通川沿いに南下し、飛騨古川にあるキャンプ場まで約50キロの旅。高低図を見ると、当たり前だが、ずっと上りで、最後には、キャンプ場まで、まだ50mほどのアップがあるので、今日



も脚が攣りそう。出発前、空になったワンカップを洗い、フロントバッグに入れる際、コンクリの上に落としてしまい、見事に割れる…。これまで一度もマイワンカップを割ったことがなかったので、嫌



な予感がある。9時にキャンプ場を出て、神通峡岩稲温泉「楽今日（らっきょう）館」に着くも、10時からなので、飛騨古川の手前にある日帰り温泉へ行くことにする。名古屋まで232キロの標識があり、OBランの集合まで実質六日なので、日平均40キロで着ける計算になる。明後日から雨予報が出ているが、その時は、鉄道でワープすればいい。旧細入村の「道の駅細入」に寄ると、富山名物のブラツクサイダーが置いてあり、GWに飲んだM村氏の感想では「醤油胡椒風味とあるが、風味はシンジャ



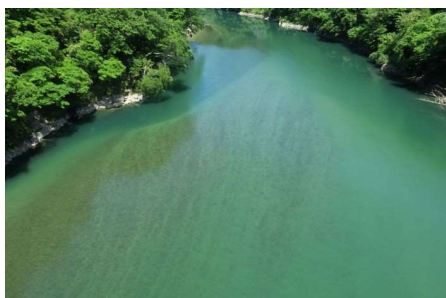
「っぼく、後で胡椒の辛みは効いてきたが、醤油感はない」とのこと。270円の価値はなさそうなので、ス

ルーして、外へ出ると、子持ち鮎やイワナが串に刺さっていて、いずれも600円なのに、25本中24本が鮎で、イワナは人気がないらしい。個

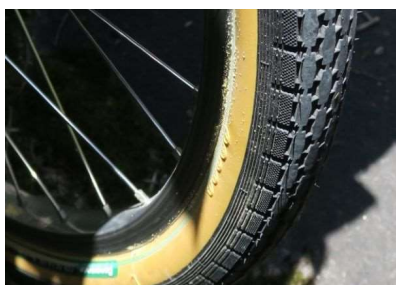


人的にはイワナの方が好きなのだが…。知らなかったが、富山県と岐阜県を結ぶ国道41号は「ぶり街道」と呼ばれ、富山湾で捕れたブリが信州へ渡ったらしい。最近、この沿線に由来がある、田中さん、小柴さん、利根川さんなど5人のノーベル賞受賞者が出ているので

「ノーベル出世街道」と云われているよう



だ。少し濁ってはいいるが、緑色の神通川を見ながら走っていると、タイヤが何かと擦っているような音がするので、チェックすると、なんと、前輪のブレーキ



がタイヤと接触して、削られたタイヤのゴムが粉のようになっていて、潤子宅でタイヤを交換して前輪をフオークにセットする際、ずれたまま固定したので原因だ。このまま走っていた



ら、タイヤがバーストして走行不能になっていたもので、危ないところであった…。知らなかったが、岐阜県に入ると、神通川が宮川と云う高山を流れる川として知られた名に変わり、国道じゃなく川を挟んで反対側の生活道路を進んでいたら、いきなりの通行止め、プチショック…。往復2キロのロスとなる。そして、更にその40分後、前輪がなんとパンク！チューブを外して穴を調べると、ピンホールと共に線状の傷があり、**タイヤ側にはなんと「取扱説明書」が！**潤子宅で新しいタイヤをセットする際、取説に気付かず、そのままチューブを入れたため、走行中、紙とチューブが擦れて徐々にチューブに傷が入っていったのだ。トラブル続きで遅れたが、14時半、河合と云う町にあ



る、ロッジ風の日帰り温泉「ゆうわくはうす」に着き、電話で「15時まで食堂開いています」と確認しておいたので、食堂へ行くと、開いてはいるが、「14時ラストオーダーで



すよ」と云われる…。「今日は、とことんついていない」と思ったが、汗ダラダラの疲れた顔で、食堂のおねえさんに経緯を説明してお願いすると、「特別ですよ」と云ってくれたので、すぐできそうな焼きそばを注文する。優しい人で良かった、と感謝しながら、焼きそばを完食して、お風呂に入って、二日分の汗と垢を流す。中日の根尾選手が載



っているスポーツ紙がいくつも貼ってあり、彼は岐阜県出身なので、この辺りに実家があるのかもしれない。高校の時は凄く選手で、鳴り物入りで中日に入ったのに、バッターでうまくいかず、投手に転向しても、一軍に定着できず、苦しんでいる…。明日は、60キロ、800mアップのひるがの高原のキャンプ場まで行く予定だが、天気予報では、明日の午後から本降りの雨になりそうで、ひ



るがの高原のバンガローは一万円もするし、無理してひるがの高原まで登る必要性もないので、グーグルで見つけた5500円でバンガローに泊まれるキャンプ場を予約する。15時半、お世話になった日帰り温泉を出て、飛騨古川の町で買い出し後、昨日ほどではない坂を登って、17時前、飛騨森



林公園キャンプ場に着く。受付後、ちょっと離れたフリーサイトへ移動するも、炊事場やトイレは一段高いオートサイトにあって、フリー側は何もないので、側溝にタイヤを入れ、自立させてから、設営や夕食の準備をする。小さめのブヨが飛んでいるので、蚊よけスプレーを探すもなく、どうも家に置いてきたようだ。その結果、気付かないうちに、あちこち刺されていて、翌日から一週間ほど痒みが取れず…。その上、テント内で夕食中、突然、太ももの内側が攣り、いろんな姿勢をしても治らず、冷や汗が出るほど、痛い…。しかし、GWにT葉さんから頂いた「ツムラ漢方薬68番」を飲んだら、徐々に収まり、やっと落ち着く。「脚が攣ったらツムラの68番」である。昨日の600mに続き、今日も800mアップでは、脚が攣るのは無理もないが、狭いテントで攣ると大変だ…。阪神は、ピースリーの好投でヤク

ルトに1ー0で辛勝するも、相変わらず打てない…。

【走行距離61km 獲得標高839m】

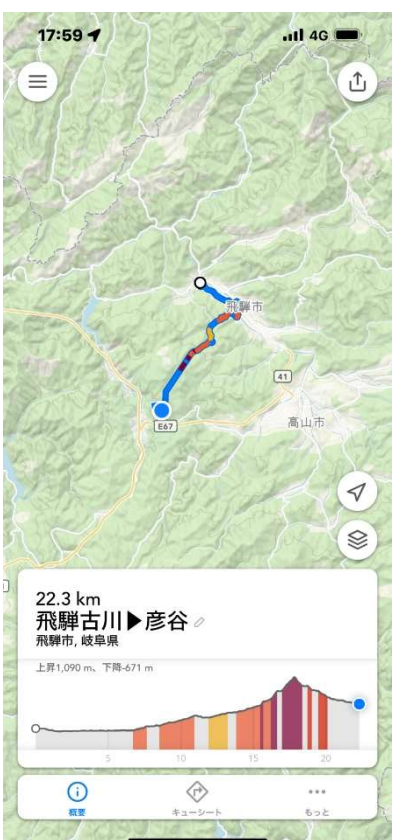
【走行時間4:21 平均速度13.9km/h】

【今日の会計】¥4,611

【飛騨森林公園キャンプ場評価…30点】

ベンチも東屋も何もないシボいフリーサイトなのに、利用料はなんと2350円！炊事棟やトイレに近いオートサイトは4000円もする。翌朝、管理人に「**この内容でこの料金は高いです**」と云うと、「コロナ前は2000円だったが、コロナ禍のキャンプブームで忙しくなり、町が値上げした」とのこと。「余計なことを」と思ったが、おねえさんに文句を云っても仕方ないので、御礼を云って、冷やしてもらった保冷剤を受け取る。高いからなのか、土曜日なのに、オートサイトに一張りあるだけで、フリーサイトは筆者のみ。

●2024年5月19日(日) 15日目 曇りのち雨 無風
飛騨古川↓猪臥山トンネル↓彦谷



今日は、高山へは行かず、トンネルのある山をひとつ越えて、バンガローのあるキャンプ場まで約25キロの短め旅。9時、自転車を立て掛ける場所がないので、**減多にない自転車を持ったままの**

出発写真を撮って、

飛騨古川の町へ下りる。スーパーで、アサリ、なめこ、豆腐、納豆、麻婆豆腐の素などに加え、米10合分、非常食用にサバ缶とサッポロ塩ラーメンを買い、ドラッグストアで、忘れた蚊よけスプレーも。しかし、そのあと、フロントバッグの中に、ないと思っていたスプレーを発見しプチショック…。

猪臥山トンネルの手前にあった閉鎖中の道の駅に、そのトンネルの設計図があり、よく見ると、延長4475mもあり、しかもこちら側からずっと上りで150mアップしている…。平均勾配は3%強だが、実際、トンネル内を走っていると、もっとある感覚で、結局、抜けるのに40分もかかる。まあでも、このトンネルのお





かげで、近道できたのだから、文句は言えない。少し下り、13時半、今日の宿「彦谷の里キャンプ場」に着くと、林業の人たちだろうが、昼間から缶ビールを飲んでいる…どう



かと思ったが、受付を済まして、案内してくれたバンガローへ。入口の前に、いい具合にベンチとテーブルがあり、そこで、いなり寿司、鰯(ふき)煮、ポテサラ、そして飛騨名物「こもとうふ煮」のランチ。雨は予報通り、15時頃から降り始め、18時から本降りの雨となる。その前に、10



0円のシャワーと二槽式だけど無料の洗濯を済ませて、夕食は、アサリ入りクリームシチュー、クラムチャウダーとも云うが、阪神の試合を観ながら、美味しく



頂く。その阪神は、近本、原口、木浪、ノイジーが打ち、才木も好投して、ヤクルトに7-2の快勝。やっと打線が火を吹くも、続くのだろうか…。

【走行距離25km 獲得標高649m】

【走行時間2:43 平均速度9.1km/h】

【本日の会計】¥10265

【彦谷の里キャンプ場評価…37点】

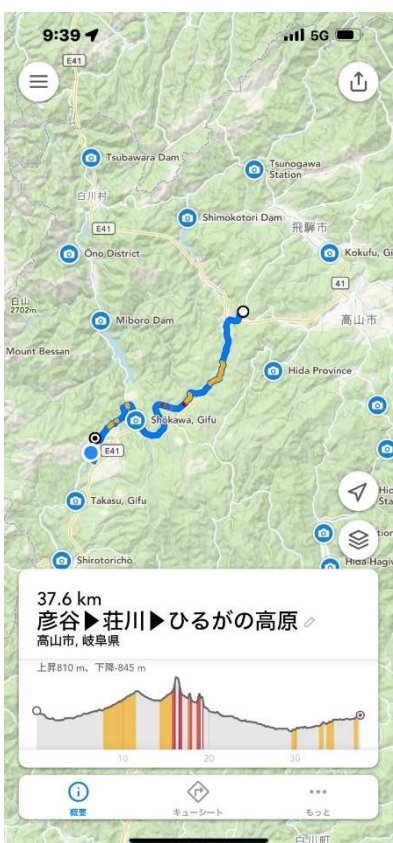
コインシャワーあり、無料洗濯機あり、冷蔵庫ありなどインフラは整っているが、フリーサイトの3300円は高過ぎる。5500円のバンガローはリーズナブルなのに…。



2024年春のチャリキャンフひとり旅(その四)

野田 俊

●2024年5月20日(月) 16日目 曇り晴れ 西2m
高山市彦谷→荘川→ひるがの高原



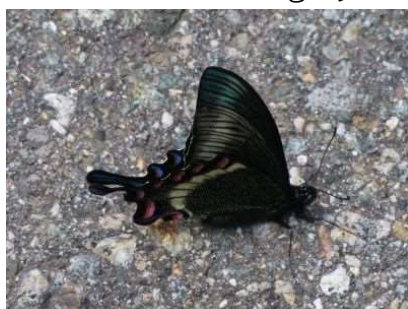
今日は、高山の西に位置する彦谷の里から、山を二つ越えたあと、荘



川の里から、ひるがの高原まで登る約40キロの旅。夜中ずっと降っていた雨は、うまい具合に朝方には止み、いつもの朝食に加えてキウイも頂き、10時に出



発して、下っていると、川に、苔のような植物が、いくつもの石の上に生えているーあんまり見ない光景なので、一枚パチリ。そして、標高1086mの松ノ木峠をアタックしていると、**地面に留まっている黒アゲハ蝶**を発見！



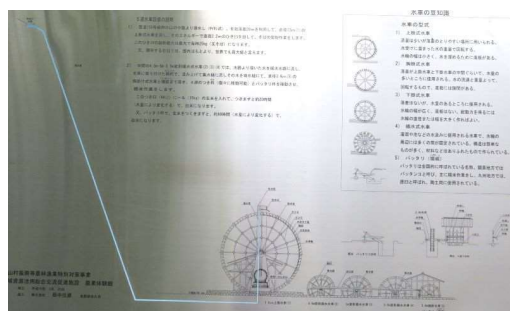
車に接触したのだろうか、動きが鈍いので、車に轢かれないよう、指で掴んで道路脇に移してあげる。一日一善。意外ときつかった峠を二つ越えて、12時、道の駅荘川に寄ると、**紫式部役の吉高由里子さん**が写っている「**光る君へ**」のポスターがー丁

度、昨日の放送で、越前国守を任命された父の付き添いで越前へ旅立つシーンがあり、ポスターにも書いてある。しかし、「紫式部が



福井で暮らしたことがある」とは、昨日まで知らなかった。この前





のGW、自分は寄らなかつたが、本隊が見たと云う「五連水車」が蕎麦屋の横にあり、メチャ大きい水車を筆頭に五つの水車が綺麗に並んでいる。本隊の話では、「大水車を回す水はポンプ等の動力

が、大水車の裏にあった説明板によると、「山の中腹から導水し、有効落差28mを利用して直径13mの上掛式水車を回し、そのエネルギーで、2.2mもある世界最大級のひき臼を回して蕎麦の製粉作業をし



ている」とあり、真相がわかってプチ満足。岐阜まで繋がる国道156号線に入ったところで、雨が降り出し、丁度、雨宿りできる休憩所があったので、そこに自転車を入れる。こ



の先、ひるがの高原まで山道で、何もないので、プチラッキー。強くて小さい雨雲は15分ほどで通り過ぎたので、17日前に下った道を逆に上り、高原まで来ると、モンゴル遊牧民の住居であるゲルが立ち並び「ミニモン



のゲルでも12000円、グランピング並みのお高さだ！。14時、「ひるがの高原キャンプ場」に着き、受付を済ましてテント場へ移動するも、屋根付き炊事場の近くは林間学校用の常設テントで埋まってお



り、何もない場所に設営を余儀なくされる。その上、保冷剤の冷凍も拒否されてしまい困ったが、粘り強くお願いして、何とか業務用冷凍庫で冷やしてもらえることになる。近くにあるホテルのお風呂に入ると、疲れがやっととれた感じがして、脚の攣りもやっと収まりそうだ。

【走行距離40km 獲得標高527E】
【走行時間2:50 平均速度14.2km/h】



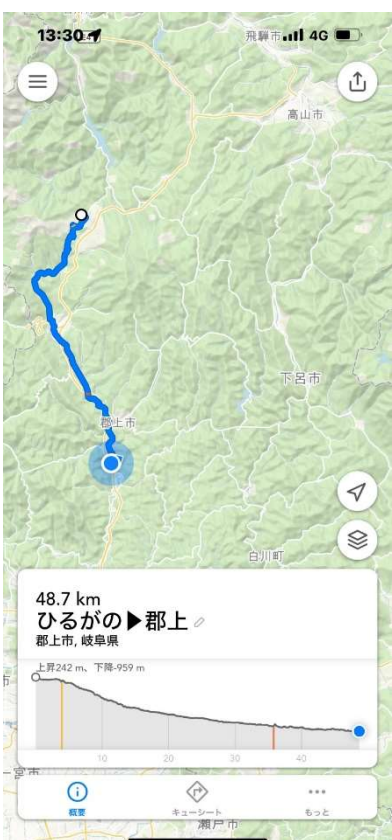
【今日の会計】¥3,520

【ひるがの高原キャンプ場評価…41点】

高原まで来ればアクセスは平坦で、1200円の利用料はリーズナブルだが、サイト面は土で、しかも石が多く、ペグの先端が曲がってしまう…。更に、キャンセル代が三日前から2000円で、利用料より高いなんて、あり得ない…。インフラ的には、ウォッシュあり、ランドリーあり、電波、充電OKなど揃っているのだが…。

●2024年5月21日（火） 17日目 晴れ 北西3m

ひるがの→飛騨白鳥→郡上八幡→郡上



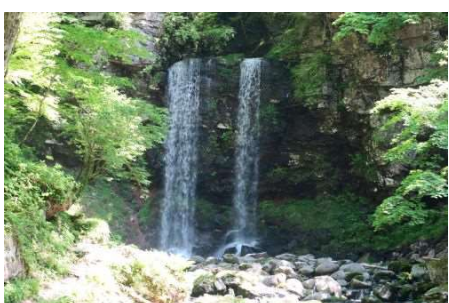
ひるがの高原は日本海と太平洋の分水嶺なので、ここから愛知県まで長良川沿いに南下すれば、基本、下りである。なので、今日は、高低図のようて、標高9000mから同2000mまで50キロずつ下り



で、しかもフォロー風なので、楽勝旅である。9時半、イマイチだったキャンプ場を出発し、まずは分水嶺公園に寄って、偽物と思われる「二つに分かれる小川」をチェックする。分岐点の上流側



最上流の滝」があり、この先が長良川の源流で、公園の小川には繋がっていない。夫婦らしい二筋の素晴らしい滝を見てから、美濃白鳥まで一気に下り、長良川鉄道の始発駅「北





濃駅」に保存されている「手動式転車台」を見に行く。昭和の旧国鉄越美南線当時、使用されていた蒸気機関車は一方通行なので、終点駅で、方向転換する必要があるのは当然だが、人が手でレバーらしき鉄棒を押して転換していたとは、プチ

びつくり。白鳥から、長良川を挟んで国道と反対

側の県道を走っていると、平日なのに、高そうなバイクがたくさん停まっているレストラン「KODACHI」があり、ハンバーグとステーキのお店のような。丁度、12時前だが、既にランチ用弁当を買ってあ



るので、スルーして、ホテル郡上八幡にある日帰りの温泉「宝泉」に入り、13時過ぎ、今日のキャンプ場「KITEN長良川オート」に着く。グーグルマップで見つけたキャンプ場だが、できたばかりのようで、流行りの



グランピング施設もある。なのに、フリーサイトは1500円とお安めで、シャワーも15分間無料：それを知っていれば、温泉には入らなかったのに、プチ後悔。サイト面は芝生ではないが、水はけのいい砂利で、ペグもしっかり刺さるので問題なし。ランチ後、大相撲観戦、そして夜はポトフを頂きながら、阪神の応援をするも広島に2-6の完敗…。

【走行距離50km 獲得標高194m】

【走行時間2:15 平均速度22.2km/h】

【今日の会計】¥4858

【KITEN長良川オートキャンプ場評価：3.9点】

2022年12月にオープンしたばかりの新しい川辺のキャンプ場。ランドリーと充電ができるだけで、他の項目はほぼ完璧。虫も全くいない。因みに、グランピングは、2名2食付きで2万円。

●2024年5月22日(水) 18日目 曇り晴れ 南西2m 郡上↓美濃↓関↓犬山





今日は、更に、長良川沿いに下り、犬山まで約50キロの旅。9時にグランピングテントをバックに出発シヤンプを決めて、田舎道を走っていると、一面編成の



「ながらかわかぜ」

と書いた車両が、丁度、踏切前をゆつくりと通過していく。地方のローカル線などで、最近流行っている観光列車だが、普通に人が降りてきたので、平日は通常の便として流用しているのだろう。一面金色に輝く麦畑が見えてきて、これだけ綺麗なのは珍しいので、一枚パチ



リ。「みなみ子宝温泉」と云う駅があり、駅舎がそのまま温泉施設になっているのは珍しい。そして、この辺りが、日本地図の重心地になるらしく、「日本まん真ん中温泉」と書



いてある。更に、ここは、独特な作風で木彫りの仏像を製作した円空の故郷らしく、「円空のふるさと美並」と書いてある。円空と云えば、高山の千光寺には、円

空仏がたくさん保存されており、寺院好きのM村氏がGWに見に行っていたが、激坂だったらしいので、筆者は、これで十分。「道の駅美並」に寄ると、あの「おにやんま君」があり、筆者のと全く同じなのに、昨年、根室で買った値段より300円も安い！値下げしたのであるうか、気になる…。既に二つ持っているので、代わりじゃないけど、



旅のお守り用に、かわいい「さるぼちゃん」610円を一つ買って、自転車に付ける。美濃市の町に入ると、あちこちに通行規制をする警備員が立っていて、「なんやねん！」と思ったら、丁度、今日、ツール・ド・フランスの日本版「ツアー・オブ・ジャパン 美濃ステージ」の美濃ステージが開催されているよう





だ。見学しているお
じさんに聞くと、長
良川を挟んで県道を
周回するコースで、
30分置きに走って
来るそう。通りた
い道を走れないし、
もっと人の迷惑のか
からない山の方でや
って欲しいわ、とマ



い。店頭販売が多い
中、店内で食事でき
るお店「どて万次
郎」に入り、どて煮
と味噌串カツ2本に
加えて生ビールを2
杯飲み、食い足らな
いので、近くの店
で、タコ焼きを買っ



で、ワンカップも吞む。夜は、
神鉄時代に、ゴルフと麻雀の遊
び仲間だった丁井氏が単身赴任
で犬山に住んでいるので、伝
串と云う鳥革串が名物のお店
「新世界」で、久しぶりに旧交
を温める。阪神は、大竹の好投
と大山の減多に見られない活躍
で広島に2-1で競り勝ち、貯
金を6つに伸ばす。

【走行距離53km 獲得標高239m】

【走行時間3:10 平均速度16.7km/h】

【今日の会計】¥6022 (ホテル代¥600含む)

●2024年5月23日(木) 19日目 曇り 南3m

犬山↓名鉄↓豊橋

今日は、明日から始まる本州OBランのため
に、豊橋まで行かなければならないが、10
0キロもあるし、豊橋まで乗り換えなしで行
ける名鉄特急が、丁度、犬山から出ているの
で、輪行することにする。木曾川を渡る犬山
橋へ行くと、現存する12天守の一つである
国宝犬山城が見え、綺麗に川面にも映ってい
る。改札前のホームから乗車できる「犬山遊





園駅」を見つけ、自転車を袋に詰めて、自販機で切符を買っても、ICOCAのカードが



思ったが、素直に謝る。そして10時、豊橋行きの直通特急に乗る

も、ネットで予約すれば、特急料金が150円安くなるのを知り、プチショック…。80分で豊橋駅に着き、ランチは、グルメのT井氏に教えてもらった豊橋の名物店「ス。バゲッ亭チャオ」に入り、一番人気のチ



キンカツとウインナーが載った「バイキング」を注文するも、カツもウインナーも小さく、これで1000円は高い！しかし、人気



ので、この量なら700円が妥当だろう、と思う。そして、夜は、T井氏お薦めの「豊橋カレーうどん」にしようと思っていたら、丁度、東横インのロビーにお店案内があり、ここから近い「勢川（せがわ）本店」で、カレーうどんと蕎麦味噌こんにやくをテイクアウト。豊橋カレーうどんは、うどんの下にところご飯が入っているのが特徴で、美味い。昼の Pasta とは雲泥の差だ。阪神は、広島に21で何とか勝つも、チャンスを何回も逃し、イライラする。



【走行距離6km 獲得標高47m】
【走行時間0:29 平均速度126km/h】
【本日の会計】¥2,210 (ホテル代¥640、電車代¥2,210含む)
●2024年5月24日(金) 20日目 曇り晴れ 西4m
豊橋↓伊良湖↓フェリー↓鳥羽↓二見





今日は、渥美半島の先端まで走り、フェリーで鳥羽へ渡り、近くの宿まで約60キロの旅。風は西からのアゲインストだが、アップダウンは道を選べば少ないので、気分は楽だ。9



時半にホテルを出て、生活道路をのんびり走っていると、人だかりがあり、「レインボー」と言うカフェの前に立っているテントには、機材やモニターが！。写真を撮ろうとカメラを構えると、テントの人から「カメラはダメ！」と怒られる…。近くにいたお姉さんに聞くと、どうも映画のロケらしいが、誰がいるのかはわからない、とのこと。カフェの中で撮影しているようだが、外の誰もいない景色を撮るだけでもダメなんて、なんか偉そうでプチ気分悪し…。そして、田舎道を走っていると、遊園地みたいな大きな看板と工場が見えてくる。調べると、**サンキョーフーズ**と云うつくだ煮などのご飯のお供を製造している食品会社で、遊園地とは全く関係ないようだ。11時前、サイクルトレインができる**豊橋鉄道渥美線の終点、三河田原駅**に



着き、少し待っている、OBランに参加する諸先輩後輩方が電車に乗ってやってくる。集合は13時なので、挨拶だけして、ひとり、先へ進むと、**渥美半島はメロンの産地**らしく、あちこちにメロンのお店が並んでいて、**大きなメロン看板**も。しかも、店頭に並んでいる「イエローキング」と言う品種は、小さめだが、3個で1200円はお安い。でも、3個も要らない…ばら売りしてくれると嬉しいのだが…。出港40分前の13時に伊良湖(いらこ)港に着き、**伊勢湾フェリーの伊勢丸**で、紀伊半島の鳥羽へ。フェリーの受付をすると、「自転車の方にはドリンクサービスです」と交換券をくれたので、フェリーの売店で渡すと、なんとペットじゃなく瓶のサイダーをくれる。お弁当にサイダーは合わないし、鳥





羽サイダーとあるので、家へのお土産にするが、瓶は重たいわ…。フェリー内に「自転車っていいね」のポスターがあり、どうも5月は自転車推奨月間らしく、その関係で、サイダーをくれたようだ。丁度1時間で鳥羽港に着岸し、30分で今



日の宿「民宿潮騒」に着く。その途中、シンフォニアの工場を発見！元は「神鋼電機」と云う神鋼の関係会社で、鋳物屋さんで溶解設備として使う電気炉のメーカーでもあるので、銑鉄営業時代、色々とお世話になった会社である。ここは、「シンフォニアテクノロジー(株)伊勢製作所鳥羽工場」で、昔、お世話になったO島さんは、ここにいた気がする。



る。16名の本隊は、17時半に到着し、お風呂が小さいので、夕食は19時開始となり、19時にレストランへ行くと、なんと、甘えび、焼き車海老、エビフライのエビ三味！伊勢と云えば海老なので、エビ三味は予想で



きたのに、事前に宿へ伝えなかった自分が悪いのだが…エビアレルギーはもう出なくなったが、やっぱり食べたくないなので、困っていたら、牡蠣が苦手な先輩がいて、交換してくれて、結局、焼き牡蠣が三つになり、プチ嬉し。残ったエビフライは何とか食べる。阪神は、なんと巨人の戸郷にノーヒットノーランを達成されて、0-1の負け…。今年は、巨人が優勝するかもしれない、と思う。

【走行距離57km 獲得標高269m】

【走行時間3:24 平均速度16.8km/h】

【本日の会計】¥15,351(宿代¥9,000、フェリー代¥3,100含む)

2024年春のチャリキャンブひとり旅(その五)

野田 俊

●2024年5月25日(土) 21日目 晴れ 北西5m
鳥羽→度会→南島



今日は、伊勢を通過って、熊野灘の海岸近くにあるキャンプ場まで約40キロの旅。エビ



が入っていない朝食を頂き、8時半に出発写真を撮るも、風が強く吹いていて、三脚が倒れなかったタイミングで、丁度シャッターが下りて、



みんなの口が大きく開いていて、「アー」と叫んでいるのが、よくわかる面白い写真が撮れる。心配してもらったが、マ

イカメラは振動や衝撃に強い耐振性対応なので、問題なし。宿の近くに、伊勢の名勝



「夫婦岩」と「二見興玉(ふたみおきたま)神社」があり、皆で寄ってお参りする。なぜか大きなカエルがいて、その向こうには、夫婦岩に掛かる大注連縄が見える。ここ「二見町のマンホールにも、夫婦岩と拝む日の出が描かれている。カエルは、「旅から無事かえる」「貸したものがかえる」「若かえる」と云う意味があり、縁起物らしい。ここから、伊勢神宮の内宮へ向かう本隊と別れて、ひとり下宮(げぐう)へ向かうと、伊勢参りを

描写したマンホールがある。内宮には、周りにお店がいっぱいあり、あの赤福の本店もあるが、下宮はひっ





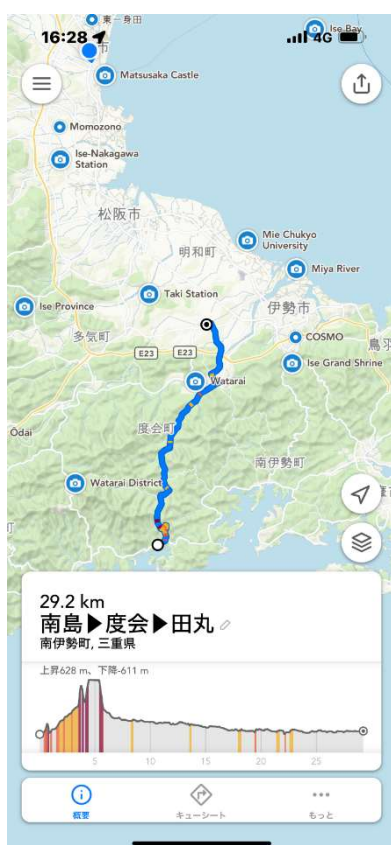
そりとしており、御朱印も素朴でシンプルだ。内宮は5キロほど離れた場所にあるし、何回も行ったことあるのに、参らずに、最短コースでキャンプ場へ。150mアップの峠トンネルを何とか越えると、遠くに熊野灘



が見えてきて、12時半過ぎ、「浮島パークなとうキャンプ場」に着く。既に、幹事のM本氏がマイカーで到着しており、ビールと弁当のランチを済ませたあと、F井氏の三人で、15キロほど離れたスーパーへ行き、BBQ用の食材や朝食の買い出しをする。スーパーの近くに、地元で獲れた食材を中心に七輪焼きできるお店があり、そこで、**大アサリ、イカー一夜干し、ゲソ串、タコ串**などをゲットし、スーパーでも野菜や米、そしてアルコール類を大量に買うも、16名の飲食分を用意するのは、ひと苦労。しかし宿代は、コテージ代含め一人8000円で、昨日の9000円とあまり変わらず…。阪神は、木浪、渡邊、森下、ピースリーの活躍で、巨人に3-0の快勝。



今日は、70キロ先にある津のホテルまでなので、走れないことはないが、2年前に伊勢から津まで走ったことがあるので、山越えした後、最寄りのJR駅から輪行することにする。本隊は、東方にある近鉄の駅まで走るのだが、出発前になって雨が降り出したので、小降りになった8時頃に出発していくも、筆者は、急ぐ必要がないので、雨が完全に止むまで待つて、9時過ぎにキャンプ場を出発。



【走行距離41km 獲得標高475m】
【走行時間2:27 平均速度16.7km/h】
【本日の会計】¥10,208
●2024年5月26日(日) 22日目 雨曇り晴れ 南東2m
南島↓度会↓田丸↓JR↓津



昨日上った峠を
また上り、11
時半、田丸と云
う神宮風の駅に
着き、JRで津
駅までワープす
る。雨予報の明
日も、津駅から
電車で乗るの
で、自転車は組



み立てず、ちょっと離れた東横インから台車を借りて、ホテルまで運ぶ。駅前に、鰻屋さん「大観亭」が丁度あり、いい匂いがするし、一匹入って3100円はお安めなので、うな重ではなく、久しぶりに「ひつまぶし」をテイクアウトして、ホテルのロビーで缶ビールと一緒に頂く。コロナで、大抵のお店が、テイクアウトできるシステムを導入したので、お店の高いビールやお酒を注文せずに安く呑めるようになる。阪神は、才木が8回ゼロに抑えるも、ゲラ、岩崎が巨人に打たれ、1-2の延長逆転負けを喫す…。好投の才木が可愛そつだ。

【走行距離31km 獲得標高329m】

【走行時間1:52 平均速度16.3km/h】

【今日の会計】¥11,537 (ホテル代¥6,175、JR¥590(切符))

●2024年5月27日(月) 23日目 雨曇り 東3m
津↓近鉄↓桑名↓養老鉄道↓大垣



今日は雨でなければ、50キロ先の桑名まで自走して、サイクルトレインの養老鉄道を利用して大垣まで移動し、会社同期のT口氏と食事する予定だったが、朝から雨なので、桑名まで輪行してから自転車を組み立てることに



する。11時半頃に雨が止みそうなので、それまでホテルのロビーで のんびりして、止んでから、台車をまた借りて駅まで自転車とバッグを運ぶ。安いJRでもいいが、ゆったり乗れる近鉄特急で桑名へ行き、駅構内にある養老鉄道の改札前で自転車を組み立てて、ホームへ。大垣行きサイクルトレインのシートが貼ってある2両編成の電車に乗り込み、自転車は車椅子スペースに立て掛ける。



14時半、桑名から70分で大垣に着き、駅前





で見つけたカラ
ーマンホールを
撮ってから、東
横インがないの
で、コンフォー
ト大垣にチェッ
クイン。夜は、
会社同期で関係



会社の役員をしているT口氏とその同僚で自
転車好きのI西氏の3人で食事をするも、T
口氏が、松葉杖で現れてプチびっくり。スキ
ーでボーダーを避けようとして転倒し、左膝
の前十字靱帯を断裂してしまい、今月、手術
したばかり、とのこと。自転車ツーリングの
話や、彼の会社は、鋳物も生産しているの
で、その話でも盛り上がり、あつという間の
3時間が経ち、21時、ホテルへ戻って寝
る。

【走行距離1km 獲得標高200m】
【走行時間0:08 平均速度9.0km/h】

【本日の会計】¥9,017 (ホテル代¥6,120含む)

●2024年5月28日(火) 24日目 雨 南東5m

今日は、台風1号の影響で、終日、雨予報なので、大垣のホテルに連



泊することに。終日、ほぼホテルに滞在し、部屋で旅レポ作成作業を
しながら、のんびり過ごす。

【本日の会計】¥7,275 (ホテル代¥6,100含む)

●2024年5月29日(水) 25日目 晴れ 北西5m

大垣↓羽島↓一宮↓江南↓犬山



今日は、明日、一時帰宅するので、自転車やバッグを預かってくれる

犬山のT井氏宅まで約40キロの旅。昨日の荒
天と違って、朝から晴れ間が見える好天の中、
9時過ぎにホテルを出て、水郷の町である大垣

の町中を散策す
る。大垣八幡神

社前にある湧き
水や住吉燈台な
どを巡っている





と、「奥の細道むす
びの地」の記念碑
が！松尾芭蕉はみち
のく旅のあと、北陸
を通って、ここ大垣
で旅を終えたと書いてある。全く知らな
かったので、またひ
とつ賢くなる。東へ
進んでいると、揖斐



川、長良川、木曽川の順番で大河があり、どこも昨日の雨で水量が多
く濁っている。特に最後の木曽川は、広角レンズに収まらないほどの
川幅だ。木曽川沿いに農道を走っていると、道の向こうに、塔みたい
のが見えてきたので、行ってみると、木曽三川公園内にある「ツイン



ーチ138」。138は一宮（いちのみや）
に因んでおり、高さがアーチ方式では、東洋
一で、138mあるらしい。二本のアーチが
頂上でクロスしており、展望台がその直下
にある。あそこ
へ行くには5
00円もかか
るので、当然
の如くスルー



して、12時半、犬山
の町向こうにある日帰
り温泉「さら・さくらの
湯」に着き、まずは隣
接の蕎麦屋「長江」に入
り、ランチタイム。天
ぷら、小鉢、デザート
が付く1480円の平



日限定ランチを注文し、「海老がダメ」と云う
と、他のものに替えてくれる。プチ嬉し。離
れた壁にデジタル表示のセンサーがあるも、数字から見て何の値を示
しているのか、わからないので、近寄ってみると、なんとCO2濃度
：コロナ禍時に設置したのであろうが、もう意味がない気もする…。
食後、温泉に入って汗を流し、90分ほど昼寝してから、16時、近



くで見つけたコメダ珈琲店もどきの「せんら珈
琲店」へ移動して、丁井
氏が帰宅するまで時間調
整。ちよっと高いが、美
味しいコーヒーが飲みた
いので、710円の「炭
焼珈琲」を注文すると、
紅茶みたいにポットが付
いてきて、3杯分もある





が、コーヒー三杯はきつい…。17時半、仕事から帰ってきたT井氏と合流し、アパート2階の空いている部屋に、自転車とバッグを置かしてもらい、七日前にも行った鳥皮のお店「新時代」へ。メニューに、ガリガリ君サ

ワーなるドリンクがあり、T井氏が注文すると、焼酎の水割りにアイスバーが入っているだけ…これで390円は高過ぎる気がするし、味も想定内。阪神は、大竹が先発するも、日ハムに2ー8の完敗。

【走行距離47km 獲得標高319m】

【走行時間2:39 平均速度17.7km/h】

【本日の会計】¥7,329 (飲み代¥3,005含む)

●2024年5月30日(木) 26日目 晴れ

犬山駅↓名鉄↓名古屋駅↓JR↓新神戸駅↓バス↓神戸北町

今日は、名鉄、新幹線、バスを乗り継いで、自宅へ戻る旅。5時半に起きて、T井氏が出勤する6時半、一緒に出て、徒歩で名鉄犬山駅へ。通勤時間帯だが、始発駅に近いので、急行でも座れるも、隣のマスクをしたおばさんに「マスクをしろ」と云われ、持っていないので、別の空いている席に移動する…。喘息持ちだか何だか知らないが、プチ気分悪し。名古屋でのぞみに、新神戸で市バスに乗り換えて、9時半、自宅に無事とっちゃこー。阪神は、新庄日ハムに、0ー6の完敗を喫して、交流戦は連敗スタート…。

【本日の会計】¥8,922 (交通費¥8,200含む)

●2024年6月5日(水) 27日目 晴れ

神戸北町↓市バス↓新神戸駅↓JR↓名古屋駅↓名鉄↓犬山



会社同期のO山氏が主催する明石ゴルフ倶楽部での定例ゴルフ会に参加するべく一時帰宅したのだが、奥様の実家のお庭の樹木を剪定するという業務命令をこなしてから、犬山へ戻る。駅前のスーパーで買い出しをして、自

転車を置いてもらったお礼に、キャンプでいつも作っているクリームシチュー2種と麻婆豆腐を作り、部屋でサシ呑み。T井氏宅には、女子プロゴルファーのサインボールがたくさん飾られていて、海外駐在が長かったので、LPGAツアーに参戦している渋野日向子、畑岡奈紗、小祝さくらなど、日本のトッププロが揃っている。全て、アメリカのLPGAツアートーナメントで、直接、本人にお願いして、持参のゴルフボールにサインしてもらった、とのこと。阪神は、岩崎が9回に逆転ツーランを打たれて、楽天に2ー3で負ける



...

【今日の会計】¥10,814 (交通費¥8,200 食料)

●2024年6月6日(木) 28日目 晴れ曇り 南西3m

犬山↓小牧↓春日井↓瀬戸↓豊田↓奥矢作湖



2024春の旅は、今日から、今回最大のミッションである佐渡ヶ島を目指す旅に入る。まず今日は、長野県に繋がる愛知県北東部のキャンプ場まで、約80キロの旅だが、距離がある上に、山岳地帯に入っていくので、ハードな一日になりそう。7時に会社へ向かうT井氏と一緒に出発ジャンプを決めて、お世話になっ



た犬山から、まずは山を避けながら、藤井聡太棋士の地元である瀬戸市へ向かう。途中、小牧を走っていると、桃と飛行機とお城が描かれているマンホールがあり、知らなかったが、小牧は桃の産地らしい。瀬戸焼のお店が並ぶ瀬戸の町中を通り過ぎると、山道にな



り、標高360mの戸越峠を登り、何とか越えて、下ると、矢作川沿いの県道11号に出る。14年前の2010年7月、名古屋のW邊氏が主催するOCC(おっちゃんちゃりんこクラブ)のランで、この川を遡上して奥矢作湖のキャンプ場まで走ったことがあり、今日は、その道をなぞることになる。旭と云う集落まで来ると、WRC(世界ラリー選手権)を歓迎する看板があり、岐阜県と愛知県辺りでジャンプステージをしているのは知っていたが、この辺りとは...プチびっくりである。奥矢作ダムの上りは、途中にトンネルがあり、14年前、あまりのきつさに、I氏がプチ切れていたことを思い出して、笑いそうになる。湖畔沿いの道もアップダウンがあり、フル装備の筆者もヘロヘロになりながら、16時





半、犬山を出て
6時間半ほど
で、14年前に
も泊まった「奥
矢作レクセンタ



ーキャンプ場」にやっと着く。あの時は、廃
校になった校舎に泊まったが、今回は、奥の
フリーサイトにテントを張ることにして、ラ
ンチタイム。昼間、コンビニで、コーラーリ
ットル券が買えると云うので、**新発売のピー**

チコーラを買った、まずい…。設営後、校舎内にある330円のシャワ
ーを浴び、冷蔵庫があったので、管理人に聞くと、「**使用料は1100
円だ**」と云われ、呆然とする。これまで、冷蔵庫を貸してもらった
に、お金を請求されたことがなかったので、内心プチ切れる…。阪神
も、西投手がまたエラーをして、楽天にまさかの3連敗…。

【走行距離74km 獲得標高916m】

【走行時間5:08 平均速度14.4km/h】

【今日の会計】¥4,187

【奥矢作レクセンタースタンプ場評価:37点】

トイレにコンセント、ウォッシュもあり、電波もOKだが、サイト面
は土、シャワーは高め、保冷剤は冷蔵庫が論外の高額、利用料も17
50円と高めで、こんな山奥なのに、ぼったくり感が強いので、印象
は悪い。

●2024年6月7日(金) 29日目 曇り 南1m
奥矢作湖↓根羽(ねば)村↓売木(うるぎ)峠↓白樺高原



今日は、長野県の南端に位置する売木(うるぎ)村にあるキャンプ場
まで約30キロの旅だが、高低図のように、ずっと上りで、最高地点
の標高は1150m。ここが350mなので、800mもアップしな



ければならない…昨日よりきつい一日になりそうだ。なので、6時に起き、バナナ、ミニトマト、一合のごはんは納豆と生卵の朝食をしっかりと食べ、8時半、校舎前でジャン





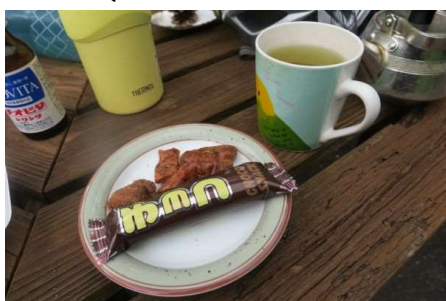
写真を撮ってから
出発。キャンプ場は
岐阜県恵那市だが、
マンホールには、上
矢作町「福寿の里」
とあり、河童みたい
なマスコットキャラ

が描かれている。矢作川の南側へ渡ると、愛
知県豊田市で、更に進むと、長野県根羽(ね

ば)村になり、この先の町で買い出しを済まし、標高1150mの売木
(うるぎ)峠へアタック。峠まで10キロ、600mアップを2時間
強で何とか登り切り、あとはキャンプ場まで下り。13時から雨予報
だったが、雨雲はここには来ず、13時半、標高1070mの白樺高
原キャンプ場に着くも、広い高原のイメージとは異なり、普通のキャ



ンプサイト…。小屋
みたいなしよほい管
理棟で受付を済ま
し、外のベンチで、
缶ビールを飲みなが
らランチをしている
と、管理人のおじさ
んが、「自転車がよく
ここまできたねえ」



と云いながら、チオ
ビタとかりんとう
とチョコバーと温か
い日本茶を差し入れ
してくれる。売木峠
までの残り300m
アップは勾配10%
近い激坂が続く、脚は疲れ切っていたので、管理
人の優しいサービスに感謝する。そして、15時



頃、ベンチに座っているだけに脚が攣り、悶えるも、ツムラの68
番ですぐ治る。遠くでゴロゴロ鳴っているので、雨雲レーダーを見る
も、この辺りは大丈夫だが、**二十日前に通った飛騨古川が大雨で、**
JR高山線も止まっているらしい。設営後、ひるねをしてから、クリ
ームシチューを作ってテントに入るも、ドコモの電波が全く入らな
くなり、ダゾーンもラジコも繋がらないので、仕方なくアナログのラジ
オを出して、中日楽天戦を聴く…。後で知るが、阪神はテル、前川、
近本の活躍で西武を4-1で破り、貯金ひとつになる。

【走行距離36km 獲得標高911m】

【走行時間3:44 平均速度96km/h】

【本日の会計】¥4,174

【白樺高原キャンプ場評価…26点】

東屋や屋根付き炊事場がなく、シャワーやウォッシュもないのに、2
400円のキャンプ代は高過ぎる。そして最悪なのは電波が圏外！

2024年春のチャリキャンプひとり旅(その六)

野田 俊

●2024年6月8日(土) 300日目 晴れ 南1m
白樺高原↓阿南↓下條↓飯田



今日は、北上しながら高原を下り、飯田市の西方にあるキャンプ場ま



で約50キロの旅。9時、親切だった白樺高原キャンプ場の管理人ご夫婦に「また来てねえ」と云われながら、ジャンプを決めて出発する。しかし、電波が圏外なので、もうここ



あ、と思いながら、ダウンヒルを楽しんでいると、いきなり通行止めの看板が！売木川沿いに下れるいい道なのに、プチシヨック…災害復旧工事中なので、自転車なら通してくれるかもしれないが、ダメだったら、もっとシ



ヨックなので、仕方なく、100mもアップする峠トンネルを越えることにする。その峠を上って下り、「信州新野千石平」と云う道の駅に寄ると、この辺りの名物だろうか、大御幣餅と書いた看板があり、長さが22センチもあるらしい。珍しいが、480円はチト高いの



で、スルーして、豊橋と飯田を結ぶ国道151号線を北上する。国道と並行して走っているJR飯田線は天竜川沿いにあるが、この国道は、少し離れた山あいを通っており、数十m級のアップダウンが六つもある。遥か下に見える谷を越える大きな橋に、多少助けられるも、脚への





ダメージが大きい
…。13時頃、リ
ンゴと音楽の町、
飯田の町に入り、
まずは、昨日入れ
なかったで、西
にある温泉「天空
の城」へ向かう
も、飯田の町中は
平坦じゃなく、西



へ向かって上っているの、想定外…。その上、温泉はとんでもない
高台にあり、名前の如く眺めはいいが、無駄なアップを余儀なくされ
る。温泉に入る前、まずはランチを、と思い、フロントで聞くと、レス
トランはもうランチ営業していない、とのこと…。仕方ないので、温泉
だけ入り、近くのスーパーでマグロ巻などを
買い、もっと西方にあるキャンプ場まで、ま
た上る。結局、今日の獲得標高は800mを
越えてしまい、昨日や一昨日の900mと大
して変わらない…。今日の宿、妙琴(みよづき
ん)公園は管理人がいらない無料のキャンプ場だ
が、東屋や屋根付き炊事場などインフラが整
っている素晴らしいキャンプ場で、土曜日も
重なって、団体キャンパーが結構多い。特

に、BBQハウスでは、東南アジア系の若い
男女10名ぐらいが騒いでいて、メチャうる
さい…。でも、炊事場に近いので、そのBB
Qハウスの隣に設営する。もう、17時を過
ぎているので、すぐできる麻婆豆腐にして、
結果を知らない昨夜の阪神と西武の試合と今
日の試合をダゾーンで全部観る。20時を過
ぎると、BBQハウスの連中は帰り始めたの
で、一旦静かになるも、今度は飯田市の花火
大会が始まり、音と衝撃波が気になって寝ら
れない…。阪神は、森下の大活躍で4-1の快勝を収め、貯金が二つ
になる。広島が同4、巨人が同3なので、首位と1ゲーム差。



【走行距離59km 獲得標高811m】

【走行時間4:03 平均速度14.5km/h】

【今日の会計】¥4,300

【妙見公園キャンプ場評価：33点】

町から川沿いに60mアップは少しきつい、東屋や屋根付き炊事場
があり、無料ノー管理のキャンプ場にしては、掃除も行き届いてい
る。シャワーやウォッシュ、コンセントはないが、電波は全然入るの
で、また来てみたいキャンプ場である。

●2024年6月9日(日) 31日目 曇り 南5m

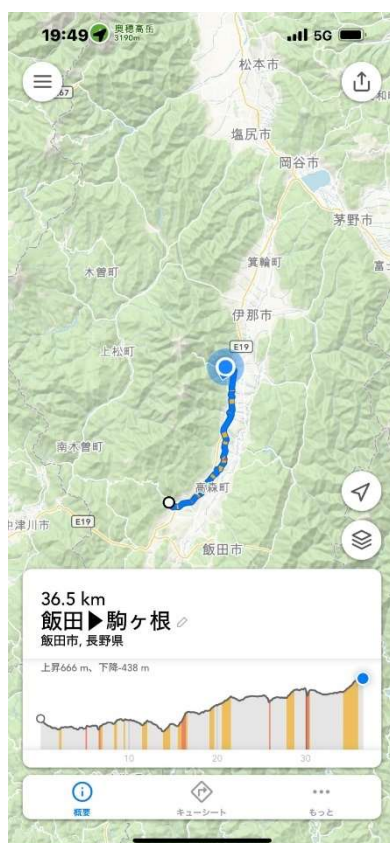
飯田↓高森↓松川↓飯島↓駒ヶ根



だが、今日のキャンプ場も西寄りにあるので、西寄りにある南信州フルーツラインと云われる農道を選択。フルーツが付く道なので、あちこちにリンゴの木があり、赤ちゃんのこぶ



今日は、天竜川に沿って旧伊那街道を北上して駒ヶ根のキャンプ場まで約40キロの旅。空気が入れ替わったようで、予想最高気温は20℃、しかも、南からの超フォロ。朝方の雨予報も結局降らず、遅くなったが、10時半に出発ジャンプを決めて、北へ向かう。本来なら、東寄りにある天竜川まで下って川沿いに走る方が楽そうではいい



つていいよ」と云ってくれたので、遠慮なく甘えることにする。フリーサイト代1300円で、3200円の常設テントに泊まれるので、めちゃラッキーである。その上、常設テ



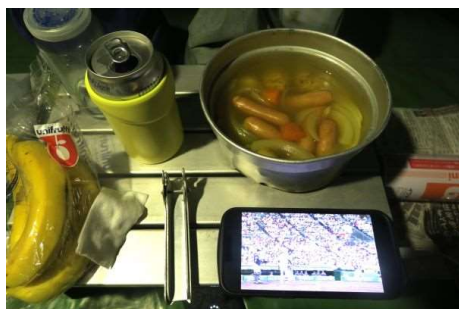
のお店があり、小腹が空いたので、軽く食べようと思ったが、1ピース700円もするので、諦める。14時半、木曽駒ヶ岳の麓にある駒ヶ根キャンプセンターに着き、受付をすると、管理人のにーちゃんが「今日は、他に誰もいないし、今晚、雨だから、常設テントに泊ま



し大ぐらいの実がたくさん生っている。農道は細かなアップダウンに加え、飯島町の手前にある松川町からきつい上りが始まり、14時頃、標高750m地点に

ある駒ヶ根にやっと着く。途中、アップルパイ



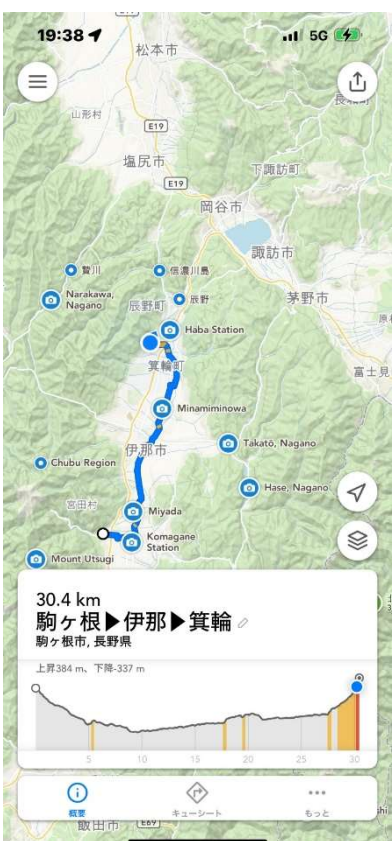


ント横には、自転車の雨除けになるドームテントもあり、雨に濡れる心配もない。そこに自転車を入れてから、**コロッケ焼肉弁当**で遅めのランチを済まして、100円で時間制限なしのシャワーを浴びて、200円のランドリーもして、5日分の洗濯物を大きなテント内に全部干す。テント内に照明がないので、ランタンを三脚に掛けて、ポトフを作り、阪神の試合を観ながら頂く。阪神は、才木の好投で西武に3-0で勝ち、3連勝。今朝の買出しの際、蠻りに効くツムラの68番が無くなったので、ドラッグストアに寄り、薬局のおねえちゃんに「**津村順天堂の漢方薬68番**はありますか」と聞くと、「津村順天堂なんて知りません」と冷たく云われる：「そんなはずはないでしょ」と聞き直すと、「ツムラの漢方薬ならありますよ」とのこと。いつだか知らないが、社名変更で、順天堂が抜けたらしく、今の若い子に、順天堂では通じないようだ…。ステイック状で20本入って、2640円はチト高い気がするが、必要不可欠なのでやむなし。

【走行距離38km 獲得標高591m】
 【走行時間2:50 平均速度13.4km/h】
 【今日の会計】¥5,125 (シムラの8¥2,640(お水))
 【駒ヶ根キャンプセンター評価：4.3点】
 フリーサイト料は1300円とチト高めだが、電波充電OK、シャワ

ー、ランドリー、屋根付き炊事場など、インフラは整っていて、保冷剤も冷やしてくれるので、また来たいキャンプ場である。

●2024年6月10日(月) 32日目 晴れ 南1m
 駒ヶ根→伊那→箕輪→長田



今日は、**天竜川に沿って旧伊那街道を更に北上して伊北地方にあるキャンプ場**まで約30キロの短い旅。寒いぐらいの常設テントであったが、6時半に起きて、お米を炊こうとした際、コッヘルが倒れて、**水と一緒にお米が新聞紙の上に！**プチシヨックだったが、幸い、新聞紙を敷いていたので、全





部拾うことがで
き、プチラッキ
ー。管理棟前に
「サルに注意！」
の看板があり、「目
を合わせず威嚇せ
ず餌を与えず冷静
に対応するよう
に」とある。猿に
は、昔、バッグの



中の食べ物を盗まれたことがあるので、基本、猿は嫌いだし、出遭い
たくない動物である。今日は、昨日走ったフルツロードではなく、
東寄りにある天竜川まで下り、基本、川に沿った県道を走ることにし
て、下っていると、**水を張った田んぼに青空と白い雲が映っていて**、
シンプルに心が和む。川沿いの道は、想定通り、アップダウンのない
緩やかな上りで、のんびり楽しみながら、伊那の町に入ると、筆者が
好きな**丸亀製麺**のお店があったので、定番の
うどん弁当を買う。トンボとお魚とカニさん
が描かれている可愛いマンホールの箕輪町に
入ったところで、電話が鳴り出ると、今日お
世話になるキャンプ場の人からで、「昨日、
キャンプ場への道でクマの目撃情報がありま
したが、どうされますか」とのこと。クマと



聞いた瞬間、また閉鎖か、
と思ったが、「閉鎖はしな
い」とのことなので、泊ま
ることを伝え、山の麓にあ
る「**ながた自然公園キャン
プ場**」まで行くと、管理棟
が山の中腹にあり、ここか
ら50mもアップしなければ
ならない。その上、激坂
なので、ヒュー云いなが



。失意の中、登っ
てきた道を下り、お
姉ちゃんから、クマが
**出るのでキャンパーが
いるオートサイトを
勧められたが、オー
トの方が林間で雰囲気
悪いので、眺めの
良い明るいフリーサ**





イトに設営することにして、「ハンバーグ&鶏唐うどん弁当」を頂く。15時半、自転車で数分のところにある日帰り温泉「ながたの湯」へ行くと、長野県出身力士「御嶽海」のサイン色紙があり、その

下に、2018年の春巡業でここに泊まった時

18名	資 格 者	105	102	204	202	101	203	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	206	205	204	203	202	201	103	
-----	-------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	--

の部屋割りが書いてある。よく見ると、御嶽海や豪栄道など当時の大関だけが個室で、幕内以下の力士はみんな相部屋になっている。四人居る部屋に大きな力士が4人寝るなんて想像しただけでも暑そうだし、プチ可哀そうだ。キャンプ場に戻り、タエッセンをしていると、防犯パトロールのおじさんが現れて、「クマが出るから注意してください」とまた云われる…。「わかりました」と返事をするも、注意しても襲われる時は襲われるわ、と内心思いながら、18時、テントに入り、カレーを食べて20時には寝る。結局、クマは現れず…

【走行距離33km 獲得標高395m】

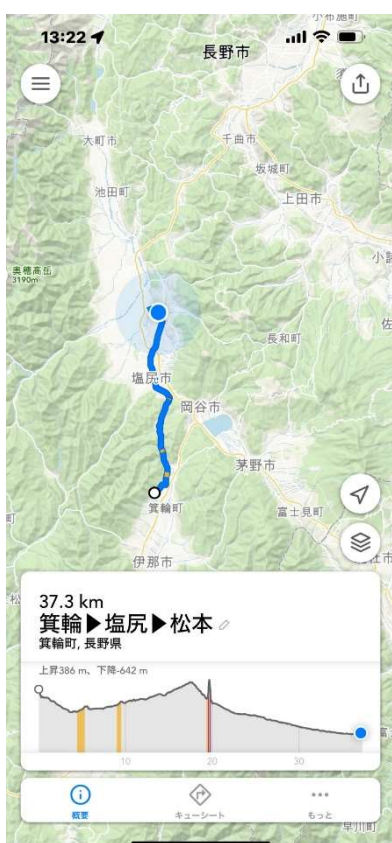
【走行時間2:11 平均速度15.1km/h】

【今日の会計】¥2,776

【ながた自然公園キャンプ場評価：4.1点】

サイトは坂の下で、料金は1000円とお安く、保冷剤も冷凍してくれるし、蚊もいないし、充電もできるので、合格点のキャンプ場である。

●2024年6月11日(火) 33日目 晴れ 南2m
箕輪→辰野→善知鳥(うとう峠)→塩尻→松本



今日は、太平洋と日本海の分水嶺峠を越えて、塩尻經由松本まで約40キロの旅。6時に起きて、まず、朝露で濡れたテントやシートを干してから、ご飯を炊く。今日も晴れたが、予想最高気温が29℃なので、暑くなりそうだ。出発前、炊事場に七色に輝





く気持ち悪いカメムシがいて、まだ寒いのか動きが鈍いので、木の枝にカメムシを載せて、遠くに行ってもらう。9時にキャンプ場を出発

すると、お尻が光る蛍が描かれたマンホールが！昨日のお魚さんマンホールもそうだが、ここ箕輪町のは非常に面白い。辰野の町

で諏訪湖に繋がる天竜川と別れ、旧伊那街道を走っていると、塩尻市に入ったところの小野宿に神社があったので、寄ってみると、信州特有のあの御柱(おんばしら)が天に向かって立っている。そして御朱印

を頂くと、「信濃国二之宮矢彦神社」と書いてあり、一之宮の諏訪大社に次ぐ由緒ある神社なので、音色もいいし、お

守り用に「八栄の美鈴守」と云う鈴を買っ

て、フロントバッグに付ける。分水嶺へ向か

っていると、「国内唯一レンガ造りの蔵造(そうぞう)川水路橋」



の案内標識があり、寄ってみるも、場所が分からず、木を切っていたおじさんに聞いて、やっと辿り着く。JR中央本線の線路建設の際、分断された川を通すため、1906年に造られた水路橋とのことだが、どの場所からも線路が見えないので、イマイチだが、現存する唯一のレンガ水路橋な

ので、一応パチリ。しかし、案内標識を国道に設置するなら、導線と駐車場を整備して、線路が望めるように展望台も設置して欲しいものである。ここから15分ほどで、伊那谷と松

本平の境目になる分水嶺のある善知鳥(うとう)峠に着くと、ひるがの高原の時と同じよう

に、公園があり、観光用に作ったと思われる

る、二股に分かれる水路が：ひるがのは水路から水が流れてきたが、ここは、泉から湧き

水が溢れ出てくる仕組みだ。当たり前だが、分水嶺を越えれば、基本、下りなので、松本

までの20キロを1時間ちょっとで走破し、12時半、松本駅横の東横インにとうちゃこ





お。ランチは、駅前にあった「松本からあげセンター」で、長野名物の山賊焼き弁当をテイクアウトして、ホテルロビーで缶ビールと共に頂く。夜は、松本在住で大学サークル後輩のT中氏がわざわざ駅まで来てくれて、二人でサシ呑み。阪神は、こここくチャンス逃し、オリックスに0-4の完敗を喫す...

【走行距離43km 獲得標高332m】

【走行時間2:23 平均速度18.0km/h】

【本日の会計】¥1460 (ホテル代¥1200、呑み代¥260(200含む))
 ●2024年6月12日(水) 34日目 晴れ 南1m
 松本→安曇野→明科(あかしな)→筑北



約70キロ先の長野市へ行くには、三つのルートがあり、一番楽なのは、犀(さい)川沿いに下る北寄りルートだが、途中にキャンプ場がなさそうだし、急ぐ必要もないので、山越えになるが、キャン



プ場のある真ん中ルートを選択し、三日かけて長野まで行くことにする。なので、今日は、安曇野、明科を通じて、筑北村にあるキャンプ場まで約35キロの旅。遅めの10時、松本駅前にある「小澤征爾さん直筆の時計塔」の前で出発ジャン



プを決めて、北へ向かい、安曇野にある大王わさび農場に寄るも、日除けの黒いシートが邪魔をして、ワサビ畑は全く見えず…。建物内に入ると、収穫したばかりだろうか、生のわさびがいっぱい並んでいるも、小さいのも800円、大きいのは1900円もある。一番びっくりしたのは、「おろし生わさびチューブ」で、なんと一本1





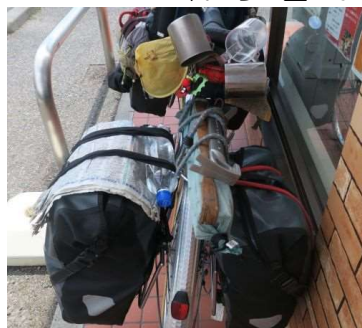
200円！しかし、これだけ置いてあるという事は、一番売れているのだから、と思いきや、

し、長野でお世話になる下沢産業の工部氏への土産として買うことにする。観光地

定番のソフトクリームがあり、**550円の大王プレミアムソフト**には、生わさびが乗っかっていて、昔、わさびの名産地である伊豆で、シャケンに勝って食べたことがあり、ソフトの甘さとわさびの辛さが絶妙にマッチしてメチャ美味かった記憶がある。農場を出て、明科のコンビニで、ワンカップと6Pチーズを買い、サイドバッグをふと見ると、ゴム紐で固定していた**モンベルのボトルが無くなっている！**走行中に振動で徐々にずれて、落ちてしまったのだ！去年の8月に買ったばかりなのに、プチショック…。**あやめとお魚**



が描かれた明科町のマンホールで傷ついた心を癒し、キャンプ場のある筑北村へ向かう。気温30℃を超える暑さの中、意外と楽勝だった2



00mアップの矢越峠トンネルを越えて少し下ると、富蔵(とくら)ダム湖があり、14時、その湖畔にある「とくろさわふれあい公園キャンプ場」に無事到着。ランチ後、今日も完ソロらし



く、管理棟に一番近いサイトに設置して、1キロほど離れた日帰り温泉「西条温泉とくら」へ。キャンプ場に戻り、タエッセンをしていると、**ゴロゴロと雷鳴が聞こえてきて、18時、テントへ入る頃、丁度、雨が降り出し、1時間ほど結構な雨が続くも、**

自転車はBBQハウスに避難させておいたし、テントもタープがあるので、全く問題なし。管理のおじさんが云っていたが、近くでクマが出たようで、キャンプ場内にも、「**クマ出没注意**」の看板があちこちにあるので、いつもはハンドルに付けっぱなしのクマ撃退スプレーをテント内に持ち込み、一緒に寝る。阪神はオリックスに昨日同様、0-4の完敗…テルがチャンスに三振ばかりでは…溜息ばかり。

【走行距離37km 獲得標高374m】

【走行時間2:26 平均速度15.0km/h】

【今日の会計】¥6,498

【とくらさわふれあい公園キャンプ場評価:42点】

料金は1020円とお安く、電波、充電、保冷剤冷凍、雨除けなど、ランドリー以外はほぼ完璧。ウォッシュは故障中だったが、虫は全く出ず、管理人も親切であった。

2024年春のチャリキャンブひとり旅(その七)

野田 俊

●2024年6月13日(木) 35日目 晴れ 北東1m
筑北↓坂北↓麻績(おみ)↓聖(ひじり)高原



今日は、標高1000mにある聖高原のキャンプ場まで約15キロの短い旅だが、勾配のきつそうな坂を400mもアップしなければならいので、朝から気合が入る。いつもの朝食にキウイを加えて栄養を十分摂り、9時半、キャ



ンプ場を出発。30分ほど走っていると、銑鉄営業時代に2回はプレーしていた懐かしいゴルフ場の案内

看板が、標高が1000mほどあるので、ボールが飛びやすく、15年ほど前のことだが、ここで79の自己ベストを出したので、一生忘れ

られないコースだ。坂北と云う町の郵便局でお金を下ろした際、長野産のシャインマスカットを母や妹たちへ送ろうとしたが、受付開始が7月からとわかり、代わりにシャインゼリーを送ることにする。聖高原への坂を上っていると、前方から箱車を押す怪しいおじさんが近づいてきて、「日本一周中」の文字が見える。徒歩で日本一周なんて普通じ



やないので、目も合わず、会話もせずですれ違う。更に上っていると、「お仙の茶屋」と書いた蕎麦屋がポツンとあり、知らなかったが、この道は善光寺へ参





詣るための「善光寺街道」と呼ばれていて、昔から人々の往来が盛んで、このお茶屋が街道のオアシスの存在だったらしい。上り始めて1時間半、意外にしんどくなく、聖高



い。受付を済まし、リフト乗り場近くのベンチでランチしていると、**黄色の雪上車**が急な斜面を何回も行ったたりしている。どこかのメーカーなのか、わからないが、どうも新型車両の走行試験をしている。



原に着くも、キャンプ場は更に上のスキー場にあるではないか！何とかリフト乗り場まで行くと、夏なのにリフトが動いている。**スカイライダー**と云う滑り台の上をスライダーに乗って滑走するアクティビティがあり、リフトで山頂まで上り、乗り場まで滑って来る仕組みらしい。



宿は、キャンプ場じゃなくホテルなので、大丈夫。阪神は、西の好投と打線の組み換えが功を奏し、オリックスに5-0で完封勝ちを収める。

るようだ。キャンプサイトは、**屋根付き炊事場奥の急斜面**で、階段状に平坦なサイトが並んでいる。高原らしく、キツツキのドラミング音や蝉声が聞こえる中、炊事場に自転車を置いたまま、一番近いサイトに設営して、無料のシャワーを浴びて、いつものように、18時にテントに入って夕食タイム。下界は30℃を超える暑さらしいが、ここは標高1000mあるので、テント内は涼しい。明日は、長野でも35℃になるらしいが、明日の

【走行距離17km 獲得標高493m】

【走行時間1:45 平均速度95km/h】

【本日の会計】¥11695

【聖高原キャンプ場評価：3.5点】

利用料金は1500円するが、無料シャワー付きなのでまあまあ。屋根付き炊事場はあるものの、サイトは少し離れていて、トイレはもっと離れている。電波はOKだが、充電、保冷剤、ランドリーはできない。サイト面には砂利が敷いてあるも、ペグは普通に刺さるし、水はけも良さそうなので、雨や夜露で濡れる芝生より砂利の方がいいのかもしれない。

●2024年6月14日(金) 36日目 晴れ 北1m
聖高原↓姨捨(おばすて)↓千曲(ちくま)↓篠ノ井↓長野



は、現役時代、お世話になった長野在住の商社マン宅に、自転車を預かってもらうことになっている。遅めの10時にキャンプ場を出て、聖湖まで下ると、Donald Duck風の足漕ぎボートが並ん



かな減速せず、カーブで棚田に突っ込むところであったが、足ブレーキで何とか回避する!。棚田の眼下には、千曲川と善光寺平と呼ばれる広大な盆地が望めて良かったが、危ないところであった。千曲川の河川敷を走っていると、川を斜めに横断する北陸新幹線のメチャ長い鉄橋が見えてくる。5年ほど前だろうか、この千曲川が線状降水帯の発生で堤防が決壊してしまい、新幹線の車両基地が

今日は、山を下り、千曲川沿いに北上して、長野まで約30キロの旅。天気もいいし、楽勝の日である。そして、明日は、来週行なわれる町内自治会の一斉清掃に参加するべく、神戸へ一時帰宅しなければならぬので、今日は、



でいて、桟橋には、日傘を挿しながら、釣りを楽しむおじさんがいる。へら鮒が釣れるようで、1500円払えば、一日いてもいいらしい。ここから長野市内まで28キロの標識を確認して、豪快なダ



ウンヒルを楽しみ、千曲高原を過ぎると、JR姨捨(おばすて)駅があり、その先には姨捨の棚田がある。車は入れないが、自転車は行けそうなので入るも、下り勾配が15%以上あり、ブレーキ力が弱いカンティ式ブレーキでは、重装備だし、フルブレーキングしてもな



水没した映像が目に見え…。長野市の南に位置する篠ノ井の町は、銑鉄営業時代、仕事で何度も訪れた場所、当時、お世話になったW辺商事の前を通る。今日、お世話になる工業業のT部氏宅を目指していると、偶然、モンベルストアを発見したので、先日、落としてしまったボトルを改めて買う。前のは、ソフトタイプだったが、ポリ臭があるので、今回は、ハードボトルにする。T部さんのおうちは、住居兼奥様の美容院になっていて、着いてみると、地中海風の洒落た感じの建物で、プチぷっ



くり！奥さんもスラっとした美人で、美容院のママって感じだ。まずは自転車だけを置かせてもらい、バッグは車に積み込



んで、T部さんに長野駅前東横インまで送ってもらうことに。そして、夜は、二人でサシ呑みしながら、楽しい時間を過ごすも、阪神は、強いソフトバンクに0-2の完敗…。

【走行距離28km 獲得標高131m】

【走行時間1:39 平均速度17.1km/h】

【本日の会計】¥13509 (ホテル代¥6840、モンベル¥3590)

●2024年6月15日(土) 37日目 晴れ 南西3m

長野↓JR→新神戸→市バス→神戸北町

今日は、身軽になった体で、神戸の自宅まで帰る鉄道旅。6時に起きて、洗濯し終わった服などをパッキングしたバッグ4個を、ゴルフへ行く途中に寄ってくれたT部さんに預けて、6時半、東横インにしては珍しい最上階にあるレストランへ行くも、高校生の男女がいっぱいで、メチャ並んでいる！一旦、並ぶも、30分ぐらいかかりそうなので、出直すことにして、JKねーちゃんに聞くと、



弓道の全国大会がある、とのこと。他の東横インより、おかずの種類が多く、信州そばもあるので、いいのだが、大団体がいる場合は、通常より30分早めてオープンするなどの対応を取って欲しいものである。10時発の特急しなの



号に乗車する前、終点の名古屋まで3時間もかかるので、長野駅構内で見つけた、駒ヶ根の明治亭「ソースカツ丼弁当」を三つ購入。内二個はうちへのおみやげ用である。名古屋で東海道新幹線、新神戸で市バスに乗り換えて、15時、自宅に着く。阪神は、ソフトバンクの近藤に初回3ランを打たれ、2-6の完敗…。

【本日の会計】¥22,892 (交通費¥14,980、土産代¥5,708 含む)

●2024年6月23日(日) 38日目 雨曇り雨

神戸北的↓市バス↓新神戸↓JR↓長野

今日が一斉清掃の日であったが、雨で中止となり、一時帰宅が無駄に終わる…。順延日は一週間後だが、元々、今日が再出発の予定だったので、嫁さんに惜しまれながら、家を出る。今日は、長野のT部さん宅に預け



ていた自転車とバッグを受け取り、駅前のホテルまで自走する予定であったが、長野も雨が降っているので、T部さんの車に全部詰め込み、ホテルまで運んでもらう。結局、T部さんには、近いとはいえ、ホテルまで何度も来てもらい、感謝しかない。先週、おみやげでプレゼントした大王わさび農場の「生おろしわさびチューブ」が、美味しかったらしいので、それが、せめてもの救いである。

【本日の会計】¥24,696 (交通費¥14,550、ホテル代¥6,840 含む)
●2024年6月24日(月) 39日目 晴れ 北西4m
長野↓豊野↓飯山↓妙高↑上越



今日は、佐渡ヶ島へアプローチするべく、ほぼ真つすべに北上して、妙高経由上越まで約70キロの旅。昨日の雨は朝方には止み、風は若干アゲインストで、気温も30℃を超えそうだが、雨よりはましである。距離があるの



で、早めの8時半にホテル前で、セルフタイマーで出発ジャンプを撮ろうとしていたら、丁度、おねえちゃんが横切る！このあと、ちゃんと





撮り直すも、こっちの方が面白いので採用。群馬県の高崎と新潟の上越市を結ぶ国道18号線を避けて、千曲川に近い道を走っていると、二

週間ほど前に飯田の町で見た時よりも、プチ大きくなり、赤味を帯びてきたりんごがたくさん生っている。水没した新幹線車両基地の

ある豊野の町を過ぎ、国道117号線を北上、飯山市に入った辺りで、日本一長い大河である千曲川(信濃川)が、やっと見えてくるも、結構な水位で茶色に濁っている！以前、群馬の前橋で見た利根川も、やばかったが、この川もやばい。飯山の町中に入ると、雪ん子がスキ

ーを履いている可愛いマンホールがあり、新幹線が止まるJR飯山駅の近くには、旧飯山駅ホームから移設された「七福の鐘」があ



る。一度訪れると一つの願いが叶い、七度で七つの願いが叶うらしいが、今、かなえない願いは特にないので、鐘撞きはせず。その隣には、なぜか門だけがあり、黒光りした仁王像が左右に一体ずつあり、こちらを睨んでいる。善光寺の仁王門が

消失していた明治45年の御開帳時、善光寺前に露座していたのが、この仁王像で、その後、なぜか解体され、どっかの寺院を経て、12年前、ここに作られた仁王門に移設され、寺の町飯山のシンボルになっている、とのこと。飯山の町を過ぎ、300mアップの坂を越え、



川沿いに下っていると、「トキの国」新潟県の標識が！普通、峠が県境になるのだが、長野県と新潟県の間で、昔、領土を争う揉め事があり、長野側が勝ち。ここが県境になったのだらう。旧新



井の町を過ぎ、14時、旧高田の町にある新幹線が止まるJR上越妙高駅に着く。普通列車が見える妙高はなうまライン（旧信越本線）

は、サイクルトレインなので、いすれ利用したいものだ。駅前の東横インにチェックインし、ランチは、アジフライとジャーマンポテトサラダに、「風味爽快新潟限定ビール」。その前に、明日の直江津港から佐渡ヶ島行きフェリーについて、佐渡汽船へ確認の電話をすると、なんと明日は全便欠航が決まっている、とのこと。低気圧通過による強風が予想されるためで、「新潟港からのフェリーは運航予定なので、新潟から乗船してください」と、6年前のGWと同じことを云われる

…。あの時は、宿の関係もあり、新潟までJR輪行して何とか渡ったが、今回は急ぐ必要もないので、待つことにする。しかし、2回連続欠航になるとは、直江津の佐渡汽船港は鬼門かもしれない…。

【走行距離69 km 獲得標高488 m】

【走行時間3:59 平均速度17.4km/h】

【本日の会計】¥8,552（ホテル代¥6,270含む）



●2024年6月25日（火） 40日目 曇り
西8m

朝から秒速8mの強風が吹いていて、海上はもっと強いだろうから、欠航は納得せざるを得ない。今日は走らないが、胃拡張気味なので、しっかり



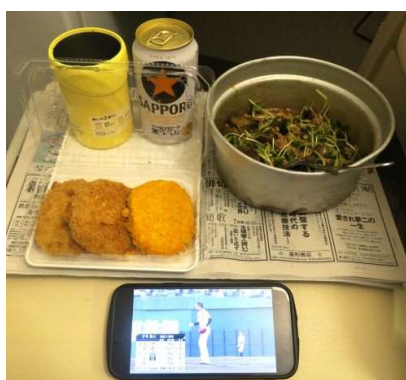
食べて、午前中は、大谷の試合を観ながら旅レポの執筆活動。買い出しのため、外へ出ると、曇っているのに、意外に蒸し暑く、午後は、ランチを済ましてから昼寝して、夜は、阪神の試合を観ながら麻婆ナス。阪神は、才木が好投するも、チャンスに梅野と大山が打てず、中日に0-1で負けてしまい、貯金が1に減る…。

【走行距離3 km 獲得標高43 m】

【走行時間0:13 平均速度13.4km/h】

【本日の会計】¥8,196（ホテル代¥6,270含む）

●2024年6月26日（水） 41日目 晴れ 北西6m
上越↓高田↓直江津港↓フェリー↓佐渡ヶ島小木（おぎ）





今日は、15キロ先の直江津港まで自走して、佐渡汽船のフェリーで佐渡ヶ島の小木港へ渡り、その町中にある宿まで。少し心配していた今日のフェリーは、今のところ運航予定なので、ひと安心。昨日より少し多めの朝食を頂き、10時過ぎ



にホテルを出発し、県道63号の上越新井線に入ると、「日本スキー発祥記念館」の看板があるも、山の上にあるので、諦めて、直江津の町へ。JR直江津駅前で、6年前お世話になった旅館「附船屋」を見つけ、コロナ禍を乗り越えて、まだやってそうなのでホッとする。11時半過ぎ、6年前に行けなかった直江津港の佐



渡汽船のりばに着くと、大型フェリーの船と思われ、メチャでかい赤いミニユメントが立っている。直江津港のシンボルだろうか。出航時刻は2時半後の14時なので、

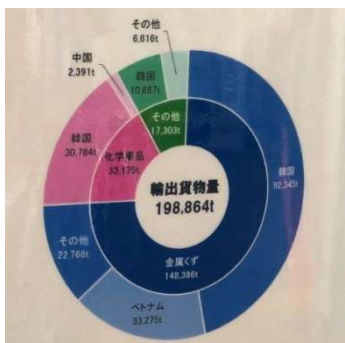


ターミナルの最上階にある展示室兼休憩フロアで、買っておいたのり弁と缶ビールで、ランチタイム。佐渡の観光マップパ



フェリーが着く小木（おぎ）港が左下

（島の南西部）にある。6年前は、中央部東側に位置する両津港に上陸し、トキの森公園と佐渡金山と佐渡奉行所など、中央部にあるメイどこころしか廻らなかったので、今回は、北の端を目指して、ほぼ一周する計画だ。直江津港から輸出される貨物の円グラフを見ると、75%が金属くずで、新潟



県はスクラップ輸出が盛んだったことを思い出す。この辺りは豪雪地帯なので、最深積雪量の棒グラフもあり、昭和61年が戦後最も積も

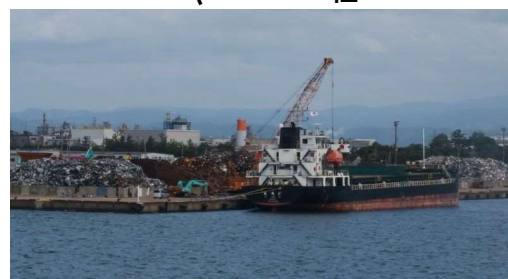




て沖縄本島まで繋ぐ58号線である。16時半過ぎ、小木港に着岸し、下船すると、港に、あの佐渡名物「たらい船」が数珠つなぎのようにプカプカ浮いている。切符売り場を見ると、大人700円とあり、リースナブ



った年で、確かに、あの頃は。福井の方も毎年、大雪で、大変だった気がする。出港20分前、佐渡汽船の「四代目」がね丸に乗船し、新潟港を見渡すと、岸壁に茶色や銀色のスクラップ(金属くず)が山のように積まれており、それらをクレーンで貨物船に載せると



ルな料金にプチびっくり。港から近い今日の宿、ゲストハウス「iro」にすぐ着くも、ボロ屋で、目を疑ったが、ここ間違いない…しかも、自転車置くスペースもない…宿の人はまだおらず、30分ほど待たされて、やっと中へ入ると、土間があり、そこに自転車置いていいと云われ、室内も意外に綺麗で埃もなく、プチ安心する。ゲストハウスは、相部屋になったりするので、基本、泊まりたくないが、今日は、自分だけなので、プチラッキー。夕食は麻婆豆腐を作って、阪神戦を観ながら、20時に寝る。阪神は、中日と1-1の引き分け…。



【走行距離17km 獲得標高68E】
【走行時間1:10 平均速度14.7km/h】
【本日の会計】¥12,650 (宿代¥4,000、フエリー代¥5,530、手ぬぐい¥1,500 含み)

2024年春のチャリキャンブひとり旅(その八)

野田 俊

●2024年6月27日(木) 42日目 晴れ 東2m
 小木↓赤泊↓松ヶ崎↓水津



今日から4日かけて佐渡ヶ島をほぼ一周する計画を立てて、その初日の今日は、島の南端に位置する小木から海岸線を北上する約45キロの旅。高低図を見ると、多少のアップダウンはあるものの、ほぼ平坦なので、佐渡には優しい道である。6時過ぎに起きて、メシを炊き、



いつもの朝食を済まして、9時過ぎ、宿のお姉さんと一緒に出発ジャンプを決めて、小木港に寄ると、マンホールにも描かれている佐渡名物「たらい船」が営業しており、船頭さん？と観光客二人が



セットとなり、海に浮いている！波が殆どない港内を30分ほど回るだけだろうが、楽しそうだ。天候は晴れ、風は微風、海の遠くには内地の山並みがうっすらと見えている。紫色の紫陽花も満開で爽快な気分だ。1時間ほど走ると、赤泊という港に、江戸時代と思われる船が



建てられている。宿のおねえさんが、この先にドーナツ屋さんがあり、「そのエビスーブがうまいよ〜」と云ってくれたが、そのお店はお休み…エビはダメだが、プチ残念。島の外周をなぞっている





この県道45号は、国内の都道府県道の中で一番長く、170キロもあるらしい。北海道には、もっと長い道道がありそうだが…。県道にしては、今時珍しい素掘りのトンネル



があり、右には「高波による落石注意」の標識、左には「密漁禁止」の看板が！高波で浜の石が巻き上げられて、海水と一緒に車に落ちてくる、なんて信じられないが、日本海の冬の荒波ならあり得るのだろう。自然にできた丸い岩のてっぺんに松の木が一本だけ生えていて、



なかなかいい感じだが、名は付いていないようだ。13時前、今日のキャンプ場「赤亀・風島公園」に着くと、先客がいるも、ひとがいる気配はない。海を見



ると、貝や魚を捕ろうとしているダイバー

が！密漁である。1時間ほどすると、30才ぐらいだろうか、にいちゃんが戻って来たので、聞くと、「何も獲れなかった」とのこと。

密漁の話はしなかったが、やっぱり、こういう人がいるんだと、プチびっくり。結構、汗をかいたが、300円のシャワーは故障中なので、濡れ手ぬぐいで体を拭く。電波も1本だけで、テントに入ると、全く入らなくなり、久しぶりにアナログのラジオを聴きながら、椎名誠さんの本を読む。阪神は、中日に8ー1で勝つも、ミスが相変わらず多い…。大谷さんは、25号のホームランを打ち、打率も、322。ドジャースもホワイトソックスに4ー0で快勝して、貯金が20に到達。



【走行距離47km 獲得標高269m】
【走行時間2:53 平均速度162km/h】
【今日の会計】¥1,501

【赤亀・風島公園キャンプ場評価：29点】

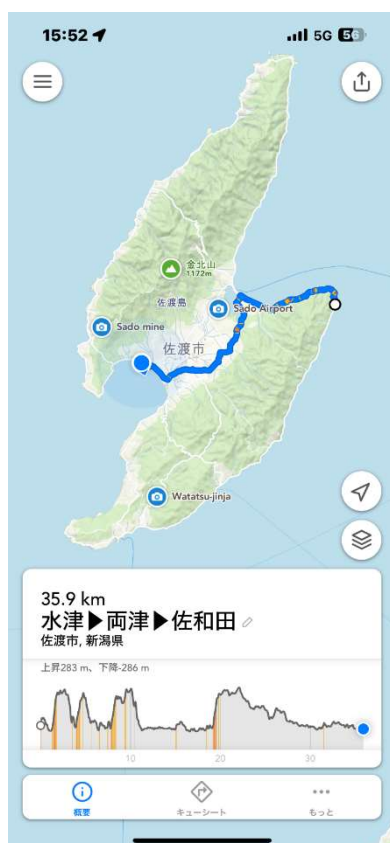
無料で東屋があり、サイト面も芝生なのはいいが、電波が圏外なのは一番困る。管理人がおらず、保冷剤、充電、ランドリーなどができないので、評価点は悪いが、電波さえ入れば、まああのキャンプ場。

●2024年6月28日(金) 43日目 曇り 北東2m

水津↓両津↓秦野↓佐和田



今日は、佐渡の中心部である両津の町を通過して西側にあるキャンプ場まで約40キロの旅。多少のアップダウンはあるが、峠越えはなく、風向きも東からのフオーローなので、楽勝の一日になりそう。9時に曇りの中、出発ジャンプを決めて、10分ほど走り、左側の田んぼを見ていたら、**トキらしき鳥が飛来！**停止してカメラをズームアップすると、確かにト



プすると、確かにトキである。野生のトキを見るチャンスはなかなかないので、いきなりプチ感動するも、結局、今回の佐渡で遭遇できたのは、この時だけであつた…。両津の町に入



る手前に、「トキとの共生ルール」看板があり、①静かに見守る、②餌付けをしない、③巣に近づかない、などと書いてある。当然のことだが、守らない観光客が多いのだろう：と思う。両津のマンホールには、名物なのか、鳥賊が描かれているが、「やっぱり佐渡はトキでしょー!」とひとり思う。11時過ぎ、内陸部にある日帰温泉「はたの温泉」に寄つて、二日分の汚れを落とし、ツーリングマップルに載っていた「ポリウムがあつて上質の肉がうまい」とんかつ屋「中堀」で、750円のカツ丼をテイクアウトし、今日の宿「窪田キャンプ」で、頂く



も、ポリウムは少なめ、豚肉も普通で話が違つ…。キャンプ場の管理人は、SNS情報では、「偏屈で怒りっぽいおじさ

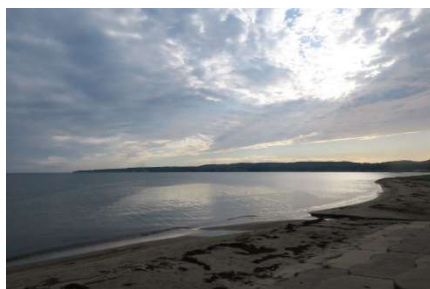


ん」とあったので、
ビビっていたが、
「もうすぐ雨が降る
から、この部屋に泊
まったらいい」と、
管理棟にある会議室
みたいな部屋に案内
してくれ、普通に親
切で、ホッとする。

サイト面も松林の



中にあり、良さそうだが、この会議室にコット
をセッティングして寝ることにする。ランチ後、6年
前のGWに、みんなで泊まった宿「かね長旅
館」が近いので、行ってみると、まだちゃんと
残っていてプチ嬉し。結局、夕方に降る予報だ
った雨は全く降らず、外でも良かったが、優し
いおじさんに感謝して20時に寝る。阪神の試
合は、雨天中止。



【走行距離40km 獲得標高2555m】

【走行時間2:20 平均速度16.9km/h】

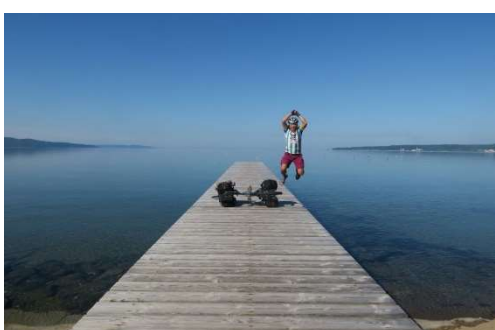
【本日の会計】¥4,352

【窪田キャンプ場評価】3.33点

利用料は1200円、シャワーは3分200円、充電や保冷剤は不

可、電波は2本でギリギリ。目の前は綺麗な砂浜が広がっていて、眺
めはいいのだが…。

●2024年6月29日(土) 44日目 晴れ 南西3m
佐和田↓相川↓大野亀↓二つ亀



今日は、島の西岸沿いに北上するのだが、
60キロ先の北端にしかキャンプ場がな
く、しかも100m級のアップがいくつも
あり、特に後半はしんどそうなので、ハー
ドな一日になりそうだ。でも、ずっと北風
だったのが南向きになったのはプチャッ
キー。早めの5時過ぎに起床し、いつもの
朝食を済まして、7時半、近くの撮影スポ
ット「あめやの棧橋」で出発ジャンプを決
めて、いざ北へ！。相川と云う町に入る



緩やかな海岸段丘、北側は奇岩や洞門が多い急峻な斜面になっていて、**尖閣（せんかく）湾**は柱状節理で有名なしい。尖閣と云えば、中国との領土問題を思い浮かぶが、全く関係ないようだ。尖閣か



い砂浜を眺めながら、のんびり走っていると、山を上っていく道が見えてきて、トンネルとすごい勾配の坂が！大学の後輩でトライアスロンをやっているY岡氏によると、「アイアンマンの間では、**Z坂と呼ばれ、一番の難所**」とのこと。確かに、左上から「Z」の形をしている。調べてみると、鉄人レースと云われるロングテイスタンスは、佐渡以外に、洞爺湖、鳥取の皆生、五島、宮古島で行なわれており、全て自転

れ、いつもそうだが、何故か腹が立つ。それも、途中で抜き返したらしく、もう一回無言で抜かれる。：「こんにちは」とか「お先に」とか、ひと言声掛けしてくれるだけで、気分が全然違うのに、と思う。相川からキャンプ場のある二ツ亀までの約50キロは、「名勝佐渡海府



と、6年前に行った「佐渡金山」と「大佐渡スカイライン」の標識があり、超ハードだった激坂を思い出す。海岸線だが、最初の坂をハーハー云いながら上っていると、**電動自転車**に無言で抜か



く、鉄人レースと呼ばれ、スィム4キロ、自転車190キロ、そしてランは42キロのフルマラソンで行なわれ、完走者にはアストロマンの称号が与えられる。知らなかったが、スィムは、今朝まで居たキャンプ場から近い佐和田の海水浴場で、自転車はそこからスタートして、時計回りに島をほぼ一周するコースである。綺麗な曲線美を描くコミひとつない美し



ら90分ほど進むと、50キロの標識があり、「アストロマン」と書いてある。佐渡のトライアスロンは、オリンピックディスタンスではな





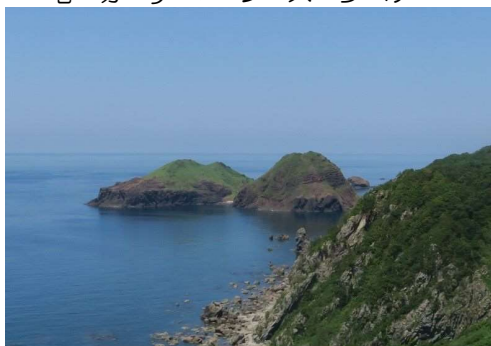
車で行ったことがあるので、プチびつくり。全コースを走ったわけじゃないが、完走した気分になる。Z坂の右上部にあたるトンネルの入り口まで90mのアップを必死に上げる



と、さっき走ってきた海岸線が綺麗に見える。トンネルを抜けても上りが続くも、海の色は紺色からエメラルド色に変わり、佐渡ブルーが映える。折角上ったのに、また海岸まで下ると、「大野亀」と云う名勝



る。遊歩道があり、頂上まで行けるらしいが、もう13時なので、スルーして、キャンプ場のある「二ツ亀」へ。また上りが始まり、登り切ると、その二ツ亀

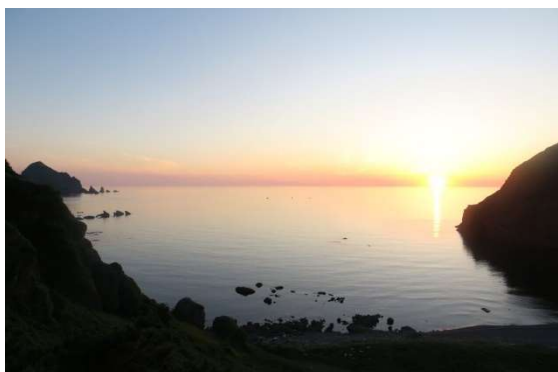


らしき大野亀より小さい岩と云うか島が見えてくる。13時、やっと二ツ亀ビューホテルに着き、キャンプ場は近いものの、なんと急な下り坂の下にあり、なんでやねん、と思いつつながらキャンプ場に着き、ビールを飲みながら、大谷さんの試合を



無料アベマで観ながらランチタイム。キャンプサイトは広くていいのだが、微妙に傾斜しており、一番平らそうな炊事場の前に設営。まだ6月なのに蒸し暑くて、昼間の体感温度は39℃もあり、早くホテルのお風呂に入りたかったが、キャンパーは18時まで入れないと云われている。リゾート系ならまだわかるが、こんな田舎のホテルなのに、と思う。18時半、テントに入り、相川のローソンで買って





おいたお好み焼
きとパスタサラ
ダを頂く。エッ
センしたかった
が、朝早くてス
ーパーが開いて
なかったので、
仕方がない。1
9時過ぎだろう
か、テントの外
から声が聞こえ
てきて、出てみ



ると、ソロキャンパーのにーちゃんがついて、「ライターがマッチを貸してほしい」とのこと。どうも、ド素人らしく、着火剤さえあれば、火が着くと思っていたようで、可哀そうなので、滅多に使わないガスバーナーとガスを貸してあげる。丁度、夕陽が沈みかけており、にーちゃんのおかげで、綺麗な夕焼け写真が撮れて、結果、プチャッキー。阪神は伊藤の乱調でヤクルトに1ー6の完敗…今日を振り返ると、Z坂からの15キロは激坂続きで、案の定、最後の上りと寝る前に、太ももが攣るも、ツムラ68番に助けられる。8時半、相川のローソンに寄った際、レーサーウェアのライダーがいて聞くと、島の外周200キロを今日一日で走る、とのこと。アワイチ、ビワイチ的に云うと「サドイチ」である。「ようやるわ」と内心思いながら見送る。

しかし、今日は、予想通り、しんどいランになったが、好天に恵まれ、青い海とオレンジの落陽が見られて、いい日であった。

【走行距離62km 獲得標高676m】

【走行時間4:22 平均速度14.3km/h】

【本日の会計】¥4,637

【二つ亀キャンプ場評価…33点】

料金は1200円、屋根付き炊事棟やウォッシュがあり、インフラ的にはまずまず。お風呂が隣接のホテルにあり、電波も2本で何とか入るが、充電と保冷剤は不可。ホテルからキャンプ場まで勾配15%の急な下り坂があり、行きはいいが、帰りはしんどいので、アクセスは悪い。海が近いのに、蚊も多い、でも、キャンプ場からの眺めはよく、夕陽も朝陽も見られるのは珍しい。

●2024年6月30日(日) 45日目 曇り 南2m
二つ亀→両津港→フェリー→新潟港→新潟古町





今日は、佐渡最大の町、両津までの約35キロを走り、フェリーで新潟へ渡る旅。普通なら、13時前に出港する第3便でいいのだが、雨雲が



近づいているので、9時過ぎの第2便にする。なので、4時に起きて、朝食を作らずに、テントを畳み、5時にはキャンプ場を出ることに。4時にテントを出ると、丁度、朝焼けが始まっており、**夕焼けとは全く違うグラデーションに富んだ幻想的な光景が撮れる**。まさに早



起きは三文の徳である。予定通り、5時に朝陽をバックに出発写真を撮り、勾配15%の激坂を押して上り、アップダウンが続く道を走っていると、田んぼの近くにトキを発見する。しかし、よく見ると偽物…何のために、と思ったが、結局、今回も野生のトキに出会えたのは1回だけであった。前半の15キロは、結構ハードなアップダウンに苦労するも、後半は平坦になり、7時半には



両津港に着き、フリーターミナルのフリースペースで朝食タイム。昼まで走らないので、朝から缶ビールを頂く。9時前に乗船し、今にも雨が降りそうな佐渡ヶ島をあとにす



る。雨雲レーダーを見ると、大きな雨雲が島に迫っており、間一髪セーフ。



出航すると、カモメがいっぱい飛んできて、デッキでは、スナック菓子をカモメに与える人たちがいる…最近では、野生の鳥を餌付けするよ



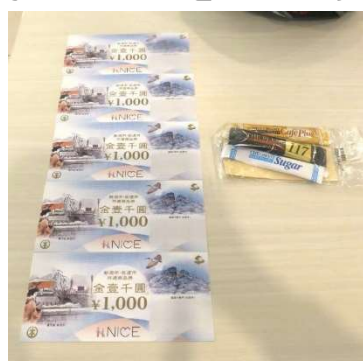
うな行為を見かけなくなっていたのに、プチ残念である。2時間半の航行で新潟港に入ると、また多くのカモメが船の周りを飛んでいる。港には、何回もお世話になっている新日本海フェリーが停泊していたので、写真を撮



ると、カモメがフレーム内に入ってくる！プチ怖い：新潟と両津を結び船はフェリーだけでなくジェットフォイルと云う高速船も運航しており、両津港で停泊していたジェットフォイル「ぎんが号」を、新潟港でも見かけた時は、プチびっくり。フェリーのあとから出港したきんがが、フェリーより先に新潟港に着き、もう両津へ向けて港を出たのである。所要時間はフェリーの2時間半に対して1時間と早いが、運賃はフェリーの3千円に



対して千円もするので、車や自転車がない人は、どちらを選ぶのだろうか、考えものである。12時前、直江津―小木間を結ぶフェリーの倍以上ありそうな佐渡汽船の「ときわ丸」を下船すると、ポツポツと雨が



降っているが、合羽を着るほどではない。屋根付き歩道をゆっくり走っていると、ニイガタのモニUMENTを発見するも、「ホワッツ」の意味がよくわからない。港から15分で、東横イン新潟古町店に着き、チェックインする際、「佐渡へ行った旅行者には5千円の商品券が発行される」とのこと。メチャ得した気分になる。「さど旅得プラン」と云って、佐渡へ渡る前後に新潟市内の宿に泊まるとくれるらしい。スーパーでも利用できるので、ランチは、ちよっと贅沢に、海鮮巻き寿司にする。朝の話だが、岸壁で乗船待ちしている時、カワサキのニンジャと云う緑色のバイクのおじさんがいたので、聞くと、買ったばかりで排気量が1000CC、150万円もした、この



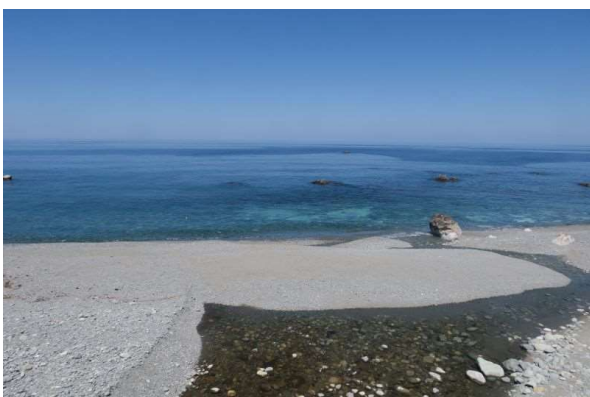
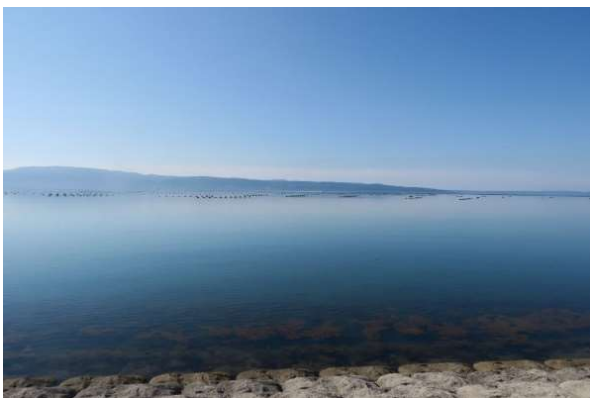
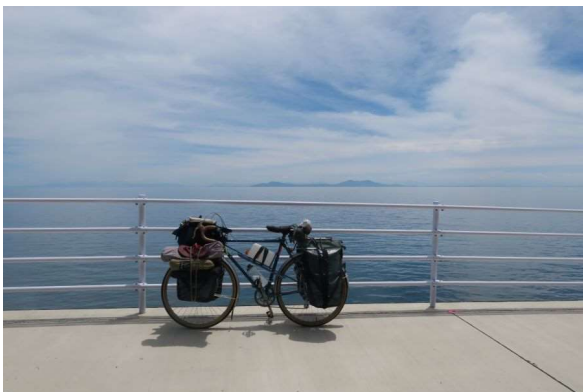
とで、プチびっくり!。

【走行距離36km 獲得標高242m】

【走行時間2:16 平均速度16.0km/h】

【本日の会計】¥11,453 (ホテル代¥5,985、フェリー代¥5,180)

佐渡ほぼ一周の4日間を振り返ると、恐れていたほどアップダウンは多くなく、天候にも恵まれて、楽しく走り切れた満足感がある。初日は宿に泊まったが、あとの三日はキャンプ場に泊まれて良かったし、トキさんにも出会えたし、心残りは。今回の旅で、まだ走っていない小木港から佐和田まで西回りのルートだが、これは来年の課題として取っておくことにする。



2024年春のチャリキャンプひとり旅(その九)

野田 俊

●2024年7月1日(月) 46日目 雨曇り 南西4m



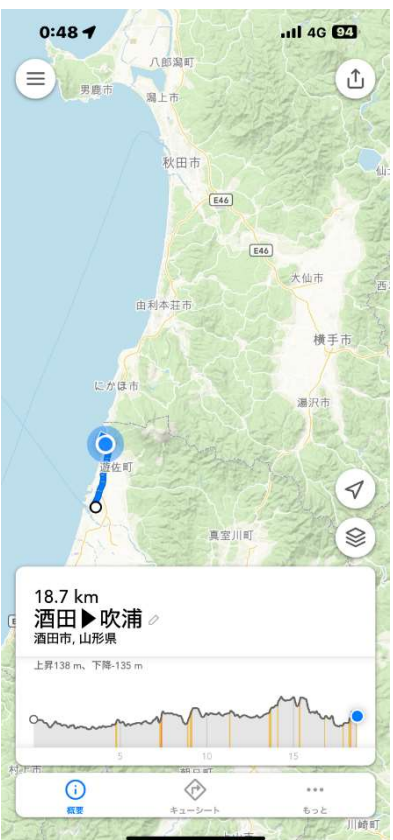
今日は、元々、雨予報だったので、ここ新潟の東横インに連泊することに。5時に起きて、大谷さんの対ジャイアンツ戦を観るも、5打数ノーヒットでチームも4-10のボロ負け…筆者が旅の途中にテレビでフル観戦するチャンスがあると、



なぜか大谷さんもチームもいところなし…。朝食は、米どころの新潟だから、おにぎりがメインで、東横インでは珍しく、サラダやおかずがなく、物足りない…。イマイチの朝食を済まし、新潟駅のお土産売り場へ行き、クーポン券を使って新潟名物「笹だんご」などを買い、お得なレターパックでうちへ送り、映画館で、娘が心臓病で人工心臓を作ろうとする父を演じた大泉洋の「ディアファミリー」を観て、何回も泣いてしまう。



今日は、山形県の酒田まで輸行して、20キロ先にあるキャンプ場まで走る旅。本来なら、天気もいいし、ここ新潟から走るべきなのだが、8年前、トンネルでひき逃げされた山形県との県境辺りまで走ったことがあり、途中まではいい道もあるのだが、県境辺りは交通量の多い国道8号線しかなく、トンネルも多いので、ワープすることにする。なので、11時前、新潟駅発の特急いなほ3号に



【走行距離8km 獲得標高24m】
【走行時間0:36 平均速度12.5km/h】
【本日の会計】¥9,707 (ホテル代5,795含む)
●2024年7月2日(火) 47日目 曇り晴れ 西4m
新潟駅↓JR↓酒田駅↓遊佐(ゆさ)↓吹浦(ふくら)



乗車して、北へ。酒田には13時過ぎに着くので、ランチは、新潟駅で買った「三軒」の「さけの焼き漬け弁当」を頂く。シャケも旨いが、筋子と缶詰のパイナップルがいい。途中、通過する村上駅では、ひき逃げ事件の時、**事故当日と**



犯人逮捕後の車両検証でお世話になった村上警察

署の事を思い出す。事故当日、もう少しで新潟県だったのに、事故現場がまだ山形県側だったので、自転車と一緒にパトカーで30キロ手前の村上警察署まで戻されたこと、犯人逮捕後「車に付いた傷と自転車を照合するから、持ってきて」と



云われたこと、犯人が任意保険に入っておらず、「家族と直接会話して」と云われたことなど、今となっては懐かしい。14時、酒田駅を出発



位置し、海岸なのに湧き水が出るほど、清水に恵まれており、温泉もある。キャンプ場から徒歩数分のところにも、鳥海温泉「あぼん西浜」があり、連泊するには最適の場所である



し、昔、銚鉄を置いていた酒田港の標識や雲で隠れた鳥海山を見ながら、麓にあるキャンプ場へ。明日から、また雨なので、二泊分の利用料2000円を払い、炊事場の近くに設営するも、タープ



を立てる際、固定する紐に足を引っかけてしまい、ポールが曲がってしまふ…何とか使えるも、不安な状態なので、アマゾンで購入して秋田のホテルに届くよう手配する。**ここ遊佐(ゆざ)町は、鳥海山の西側に**



る。阪神は、才木の踏ん張りで、広島に延長10回3-0で何とか勝ち、貯金一つ…。

【走行距離25km 獲得標高77E】

【走行時間1:23 平均速度17.5km/h】

【本日の会計】¥17,935 (JRY¥4,840、ポール¥3,880、サドルカバー¥3,680含む)

【西浜キャンプ場評価…4.5点】

インフラ的にほぼ完璧なキャンプ場で、ないのはウォッシュユくらい。温泉が近くにあり、雨よけできる炊事場、ランドリー、充電、電波、保冷剤がOKで、虫もない。

●2024年7月3日(水) 48日目 曇り雨 南西2m

新潟は蒸し暑かったが、ここまで来ると涼しく、関西や関東では35℃予想なので、気分爽快だ。8時半頃だろうか、いつもの朝食を食



べていると、教師に引率された小学生たちが炊事場前を通過していくので、聞くと、これからカレー体験をするのと。雨が12時頃から降りそうなので、10時に町へ行く途



中、橋のところでカレーに乗り始めている子供たちを発見。ワーワーキヤーキヤー楽しそうである。買い出しを済まして、日帰り温泉へ行く。と、温泉のおかあさんが「どうぞ」



と、ビワを2個くれる。甘くてうまい。ランチは、隣接の「とりみ亭」で870円のアジフライ定食と生ビールを頂いて、午後は、昼寝、旅レポ執筆、そしてモール系の茶色温泉に入り、17時頃、キャンプ場へ戻る。阪神は、テルがタイムリーエラーをするも、テルのソロ二つで、広島に2-1で辛勝。大谷さんは、3安打2打点、27号ホームランも打ちDバックスに6-5の辛勝。

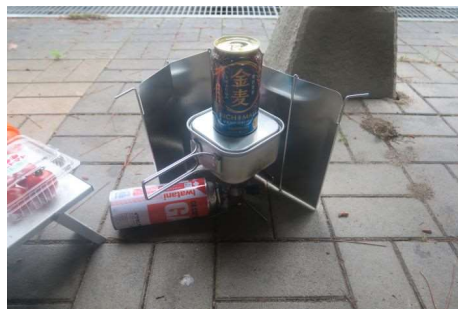
【走行距離5km 獲得標高23E】

【走行時間0:16 平均速度16.95km/h】

【本日の会計】¥4,709

●2024年7月4日(木) 49日目 曇り 南西4m

今日は、北上して秋田県の仁賀保(にかほ)か由利本荘のキャンプ場まで走ろうと思っていたが、5時半に起きると、天気予報は曇りで降水確率40%だが、リーダーに映らない霧雨が降っているし、連泊に



とって便利な温泉もあるし、今日も、ここに泊まることにする。ここの最高気温は25℃だが、**静岡では39℃**になるらしい…まだ7月上旬なのに今年も異常気象である。ご飯をうまく炊くコツは、沸騰して水がこぼれ始めたら、弱火にして、水がこぼれないよう蓋に缶ビールの重しを載せて、グツグツしなくなるまで、待つことだが、風があると、弱火が安定しないため、今回の旅から新たに買った**アルミ製の風除け板**を使用している。これま

では、風を防げる場所へ移動していたが、いちいち移動しなくてよくなり、しかも風をほぼ完全に防げるので、正解である。日帰り温泉のオープンには普通10時が多いのだが、ここ「あぼん西浜」さんは、6時から開いているので、8時半過ぎには行き、まず朝風呂に入る。入



浴料は400円で、休憩室は別途250円必要だが、それでもお安い。その休憩室でパソコン作業をしていると、隣にいたお母さんが、一口羊羹と柿ピーを分けてくれる。



昨日はびわ、今日は羊羹、なんていい人たち、いい町なんだろう、とブチ感激！。12時頃になると、朝湯に入っていた地元のお母さん達が、みんな横になって寝ていて、ここは地元の人たちの憩いの場になっているのだらうと、ほんわかした気持ちになる。ランチは、**1100円の焼肉定食**を頂き、昨日同様、昼寝、旅レポ作業、そして、また温泉に入り、17時過ぎにキャンプ場へ戻る。阪神は、梅野のミスが続き、広島に5-7で惜敗…大谷さんも1安打だけで、Dボックスに大敗を喫す。

【走行距離2km 獲得標高30m】

【走行時間0:07 平均速度17.1km/h】

【本日の会計】¥2934

●2024年7月5日(金) 50日目 曇り 南西2m

キャンプ場↓吹浦(ふくら)駅↓JR↓秋田駅↓ホテル

今日は、秋田在住の旧友である会社同期のA屋

氏と会う約束があるので、最寄りの駅から一気に秋田まで輪行する旅。8時半、三日間お世話になった西浜キャンプ場の管理棟前で出発ジャンプを決めて、1キロも離れていない吹浦駅へ。輪行の準備





を終えて、吹浦郵便局で目を付けていた「**庄内砂丘メロン**」を、和歌山の「あらかわ桃」を送ってくれたM村さんと美味さを



確認するため神戸の自宅にも送る。知らなかったが、この辺りは砂地でメロンの生産に適しており、ブランドの夕張メロンほど高くなく、味も、夕張と遜色ないくらい甘くて美味であった。鳥海山とニッコウキスゲが描かれている遊佐（ゆぎ）町のマンホールも撮って、10時過ぎの普通列車で秋田へ。秋田駅に着くと、大きな秋田犬となまはげが出迎えてくれて、A屋氏との飲み会「秋田番屋酒場」へ



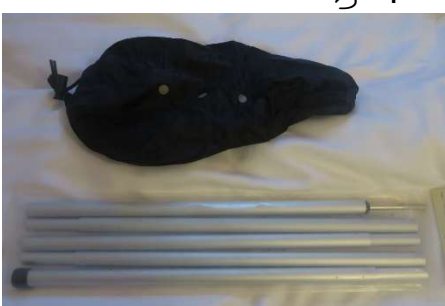
入ると、本物そっくりのなまはげが席に座っているーその人の横に座り、秋田名物の「いぶりがっこチーズ」「ジュンサイ」「比内地鶏」などを頂きながら、体重が90キロから58キロに減ったけど、依然酒豪のA屋氏と語り合う。阪神は、また梅野のミスが続き、横浜に1-2の惜敗…。

JR代金200、メロン7600、呑み代6000(含む)

●2024年7月6日(土) 51日目 曇り晴れ 南西7m

秋田駅→JR→青森駅→ホテル

今日は、天気はいいけど、明日、函館でサークルの先輩後輩と会う約束があるので、青森までまたワープする旅。遊佐のキャンプ場で曲げてしまったタープポールと、穴が空いてしまったサドルカバーがちゃんとホテルに届いており、ポールの値札を見ると、2640円！アマゾンでの価格は3880円もしたので、1200円もぼったくられる…プチショック！。青森への特急で乗り換えがないのは、13時前のスーパー津軽1号までないので、秋田駅に直結している東





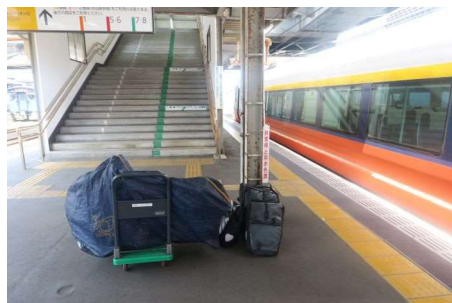
だ！。東北地方で流行っているのだろうか。ランチ用に駅弁を売店で買おうと思っていたが、ホームに売りの



る。昨年百歳になった小説家の佐藤愛子先生が、自らの体験を基に書いた小説で、なかなか面白かった。ホテルから台車を借りて、ホームまで自転車とバッグを2回に分けて運ぶと、既に「特急スーパーツがる」が入線していて、見ると、新潟から乗った「特急いなほ」と全く同じ車両



横インと同じビルにあるシアターで、草笛光子主演の「90才何がめでたい」を観



のおじさんがいるので、ここで買うことに。珍しい「あわびめし」が欲しかったが、売り切れ状態とのことなので、「比内地鶏こだわり鶏めし」にすると、定価は1280円だ



が、おじさんが「1200円でいい」と云ってくれて、プチラッキー。売店じゃ絶対まけてくれないので、正解！。特急は4両編成で二両が自由席だが、休日なのにガラガラ：大丈夫だろうか心配になる。意外とかかる**2時間半の車窓旅**を終えて青森駅に着き、自転車を組み立てて、青函連絡船乗り場があった場所へ行くと、アオモリのメニューメントがあるも、人が多いし、眺めもイマイチ。でも近くにあって、リンゴが二つに割れている「**あおもりびっくりんご**」は、口が開いているようで面白い。阪神は、今シーズン調子が悪い伊藤が珍しく好投して、横浜に2-1で勝ち、何とか借金生活をまた免れる。

【本日の会計】¥6503 (ホテル¥40、JRR代¥170含む)
●2024年7月7日(日) 52日目 曇り 西6m

青森駅→フェリーターミナル→函館港→函館駅

今日は、ホテルから5キロほど離れているフェリーターミナルまで走



り、フェリーに乗って津軽海峡を渡り、函館までの旅。7時に起きて、大谷さんの試合を観ながら、ホテルの朝食をゆっくりと頂く。その大谷さんは28号ホームランを放ち、プ

リユウーズに5-3で勝ち、朝から気分よし。昨夜から雨が降っていたが、出発する10時になると、丁度、雨が止んだので、ホテルを出て、走っている

と、「のっけ丼」の幟が目に入り、市場みたいな「青森魚菜センター」があるので、入ってみる。海鮮がいっぱい載っている「のっけ丼」はテイクアウトできないので、中トロ、サーモン、マグロ、ハマチ、い



くら、ウナギ、卵など、一皿170円を9皿取り、合計1530円を払おうとすると、お店のおねえさんが、「1300円でいいよ」と云ってくれて、メチャ得した気分になる。20分で青函フェリーターミナルに着き、7年ほど前だろうか、お盆休みに自転車で、ここから函館へ渡るうしたら、三日先まで予約いっぱいだと乗れないと云われ、メチャショックだったことを思い出す。津軽海峡を渡るフェ



リー会社は二社あり、ひとつは津軽海峡フェリー、もう一つは青函フェリー。今回、出航時刻の関係で青函フェリーの方を予約したので、あとで、青函フェリーの方が、断然安いことがわかり、プチびっくり。調べ

ると、乗用車の場合で、前者が27100円、後者が19100円、



自転車でも、前者が37200円、後者が5650円だから、全然違うのだ。船の大きさも、異なっていて、高い前者の方が大きい。航行時間はどちらも約4時間で変わらないので、安い青函フェリーの方が良さそうだが、観光客には、多少高くても快適な船旅が楽しめる豪華な津軽海峡フェリーの方が人気あるらしい。ケチな筆者には理解できない。4時間の船旅を終えて函館港に入ると、対岸にかっこいい船舶が停泊しており、「なっちゃんワールド」と書いてある。調べると、ウォータージェットエンジンを搭載した高速フェリーで、青函





【本日の会計】¥18,198



【走行時間】0:32 平均速度14.8km/h

【走行距離】8km 獲得標高66m

それが描かれている。そして、北海道へ来たあゝ感がある「セイコーマート」もある。16時、東横イン函館大門店にチェックインして、夜は、函館在住のサークル仲間3人と楽しい食事をし、23時に寝る…。



間で運航していたが、12年前に運休となり、今は、防衛省が借りているらしい。速くても燃費が悪いので、民間ではきつと割りが合わないのだろ。函館と云えば土方蔵三の「五稜郭」、マンホールに

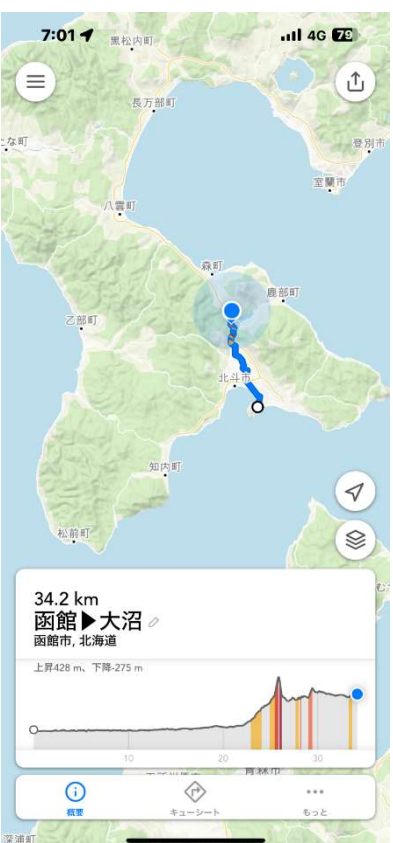


(ホトトギス¥6,460、フエコーダ¥3,320、箱¥5,000)

2024年春のチャリキャンプひとり旅(その十)

野田 俊

●2024年7月8日(月) 53日目 晴れ曇り 南西6m
函館→七飯(ななえ)→大沼



今日は、函館の北に位置する大沼公園にあるキャンプ場まで35キロの短い旅。北海道のヤクルトと云われている「カツゲン」やヨーグルトなど、東横インでは珍しい健康的なのも頂きながら、目一杯食べて、9時半に出発すると、トラピスト修道院と北海道新幹線と駒ヶ岳が描かれたマンホール



ルを発見！函館らしくて宜し。国道を避けて、農道を走っていると、その新幹線が走る高架鉄道が延々と伸びていて、その先には、終点の「函館北斗駅」と東横インのビルが見える。七飯町にある道の駅「なないろ・ななえ」では、やたら函館ワインが置いてあり、

その中に、「世界最深級の海底ワイン」と云う珍しいのがあったので、荷物になるけど、購入する。どうも地下283mの青函トンネル内にある「はこだてワイン青函蔵置所」で1年間熟成させたワインで、お値段は1760円とリーズナブルだ。大沼まで1



00mちょっとアップする交通量の多い国道5号線に入るも、路側帯が広いので、危険はない。トンネルを越えて、大沼へは行かず小沼沿いに進むと、筆者が好きなジュンサイ沼が





見えてくる。ジュンサイと云えば秋田だが…。キャンプ場の手前まで来ると、函館辺りに多い「びっくりドンキー」風のレストラン「ラッキープエロ」を発見！4年前に、函館で初め



て入り、なぜかエルビスプレスリーがいたが、オムライスを頂き、普通に旨かった記憶がある。大沼公園には「東大沼野営場」という無料の湖畔？キャンプ場があるが、日帰り温泉が少し離れているので、今日は、温泉が隣接していて駒ヶ岳が望める有料のキャンプ場にする。2000円払って受付を済ますと、生ビールのウエルカムドリンクが付いていて、大阪王将の餃子チャーハンと共にランチタイム。広いフリーサイトに設営後、「ちゃっぶ



林館」と云う日帰り温泉に入り、クリームシチューを作って、テント内で昼間に買ったワインと共に。1年間海底で熟成させたワインは、フルボディのように濃くてまずまず。

【走行距離36km 獲得標高269m】

【走行時間2:27 平均速度14.7km/h】

【本日の会計】¥1295

【ファンガーデンリモキャンプ場評価…29点】

フリーサイトが草地で広く、温泉が隣にあり、炊事場の水が温泉のお湯になっているのはいいが、2000円はチト高い上に、水場まで遠く、東屋などの雨除けできる施設は全くなく、自転車ソロキャンプにとってはイマイチ。

●2024年7月9日(火) 54日目 曇り一時雨 北東2m

今日は、週末の北海道OBラン日程に合わせるため、天候もイマイチなので、ここのキャンプ場に連泊とする。朝食後、雨が降りそうなので、自転車に雨除けカバーを掛けてから、10時に温泉施設へ。玄関には、「駒ヶ峰温泉ちゃっ



ぷ林館」のプレートがあり、駒ヶ岳の形を模している。12時、お風呂に入り、ランチはジンギスカン定食とビールを頼む





と、郵便局でお金を下ろすのを忘れてしまったので、600円しかない...その上、売店で、ワカサギの佃煮を買ったので、残金は340円のみ。心細いが、明日は平日なので、



きつと大丈夫だろう...。休憩室で昼寝をして、17時、またお風呂に入って、キャンプ場へ戻ると、カバーが風でめくれており、昼間、雨が降っていたので、フロントバッグがビショビショに濡れている...プチショック。もともとちゃんとカバーを固定しておけば...と悔やむ。しかし、久しぶりに作ったカレーがうまいし、阪神も、ヤクルトに近本のヒットでサヨナラ勝ち！

【本日の会計】¥4,250

●2024年7月10日(水) 55日目 晴れ曇り 南東3m
大沼→森→落部(おとしべ)→八雲



今日は、ホタテで有名な噴火湾の西側にある八雲のキャンプ場まで約45キロの旅。距離は短めだが、交通量の多い危険な国道5号線を走るしかないのだ、気を付けなければならない。快晴の中、9時半、駒ヶ岳をバックに出発ジャンプを決めて、まずは農道を北へ。進むにつれて刻々と形を変える駒ヶ岳を眺めながら、トウモロコシや大豆畑を





通り、JR駒ヶ岳駅近くにある郵便局でお金をおろして、ひと安心。ここから、国道5号に入り、坂を下ると、ツツジの恵山や間欠泉の鹿部への分岐点があり、行ってみたいが、今回はスルーして、いかめしで有名な森町へ。買出しのため、山あいを通る国道を外れて、町中のスーパーへ



の英国女性旅行家で、146年前の明治1年、函館からここまで来て、船で室蘭へ渡ったらしい。帰国後、旅した東北と北海道を「日本奥地紀行」として纏め、世界に紹介した、とのこと。あわび？と



缶ビール。広い草原のフリーサイトの中で、炊事場やトイレに一番近い端っこに設営し、110円のお得シャワーを浴びて、タエッセン。阪神は、ヤクルトに4ー1で勝ち、4連勝



プ場へ。知らなかったが、地図に、「八雲町は太平洋と日本海に面している日本唯一の町」と書いてあり、そう云われれば、そんな町は他には浮かばないし、都道府県でも、青森県しかない。「噴火湾パノラマパーク」から近い「オートリゾート八雲キヤンプ場」は、6年前に泊まったことがあり、あの時は、メチャ高いイメージがあったが、今回の利用料は1350円で、インフラも整っているの、リーズナブルな料金だ。土日は平日の倍するらしいので、来るなら平日である。ランチは、セコマのカツ丼とマカロニサラダに



酪農の八雲町に入り、落部（おとしべ）の町も通過し、体感温度が30℃を超える中、山手にあるキャン



【走行距離46km 獲得標高237m】

【走行時間2:21 平均速度19.6km/h】

【今日の会計】¥4,621

【オートリゾート八雲評価…40点】

フリーサイトの週末や夏季料金は2700円と高いが、平日は半額になるので、泊まるなら平日である。フリーサイトには雨除けできる東屋や炊事場はないが、シャワー、ランドリー、ウォッシュ、保冷剤冷凍など、設備が整っている。

●2024年7月11日(木) 56日目 晴れ 南2m

八雲↓国縫(くぬい)↓ピリカ(美利河)



今日は、海岸線を北上し、長万部(おしゃまんべ)手前の国縫(くぬい)から内陸部に入り、北海道OBIランの集合地であるピリカのキ



キャンプ場まで約40キロの旅。9時半、キャンプ場を出発し、八雲のスーパーへ寄ると、筆者と似たような4サイドバッグのおじさんがいる！しかもサンダルまで一緒なので、避けて反対側の方に自転車を停める。この辺りには他にキャンプ場がないので、適当に野宿したのだろうか。八雲から25キロほど国道5号を走り、国縫からは標高160mの美利河峠を目指す。体感温度が35℃を超える中、ヒーヒー登っていると、前方に軽自動車が停まり、お母さんが降りてきて、「頑張つてね」と、ゆずれもんサイダーをくれる！プチ嬉し、そして感謝である。比較的楽勝の美利河峠に着くと、**今金町のキャラクター「ピリ」と「ピカ」**が迎えてくれる。ジュゴンの仲間である「ピリカカイギュウ」の化石がこの町で発掘されらしい。上っている途中、冬の積雪時に路肩がわかるよう





に、紅白の矢印が5mぐらいの高さに設置されていて、よく見ると、小さいソーラーパネルが支柱に付いている。暗くなると、矢印のLEDライトが光り、吹雪でも路肩がわかりやすくしているのだろう。12時半過ぎ、宿泊施設のクアプラザピリカに着き、受付を済まして、施設内の休憩コーナー



で、セコマの親子丼とポテトにサッポロクラシックのランチ。食後、施設内のお風呂に入ってから、隣接のキャンプ場へ移動して、炊事場の隣に設営し、タエッセンのカレーを作って、20時には寝る。

【走行距離42km 獲得標高244m】
【走行時間2:36 平均速度16.0km/h】
【今日の会計】¥4,157
【ピリカキャンプ場評価:40点】



ここに泊まるのは2回目だが、広い草原のフリーサイト、屋根付き炊事場、日帰り温泉、保冷剤冷凍など、インフラはまずまず。利用料は1500円だが、温泉付きなので、まずまず。
●2024年7月12日(金) 57日目 晴れ 西4m



今日は、北海道OBランの初日で、ここクアプラザピリカに集合なので、ランはなし。6時に起きて、メシを炊いていると、炊事場の網に止まっているホタルを発見！小さめなので、ヘイケボタルだ。9時半、テントを撤収して、ホテルへ移動し、休憩コーナーでパソコン作業。壁に「カレーアイランド北海道」のスタンプラリーポスターがあり、土別のサフォーク(羊)カレー、利尻のホタテフライカレー、富良野のオムカレー、そして、日本唯一の町、八雲の二海カレーもある。ホワイトルーツの二色になっている。ランチは、ホテルのレストランで、香味イワシフライと鶏ザンギの定食。どちらも美味しい。ホテル側が



13時に部屋を空けてくれたので、部屋でのんびりしたので、続々と到着するOBたちを迎え入れる。10台以上ある自転車は、ホテル側





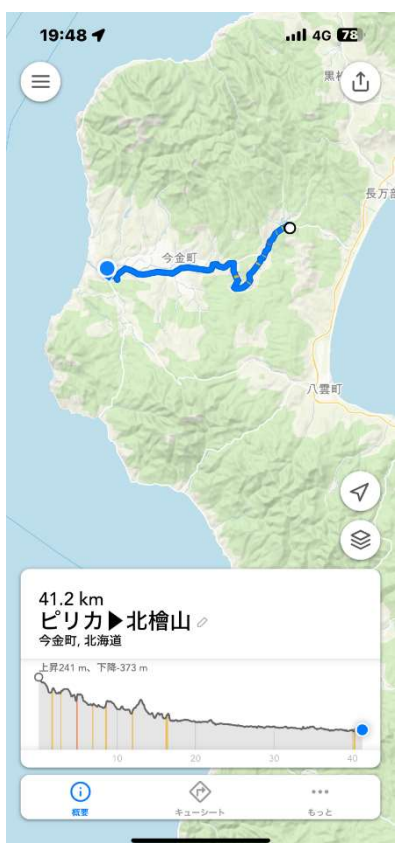
が倉庫を開放してくれて、ランドリーも業務用のを無料で貸してくれ、とても良心的ないホテルである。阪神は、村上が先発するも、高橋を全く打てず、中日に0-3の完敗を喫する…。夜の宴



会では、北大CCの創立65周年記念Tシャツが配られて、プチ嬉し。

【本日の会計】¥17,400（宿代¥9,500、Tシャツ代¥3,000、みやげ¥1,500）

●2024年7月13日（土） 58日目 晴れ 西3m
ピリカー今金（いまがね）→瀬棚（北檜山）



北海道に入って、今日で六日目だが、連泊日に少し雨が降っただけで、あとは晴れが続いている。北海道OBランは、例年、雨に悩まされていたが、今年は大丈夫そうであ



る。今日は、日本海に面するせたな町にある北檜山のホテルまで約40キロの旅。9時に19名で出発写真を撮影して、10名ほどの本隊は、絶対読めない「後志利別（しりべしとしぶつ）川沿いの道道（どうどう）を下るも、意外にアップダウンが多く、筆者的には選択ミス。しかも、畑や田んぼがある普通の道なのに、道端にヒグマの糞があるそうで、乾いた古い糞の上に新しいのが乗っており、今朝の糞かもしれないと思うと、プチビビる。そして、せたなの町に近い浮島公園に寄ると、池を一周する遊





歩道にも、「熊出没注意」の立て札が！池中央部に見える浮島が本物かどうか、一周して確認したかったが、諦める…。せたなと云えば、尖った岩が三つ並んでいる「三本



杉岩」だが、ホテルから少し離れているので、ひとり、ホテル北檜山のレストランでもつ鍋を注文。期待していなかったが、意外に旨い。夕方には、22名全員が揃い、酔っ払う前に全体写真を撮り、宴会では、ひとりひとり、近況や今日のランについて報告し合う。ピリカから美利河種川林道コースを選んだ3人によると、ヒグマの糞があちこちにあり、みんな熊鈴やヒグマ撃退スプレーを持っていたものの、かなりヒ

びったようだ。道南地方は、近年、ヒグマの出没や被害が多発しており、ホンマ注意しなければならない。阪神は、中盤までリードするも、伊藤や漆原が打たれて、中日に8-10の逆転負け…

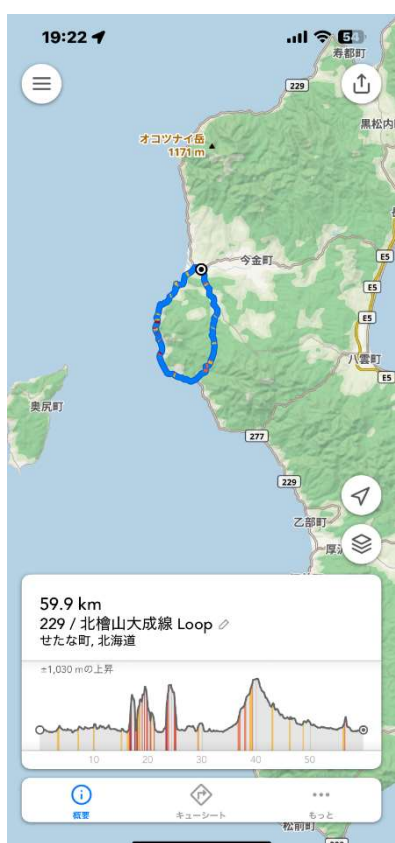
【走行距離44km 獲得標高179m】

【走行時間2:36 平均速度16.9km/h】

【本日の会計】¥11,738 (ホテル代¥9,350)



●2024年7月14日(日) 59日目 晴れ 西3m
瀬棚(北檜山)→太田神社↓瀬棚(北檜山)



今日は、ルート図のように、海岸線を南下し、断崖絶壁にある太田神社に寄ったあと、内陸部を北上して瀬棚に戻る約60キロの周回コースだが、筆者は、幹事なので、自転車には乗らず、後輩のレンタカーを借りてサポートすること



に。9時半にホテルを出発して、先に太田神社の入口に着くと、二人乗りの自転車「タンデム」が停まっている。装備から見ても、欧米人のようで、あとで下りてきた外人に聞くと、カナダ夫婦で、上の神社まで登ってきたらしい。





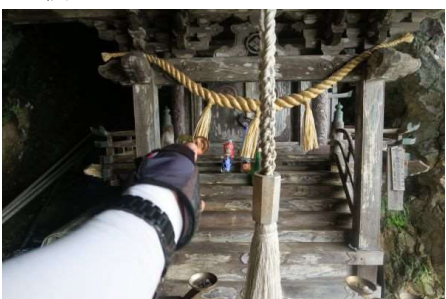
階段下に、おじさんが二人座っていて、地元の人らしいので、標高

350m地点にある神社までの登攀時間を聞くと、往復2時間もかかるとのこと。すると、大汗をかいたバイクおじさんが下山してきて、聞くと、なんと70分で往復した、と

のこと。何回も登っているベテランらしい。11時頃、本隊が到着したので、**20名全員で急な階段に並び**、記念撮影して、筆者を含め精鋭6名の神社登攀隊は、30度はありそうな急な階段を登り始める。階段のあとは急な登山道を登り、最後は鉄輪の鎖に手と足を掛けなが



ら、垂直の壁をよじ登り、50分で何とか本殿がある洞窟に到達するも、後輩が何度も脚が攣るほど過酷な道なのであった。狭い洞窟には、小さな祠があり、お祈りをしてから、慎



重に下山して、13時過ぎ、全員無事に帰還する。JR八雲駅から東京へ帰るH野先輩を車で駅まで送り、16時半頃、ホテルへ戻ると、18名全員、既に戻っており、ホッとする。温泉に入り、1



8時から夕食、2次会を経て、遅めの23時半に寝る。阪神は、中日に延長戦で何とか勝ち、貯金三つ。

【本日の会計】¥6426（ホテル代¥8800）

2024年春のチャリキャンプひとり旅(その十一)

野田 俊

●2024年7月15日(月) 60日目 晴れ
瀬棚→モッタ岬→泊川→ニセゴ→札幌



今日は、M木氏の車で、札幌まで行くドライブ旅。五日後に札幌である「クラブ創立65周年記念式典」に出席するので、五日かけて自転車で札幌まで走る手もあったが、二日後、エスコンフィールドへ行く予定を入れたので、札幌へ戻るM木号に便乗させてもらうことに。9時半、みんなで解散写真を撮り、まずは日本海沿岸を北上。せたな町と島牧村の境目にある茂津多トンネルまで来ると、**茂津多岬**に繋がる道があり、4年前、自転車で

ここに来たが、岬までの道のりを地図で確認して諦めた記憶がある。そのリベンジじゃないが、今回は車なので、標高270m地点にある岬まで250mアップ、2キロほどの狭い道を進み、岬にある灯台に何とか着くも、勾配はきついし、クマが出そうな道なので、自転車じゃなくて良かったと思う。知らなかったが、昭和12年に建てられた**茂津多岬灯台**は、当時、日本で一番高い場所にあり、一



旦、兵庫県の余部埼灯台に抜かれたものの、灯台のてっぺん部を高くして、海面から灯台頂部までの高さで、日本一を奪還したとのこと。高い位置にあるので、奥尻島など20キロ

以上先まで光が届くらしい。そのためかど

うかわからないが、灯台デッキに上ると、**大量のミヤマクワガタの死骸**が転がっている。どれも、下半身がなく、頭部だけが残っていて、なぜかメスは食べられていない。鳥の仕業と思われるが、プチ気持ち悪い…。次に、島牧村にある泊川の上流に、**自然に湧き出る温泉「河**



鹿の湯があるので、川沿いに途中でまで伸びている道道836号線を進み、長いトンネルを抜けると、突然、道が無くなっている。この先の山を越えると、先日泊まったピリカに繋がっており、どうも、トンネルまで掘ったけど、ここで道路建設が頓挫したようだ。トンネルはバブル崩壊後の27年前に完成しており、もったいない話である。釣りが登山をする人だろうか、車が数台停まっているだけで、温泉の看板などは全くない…する





と、奥の方から人が出てきて聞くと、温泉はこの先の橋から川へ下りていくとあるらしいので、橋まで行くも下りる道がない。何とか下りる場所を探して、川へ出ると、硫黄と思われる赤茶けた岩があるも、温泉は湧き出



ておらず、川そばの水たまりから、わずかに水泡が底からふつふつと浮いてきているだけである。何らかの理由で枯れてしまったのだろう。プチ残念。でも、橋へ戻る途中、鮮やかなオレンジ色をした百合系のお花を見つける。クルマユリかと思ったが、葉っぱの形状が異なるので、花アプリで調べると、北米の外來種で、「リリウム・ミキガネンセ」と云うユリ科のお花で、観賞栽培用として輸入され、毒性があるとのこと。寿都（すっつ）の町から内陸部に入り、ニセコの湯元温泉にある「雪秩父」で味噌



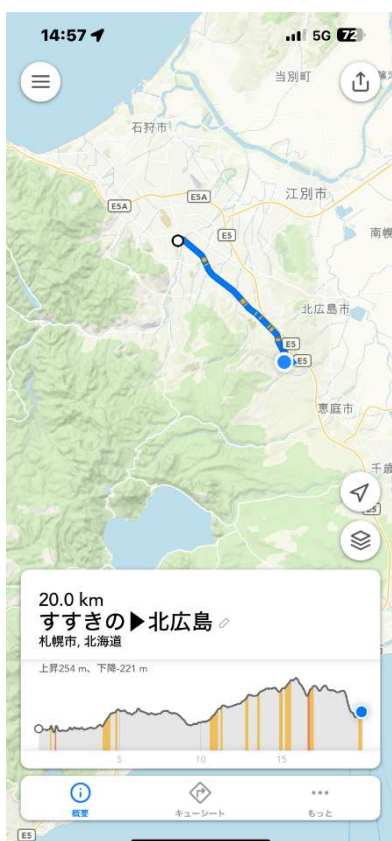
ラーメンを食べ、一周200mの大湯沼を遠目に見る。一周している人がいるが、硫黄臭が



きつく、ガス中毒になるかもしれないので、廻る気にはならない。16時過ぎ、札幌に着き、すすきのの東横インまで送ってもらい、洗濯、夕食を済まして、20時に寝る。阪神は大山と梅野の活躍で、巨人に2-0で勝ち、貯金は4つ。

【本日の会計】¥1280 (ホテル代ポイント払い)

●2024年7月16日(火) 61日目 晴れ 南東6m
すすきの↓月寒↓北広島



今日は、札幌近郊で見つけたリーズナブルなキャンプ場がある北広島まで約20キロの旅。朝起きると、二日前に瀬棚のホテルの部屋で蚊に刺された足の裏が痒い。他にも数カ所刺されていて、キャンプ場ならまだ納得するが、ホテルでやられるのはプチムカつくわ！。10時半、すすきののシン





金は一日2〜3万円。高い気もするが、ペットと一緒に、ホテルに泊まらない家族連れな



ディキャンプとしても、許可がないと絶対ダメでしょー聞いてみたいけど、逆切れされると面倒なので、スルーして、札幌と室蘭を結び主要幹線道路の国道36号線を南下していると、**キャンピングカーが何台も並んでいる**。どなたか忘れたが、千歳空港でキャンピングカーを

レンタルして、夫婦で一週間ほど道内を巡る旅をした話を聞いたことがある。調べると、「NUTS」と言う全国に展開している国内最大のレンタルキャンピングカー会社で、料



ボルである「ニッカウエスキのひげおじさん」をバックに出発ジャンプを決めるも、人通りが多いのでプチ恥ずかし…知らなかったが、このひげおじさんは、ローリー卿と云う19世紀の英国人で、「キング・オブ・ブレンドーズ」と呼ばれるほど、ウイスキーをブレンドする名人らしい。北大の校歌にも歌われている**札幌では有名な豊平川に架かる橋を渡っていると、河川敷にテントを張っている人が！**泊まったのかどうかはわからないが、



ら安いのかも知れない。北広島市に入ると、看板にある有名なクラークさんが描かれている。クラークさんは札幌の羊ヶ丘にある腕を掲げた銅像が有名だが、彼が札幌を離れる際、惜別の学生さんたちに「ボーイズ・ビーアンビシャス」と腕を掲げた場所が、「旧島松駅

通所」と云う馬が休憩する駅で、その地が北広島市内にあるとは、最近まで知らなかった…12時半、「**北広島市自然の森キャンプ場**」に着き、管理棟のテーブルで、クーラーでメチャ冷えた缶ビールを飲みながら、いつものセコマカツ丼と鳥ザンギのランチタイム。ほぼ北海道でしか見られないセコマ（セイコーマーケット）では、店内のキッチンで親子丼や焼き肉丼などを調理してホットケースで即出ししているので、うまいのだ。ランチ後、広いフリーサイトの一角に設置して、テーブルでパソコン作業をして午後の時間を過ごす。人気のあるキャンプ場なのか、平日なのに、ディキャンプしているグループが結構いる。17時を過ぎ、タエッセンをしようと炊事場へ行くと、





北広島市島松↓竹山高原↓北広島市高台町

●2024年7月17日(水) 62日目 晴れ 南東4m

お風呂、ランドリー、充電、保冷剤冷凍はできないが、草のサイトは広く、ウォッシュあり、電波OKなので、まずまず。料金も400円とお安く、アクセスも悪くないので、また来たいキャンプ場である。

【今日の会計】¥2,177

【走行時間】1:33 平均速度13.4km/h

【走行距離】21km 獲得標高219m

12の負け…

ランチ後に乾かして置いていたスポンジとワンカップが無くなっているではないか！管理人のにちゃんか捨てたのか、と思い聞くと、知らないとのこと。きつと、デイキャンプの若者グループが炊事場で片付けていたので、その際一緒に持って帰ったのだらう…プチショック。阪神も、オ木が好投するも、大山と梅野がチャンスに打てず、



今日は、同じ北広島市内にあるサークルの後輩H岡氏の実家まで約7キロの超短い旅。6時半に起きて、一合のお米を炊き、8時半から、いつもの納豆、生卵に加え、八日前に買ったワ

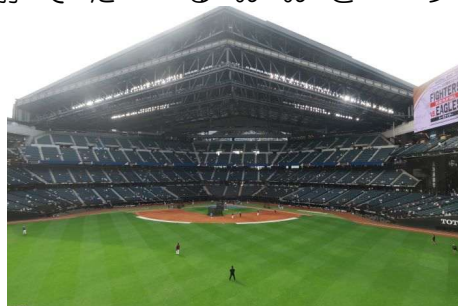


で、20分200円と書いてある。安いのか高いのか、よくわからない。国道36号線を横切り、谷を越えて50mほどアップすると、「竹山高原ホテル」に着く。ここで、日帰り入浴とランチをしながら、15時頃まで時間調整するつもりだったが、食堂は閉鎖中と云われ、近くにレストランもないので、プチショック…休憩室はあるので、昨日入れなかったお風呂に入り、パソコンで旅レポ執筆作業。14時半、ホ

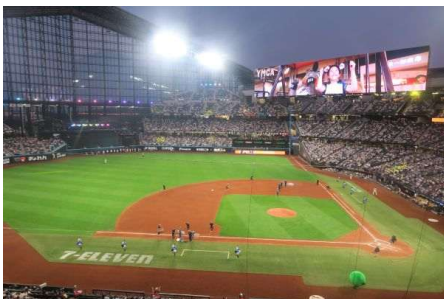




テルを出て、アップ
ダウンの道を走り、
30分ほどでH岡さ
ん宅にとうちゃこお
く。今日は、このお
うちにお世話になる
のだが、メインは、
前から行きたかった
エスコンフィールドで
あり、二カ月ほど前

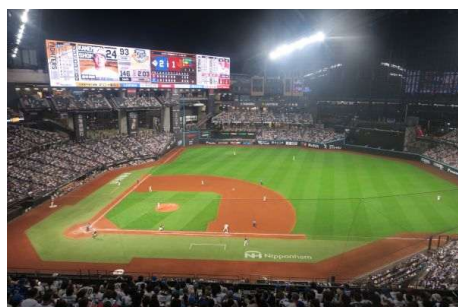


上?にあるイトコ
ーナーへ行き、生ビ
ールの球場みたいだ。
行ったことないけど
：試合開始前に内野
三塁側の指定席へ移
動し、楽天との試合
を観戦しながら、ワ



ンカップとお寿司
を頂く。7回が終
了すると、キツネ
ダンスで有名なか
わいいおねえちゃ
んたちが出てきた
ので、思わず、マ
イカメラをズーム

アップして撮影する。皆さん、隠し撮りでは
ないですよ。試合終了までいると、出口やタ
クシー乗り場がすごく混むらしいので、20時頃、8回途中で球場を
あとにして、H岡宅へ戻り、昔からよく知っている奥様と3人で、2
3時半頃まで呑みながら楽しい時を過ごす。阪神は、不調の近本、中
野をベンチに下げて、野口、植田、渡辺を先発させるも、イマイチ打
線がかみ合わず、巨人に3-4の惜敗を喫す…



【走行距離7km 獲得標高144m】

【走行時間0:36 平均速度12.3km/h】

【本日の会計】¥11,500 (エスコンチケット¥3,000含む)

●2024年7月18日(木) 63日目 晴れ 南3m

北広島市高台町↓羊ヶ丘↓札幌市澄川

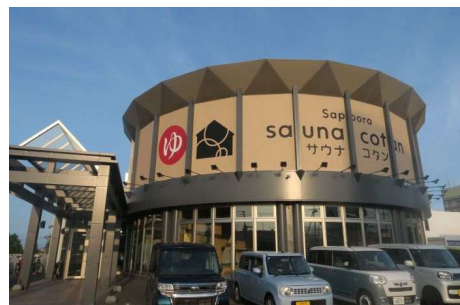
今日は、20キロほど北上して、サークル同期のM木さん宅までの楽
勝旅。M木宅には18時頃に行けばいいので、途中にある日帰り温泉
で過ごすことにする。6時半に起きて、H岡氏が手打ちしてくれたお



蕎麦をまず頂く。自分もそば打ち歴20年ほどだが、製粉会社に勤めている彼の腕はプロ級で、めんつゆも自作、茹で方も研究していて、150グラムの蕎麦を、4.5リットルもある沸騰した水に投入し、蓋をして再沸騰したら、25秒後にザルで掬うのが、丁度いいらしい。お母さんも凝り性で、素敵なガーデニング



を、お庭を一周しながら、丁寧に説明してくれて、84歳とは思えない元気さである。10時過ぎ、4人で記念撮影をして、お世話になったH岡宅をあとにする。H岡氏は、母の面倒を見るために、3年前、北海道に単



身で戻って来たが、弟さんに母を任せ、妻と暮らすために東京へ戻るとのことなので、この4シヨットは、ある意味貴重かもしれない。12時、羊ヶ丘にある日帰り温泉「サウナコットン札幌」に着き、まずは、お風呂に入り、食堂で北海道名



物「ラーメンサラダ」を注文し、ランチタイム。ここへ来る途中、道の駅に寄り、夕張じゃないけど、美味しそうな大きめの地元産ネットメロンが2000円で売っていたので、2個買って、今日と明日お世話になるおうちへの手土産にするも、重たいし、嵩張るし、でも何とかサイドバッグに入れる。ここの休憩室には、半個室のような小さな部屋がいくつもあり、その一つに入ると、丁度一人が横になれるスペースで、寛(くつろ)ぎやすい。そこで、18時前まで過ごしたあと、M木宅まで走り、車庫に自転車置いてから、夜は、すすきの安くて美味しい「グランド居酒屋富士」で、同期3人の飲み会。

【走行距離23km 獲得標高233m】



【走行時間1:27 平均速度16.0km/h】
 【本日の会計】¥10,644 (×ロ)¥4,000(食)
 ●2024年7月19日(金) 64日目 曇り雨 南東5m
 札幌市澄川↓大谷地↓厚別

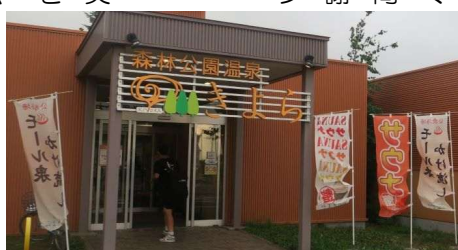


今日は、札幌市東方の厚別にあるサークル後輩のT口氏宅まで約15キロの短い旅。土曜日の明日、札幌で開催される北大サイクリングクラブ65周年を祝う会に出席するため、三日前の火曜からずっと札幌近郊をうろうろしている。本来なら、OBランがあった瀬棚から札幌へ向かって走っていたれば丁度いいタイミングなのだが、水曜にエスコンフィールド観戦があるが故、こんなだらけた軟弱旅になっているが、そんなのんびりした旅ができるのも、泊めてくれたり、一緒に食事してくれる同期や後輩がいるからであり、感謝しかない。パン、コーヒー、カツゲンの軽めな朝食を頂き、8時半、出勤するM木さんと一緒に出発ジャンプをするも、どっちも決まらず、変なポーズになり、笑ってしまふ…。大谷地と云う町を走っていると、セコマの看板がやたらある工場群なのか倉庫群なのか、セコマ通りがあり、プチびっくり！。厚別手前にダイソーがあったので、この前のキャンプ場で盗まれたスポンジを探す



りした旅ができるのも、泊めてくれたり、一緒に食事してくれる同期や後輩がいるからであり、感謝しかない。パン、コーヒー、カツゲンの軽めな朝食を頂き、8時半、出勤するM木さんと一緒に出発ジャンプをするも、どっちも決まらず、変なポーズになり、笑ってしまふ…。大谷地と云う町を走っていると、セコマの看板がやたらある工場群なのか倉庫群なのか、セコマ通りがあり、プチびっくり！。厚別手前にダイソーがあったので、この前のキャンプ場で盗まれたスポンジを探す

と、全く同じのがあったので、即購入。結果論だが、前のはだいぶ汚れていたもので、丁度良かったのかもしれない。それでも、9時半には厚別へ着いてしまい、目当ての日帰り温泉は11時からなので、最寄りのガストでコーヒーを飲んでから「森林公園温泉きよら」へ。490円と安いのはいいが、雑魚寝できる休憩室がなく、ロビーに椅子とテーブルがあるだけ…。しかも食堂もなく、軽食類があるだけなので、長居できないようにしている感じた。でも、18時半までいるしかないので、温泉に入り、ナポリタンと唐揚げを





食べて、昼寝をして、3000円のマッサージを受けて、大相撲を観て、夕方まで頑張る。最新式のマッサージ器は無重力状態になれると書いてあったが、そんなことは全くなく、ただただ痛くて全然気持ちよくなかった…。今回で3回目になるT口宅では、手作りのローストビーフにカラフルなサラダ、そして手巻き寿司が用意されていて、ただただ恐縮しながらも、奥様のゆかさんと3人で楽しい食卓を囲む。阪神は、村上が好投するも、広島に0-1の完封負けを喫す…

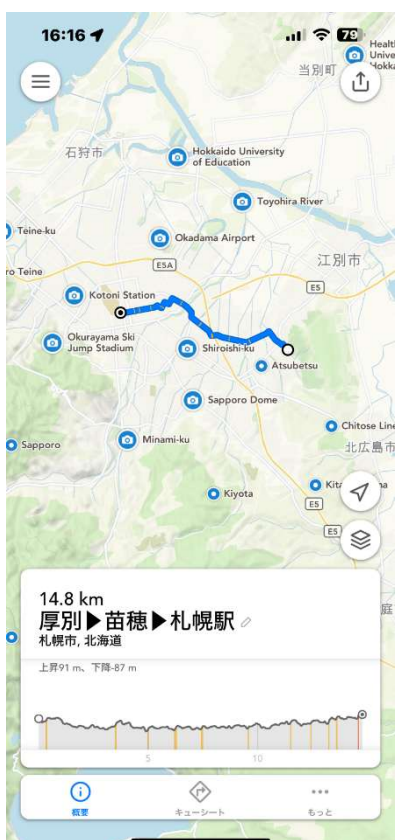
【走行距離17km 獲得標高353m】

【走行時間1:02 平均速度16.0km/h】

【本日の会計】¥2,391

●2024年7月20日(土) 65日目 晴れ 南東3m

札幌市厚別→苗穂→札幌駅



今日は、札幌駅付近の東横インまで自走して、17時からの65周年式典に出席する予定。T口氏特製スムージーに加え、焼きシャケ、納豆、生卵の定番朝食を頂き、10時にお世話になったおうち



を出発すると、1時間で札幌駅に着いてしまい、ホテルは北大正門前にあるので、自転車をホテルに置いて、北大構内に入り、中央ローンと云う憩いの公園を歩いていると、結婚式の前撮りをしている人たちがいてプチびっくり。こんな人通りの多いところで恥ずかしいわ、と思ったが、本人たちは記念になるので、そんな気持ちは微塵もないのだろう。中央ローンのベンチで缶ビールを飲んでみると、小倉在住のサークル後輩M下氏が、缶ビールとつまみを持ち、苦学生のような汚い恰好で現れて、プチびっくり。式典に出席するため、昨日、九州から着き、ここのベンチで軽く飲もうと来たらしい。なので、二人で、再会の乾杯をして、1時間ほど小宴会をして一旦別れ、14時から、構内にある「エルムの森」と云うビアガーデンで、「アルコールが出ない式典の前に呑む会」と称して、OBランのメンバーを中心に10名ほどが集まる。そして、2時間もあった式典のあとはすすきのへ

移動し、ビアホールで2次会。結局、13時頃から22時まで呑み続け、疲れる…。阪神は、広島に延長の末、中野のエラーで二日連続0-1の完封負け…これで貯金はまたゼロとなる。

【走行距離15km 獲得標高46m】

【走行時間0:49 平均速度17.7km/h】

【本日の会計】¥644（ホテル代はポイントで）

●2024年7月21日（日） 66日目 晴れ

明日の飛行機を予約しているため、今日は何の予定もなく、誰かを誘ってドライブする手もあったが、面倒になり、終日、ホテルの部屋で過ごす。12時頃、買い出しへ出ると、メチャ蒸し暑い。北海道なのに、32℃もあり、体感温度は40℃くらいありそうなので、出かけて正解。阪神は、二連敗の鬱憤を晴らすように、12点も取り、広島に圧勝。

【本日の会計】¥10648（ホテル代¥7505含む）

●2024年7月22日（月） 67日目 晴れ

今日は、12時半のJAL便で伊丹まで飛び、自宅へ帰る旅。9時半前にチェックアウトし、札幌駅構内の改札前で自転車を解体し、バッグ五個と共に快速エアポート号に乗って、新千歳空港へ。しかし、今日も暑く、千歳の最高気温が32℃、神戸は同31℃なので、北海道の方が暑いとは…このあと1週間暑さが続くらしいので、チャリ旅を終えるには丁度いいタイミングかもしれない。空港の郵便局で、いつも送るのに苦労するクマ撃退スプレーをレターパックに入れ、窓口のおねえさんに「陸便で」と云うと、「クマスプレーね。わかりました」



とスムーズな対応にプチびっくり！ここから送り返す人が多いから、きつと慣れているのだろう、と感心する。インカのめざめとロイスチップを大量に買って、JALラウンジに入り、生ビールを飲んでみると、クロネ



コヤマトのマークを付けた飛行機が現れる！会社所有の専用機だろうか、さすがクロネコである。会社同期のM本氏が毎回見舞われるようなトラブルや遅れが発生することなく、極めて順調に伊丹空港に着き、迎えに来てくれた嫁さんと自宅へ帰り、今回の旅が無事に終わる。さあ次回は、九州を巡る秋の旅だが、それまではうちのんびりすることにしよう。ではごきげんよう。

【本日の会計】¥12377（おみやげ代¥10,707含む）